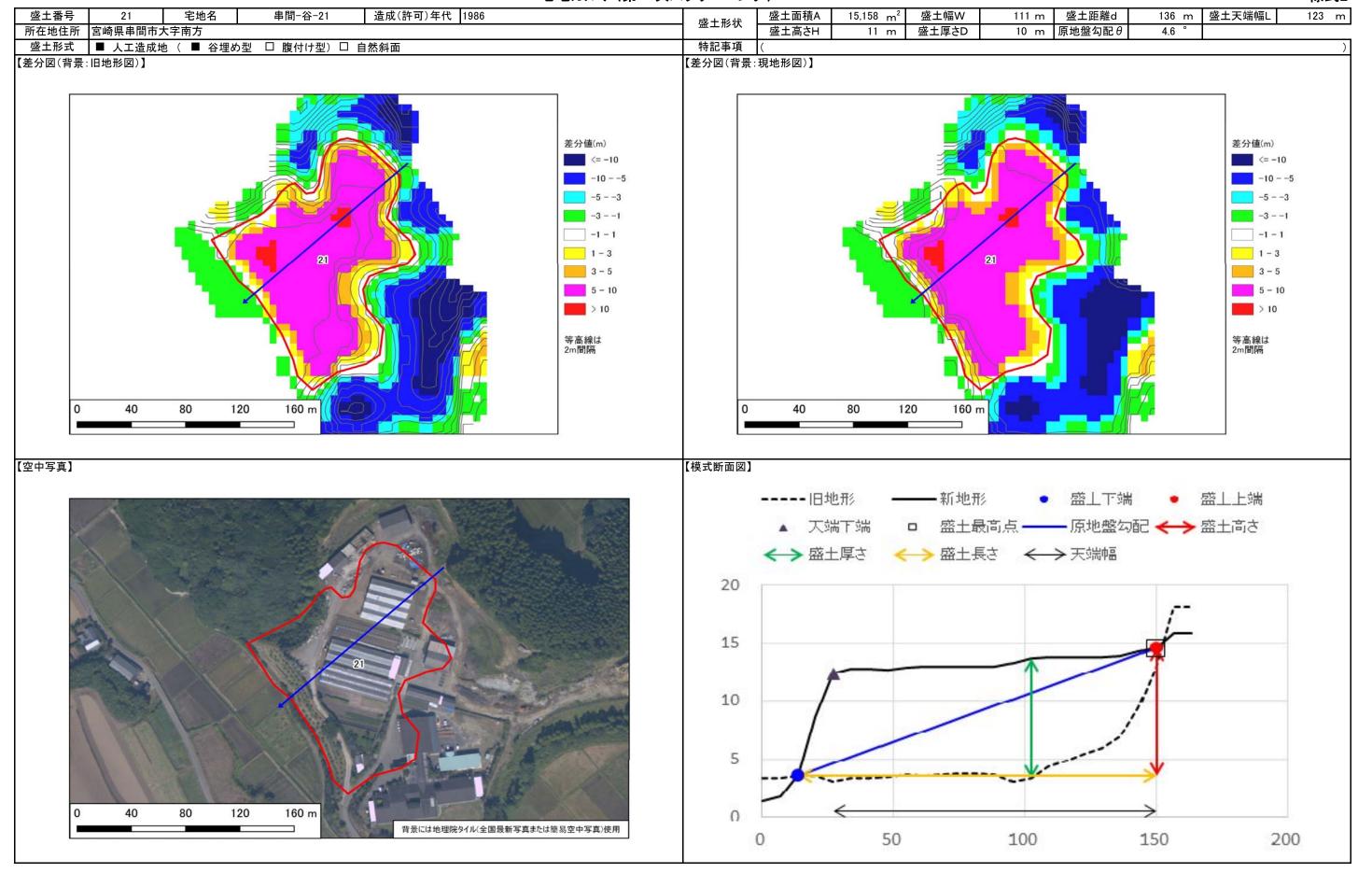
				<b>⇔</b> 1.1. 4m	- / <i>h</i>		_ <b>.</b>						17701
<del>-1</del> 1 ₩ F	1 1	ı					ーニング結果)				【位置図】		
盛土番号			宅地名	串間	引−谷−21	造	或(許可)年代	1986					
所在地住												\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	
盛土形式				り型 口腹				_	_				
盛土形物	盛土面科		$5,158 \text{ m}^2$			111 m	盛土距離d	136 m	盛土天端幅	L 123 m			
<u> </u>	盛土高る	≠H	11 m	盛土厚さ	:D	10 m	原地盤勾配 $\theta$	4.6 °					
			<b>£</b>	〕 地概要	(第二次	スクリーニ	ング計画の作	成)					
	優先度評価	5項目					判 定	(記事)					
① 盛土お 標準的	よび擁壁の形物な形状と構造に	犬と構造か こ該当	Ϋ́	■ 非該	当 口	該当	(	のり面勾配が30度	以上、石積工が空	積	)		
② 宅地地	盤・擁壁・のり面	面の変状		□ 有		無	(		-	,	)		
③ 地下水				口 有	生有		(		-		)	東 21	
④ 盛土の	下の不安定なま	土層		口 有口 不明	月		(		-		)	· 高	
⑤ 造成年	代(基準年以前	(大後)		口以前			(		-	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	)		
⑥ 変動確	率 土末端部及び <sup>昼</sup>	女十 <i>今はい</i>	- 顕荽ナゥ亦♪	口 大 */+**/ 羽		小ション	(		-		<u>)</u>		
	ᅩᄼᄤᇚᄶᇇᇛ	工工土冲小	- 興白 仏交1	八はなく、呪	7人 ( 14 1)姓日	⊏८⊟ん⊘∘			想定	被害形態	-	0 100 200 300 m	
総										-	【断面図】	背景には地理院タイル(淡色地図)使用	
評									個	憂先度 ————————————————————————————————————		<b></b>	
										A3		▲ 天端下端 □ 盛土最高点 —— 原地盤勾配 ←→ 盛土高さ	
				宅 地	概要(	第二次スク	リーニング)					←→ 盛土厚さ ←→ 盛土長さ ←→ 天端幅	
【地盤定数	]						【安定計算約	<b>:果】</b>				20	
		代表N値	単位体積 重量 (kN/m³)	粘着力 (kN/m²)	内部 摩擦角 (°)	せん断派 速度 (m/s)			常時	地震時		15	
				(試験値)			ひな <sup>垣</sup> 	部分(上)				10	
				(計算値)				三部分(中) 				5	
	•					1		部分(下)				0 50 100 150 200	
							盛	土全体				変動予測調査後	
											【工事の記		
											1		
総総											【点検の記	载】 	
											2 12. 40		
評													
<b>  -</b>													

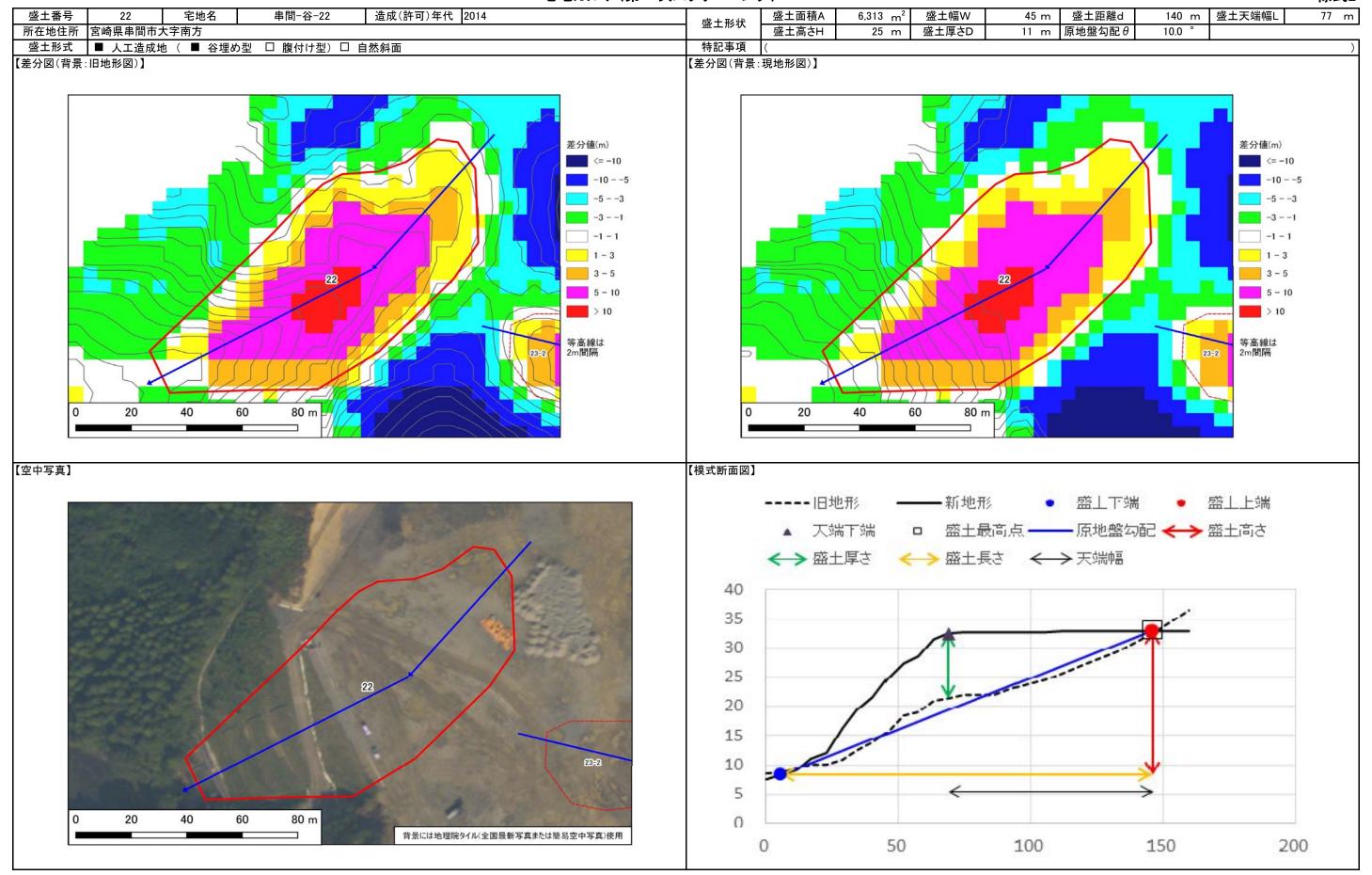
様式2



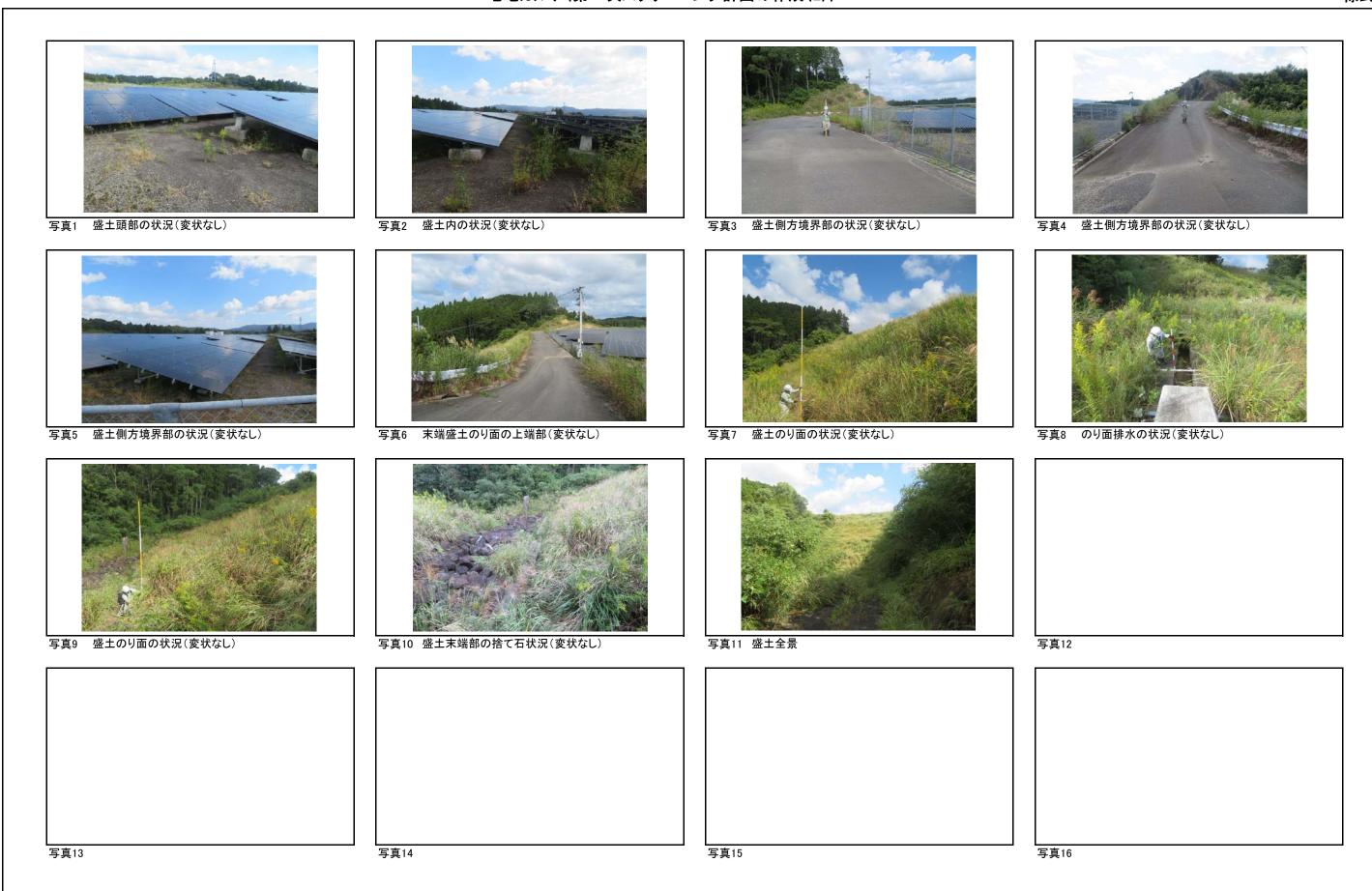
			基礎資料整理				•		現 地 踏	太			19,7240
チェック項目			型				天気記録	調査日		2日前	3日前	4日前	5日前
<u>・</u> 住宅	■ 有	□ 無 (	1 )軒(	)	)	2021年11月2日	降水量(mm)	0.0	0.0	3.5	23.0	0.0	0.0
Λ 11 16 =0.66		」 <del>無</del> ( ■ 無	避難所(		) 字枷	内の平面図との相違	四小里(11111)		2 無 (	0.0	20.0	0.0	0.0
I I∧		***	緊急輸送路(			ドリティ あるこの 相違 形状の机上調査との相違	·告						)
│ 全 │ 対						形状の机工調査との相: 末端部の状況	廷			<b></b>	+ <del>**</del>	<b>+</b> 110 <b>+</b> /	)
			河川 (		) 盛工				_	のり面 🗸		すりつき (	) ————————————————————————————————————
			鉄道(		) ±	・原地盤材料の確認			_	樂質土 🗆	砂質土 🗆	_	岩盤(岩)
・その他特記事項		(			) 質				_	樂質土 🗌	砂質土 🗌	粘性土	
│ 各 ・各種指定の有無 │ 種	┃□ 有  ┃		□ 宅地造成工事規制区域 □ 災害危		地	770 I— III I I I I I I I I I I I I I I I I		□有□	<b>無(</b>				)
指				﴿害警戒区域 □ 急傾斜地崩壊危険区域	質	・その他特記事項		_	(				)
定			□ 砂防指定地 □ 地すべ	り防止区域		優先度評価項	10000000000000000000000000000000000000				(記事)		
等・その他特記事項	_	(			) (1	・盛土のり面勾配			] 適 勾配(				)
そ						・小段の設置		□ 不適 [	_		數(1)段、	(	)
<u>の</u>					形土	- ・のり面保護工の設置	Ī	□ 不適 [					)
他					状ま				② 適 傾斜角				)
優先度評価項目	1		判定(	記事)	構ひ	┊ ・擁壁構造の適格性		☑ 不適 [	」 適 □ 鉄角	タイプ クリート造	□ 無筋コ	ンクリート造	
⑤ 基準年代(	1974	) 口前	〕 ■ 後 造成年代(1986		)造辨				□ 練租	責造	☑ その他	( 石積コ	Ľ(空積) )
造成年代 ・その他特記事項	Į		- (		) 壁	Ě			高さ(	2.2 )m、壁	面勾配(73	)° 1:0.3	
		口大	■ 小 点数方式(方式1) 15.2	%) 点数方式(方式2) %)	σ	・その他特記事項		_	(				)
6 水動療家				その他( )	(2	宅地地盤・亀裂、沈下	、隆起	□有□	2 無 (				)
変動確率・その他特記事項	Į		- (	·	)				<b>無</b> (				)
【平面図】		ı	·			』   擁   ・ 擁壁背面の変り							)
	/Tel	- 75		A STATE OF THE STA	地	3┃室┃•嫉辟の補修履困							)
凡	例	90%		N	盤	盛・ガリ侵食跡	_		<b>無</b> (				)
谷埋め盛	±				- -	1 + 1	tmљ		2 無 (				,
2 mist	NCT (L PR)	900			状 <sup>挧</sup>	*   の   公面の   に入る *   u   · 亀裂	~——	_	2 無 (				,
主測線(	断面位直)		Section 1		-	-   り   <sup>- 電</sup> 系   面  ・排水工の変状			/」				,
写真撮影	位置		P1 / Name of the last		$\sigma_{z}$	) — " — — —			<u>/</u> 無 (				
		100			<i>b</i>	15 4 1811							)
変状箇所					直	1 // // // // // // // // // // // // //							)
				A STATE OF THE PARTY OF THE PAR	<i>O.</i> 建	・その他特記事項		□ 有 □	<u> 無(</u>				)
			P2	A PART OF THE PART			<b>→</b> I¢			fur /			)
700			D2			・盛土のり面からの湧		1 — —	可能性有 🗸				)
						・擁壁水抜き穴からの				無(			)
						・ひな壇部分の擁壁前			可能性有 🗸				)
			Jaggi I			・排水工や擁壁の恒常			可能性有 🗸				)
		DA	01		2	・盛土のり尻排水工の	)水没		可能性有 🗸	無(			)
			P6 ,		③	・排水工の目地・亀裂			<b>烈 無</b> (				)
		Sec. 1			一下	・盛土のり尻のため池	!等の満水水位		<b>烈 無</b> (				)
					水	•既存井戸水位			<b>烈 無</b> (				)
		$\times$	P5 P7 /	<b>《</b>		・盛土のり尻の調整池	!ため池	□ 可能性有					)
		P10				・集水地形上の盛土		☑ 可能性有					)
				The state of the s		・盛土上ガレージの湿		□ 可能性和	∮ ☑ 無				)
-				2000		・水を好む植生の有無	ŧ	□ 可能性有	頁 ☑ 無				)
		P11				・その他特記事項		_	(				)
			P8	THE RESERVE	+ 4	・盛土周辺の崖錐、崩		□ 有 ☑	無 🗌 不明	(			)
AND ENTERED				11000	層出	・盛土周辺の沖積粘性	生土	□有☑	無 🗌 不明	(			)
			Mark Mark Mark Mark Mark Mark Mark Mark	Sant Park	状態の	・盛土周辺の沖積飽和	口砂質土	□有☑	無 🗌 不明	(			)
		11/1			態の			_	(				)
- NO. 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10			pg			・盛土末端部及び盛土	上全体に顕著な変料	<b>伏はなく、現状</b>	では健全と言え	る。		被冒	<b>害形態</b>
				A SANDERS OF THE SANDERS									
Control of the Control	20 %			F0	総								_
	300		0	50 100 m									
	1000	<b>A</b> D12	THE PERSON NAMED IN	3243	評							優	先度
		/ P12	And the second										
			背景には地理院タ	イル(全国最新写真または簡易空中写真)使	用								A3



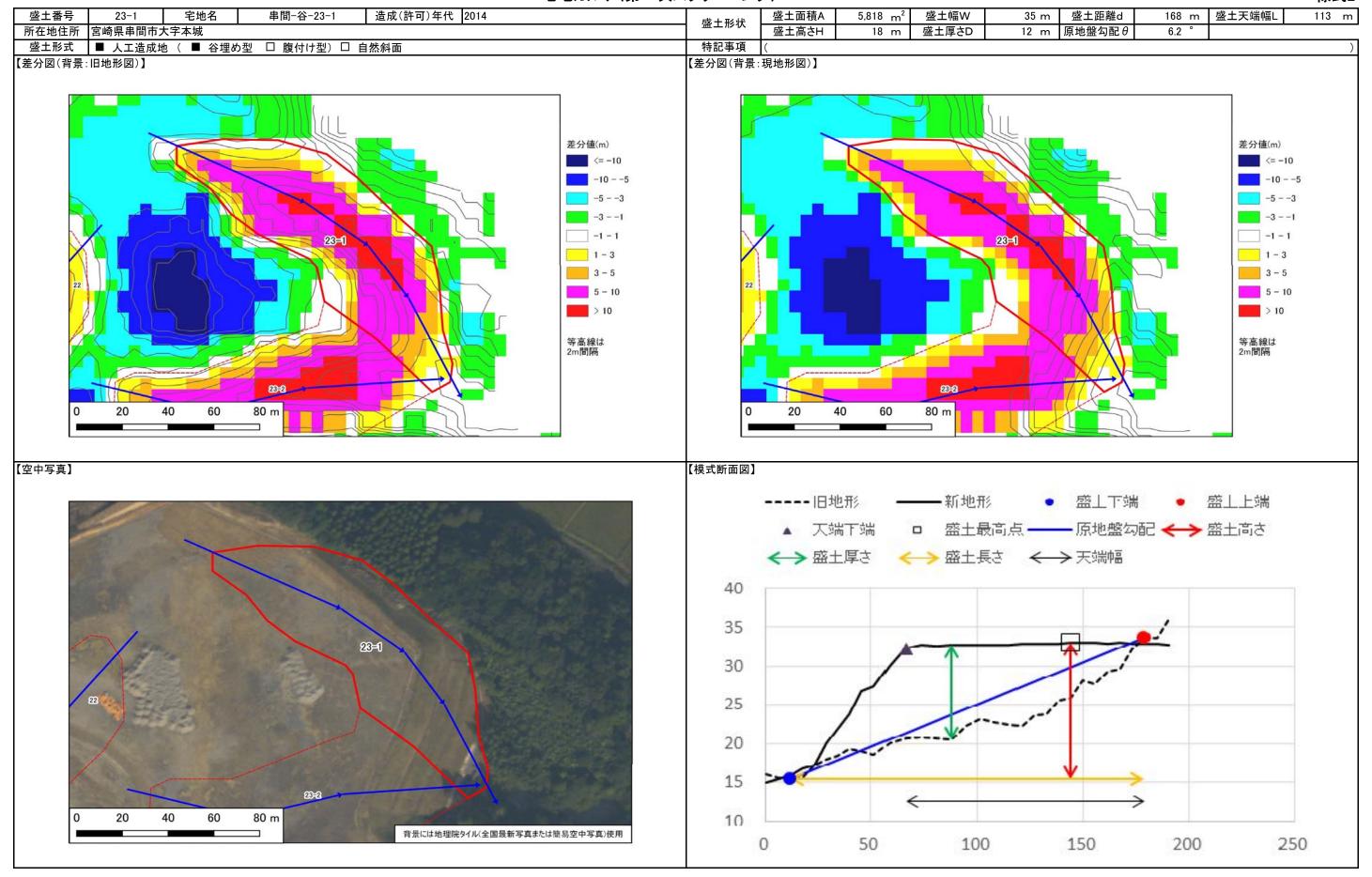
		死候盖工但从地 七地		1米工(1
宅 地 概	要 (第一次スクリーニング結果)		【位置図】	
盛土番号 22 宅地名 串間-	-谷-22			
所在地住所 宮崎県串間市大字南方	<u> </u>			
盛土形式 ■ 人工造成地 ( ■ 谷埋め型 □ 腹の	付け型)□ 自然斜面			
盛土面積A     6,313 m²     盛土幅W       盛土高さH     25 m     盛土厚さD	/ 45 m 盛土距離d 140 m	盛土天端幅L 77 r		
	(第二次スクリーニング計画の作成)	•		
優先度評価項目	判定(記事)			
① 盛土および擁壁の形状と構造が 口 非該当標準的な形状と構造に該当		-		
② 宅地地盤・擁壁・のり面の変状	■ 無 (	-	)	
③ 地下水 □ 有 □ 可能性 <sup>2</sup>	有 (		)	
④ 盛土の下の不安定な土層 ロ 有 ロ 不明		-	)	
⑤ 造成年代(基準年以前/後)	(	-	)	
⑥ 変動確率  ・盛土末端部及び盛土全体に顕著な変状はなく、現状	■ 小 (	- T		
・盗工木姉部及び盗工主体に顕者な変状はなく、現状	入しは歴土と言んる。	想定被害形態	0 100 200 300 m	
総		-	1.8 背景には地理院タイル(淡色地図)使用 【断面図】	
評   <mark>-  </mark>		優先度	■ <b>【町山凶】</b> 旧地形新地形 ● 盛土下端 ● 盛土上端	
		С	▲ 天端下端 ロ 盛土最高点 — 原地盤勾配 < → 盛土高さ	
宝地 概	概 要 (第二次スクリーニング)		<u>←</u> → 盛土厚さ <del>←→</del> 盛土長さ <del>←→</del> 天端幅	
【地盤定数】	【安定計算結果】		40	
出片仕往			35	
	内部 せん断波 摩擦角 速度 (°) (m/s)	常時 地震時	30 25	
(試験値)(試験値)(	(試験値)		20	
(計算値)(計算値)(	(計質値)		10	
	ひな理部分(下)		0 50 100 150 200	
	盛土全体			
			変動予測調査後	
			【工事の記録】	
<u> </u>			$\dashv$	
			「上怜の司母」	
総			【点検の記録】	
評				



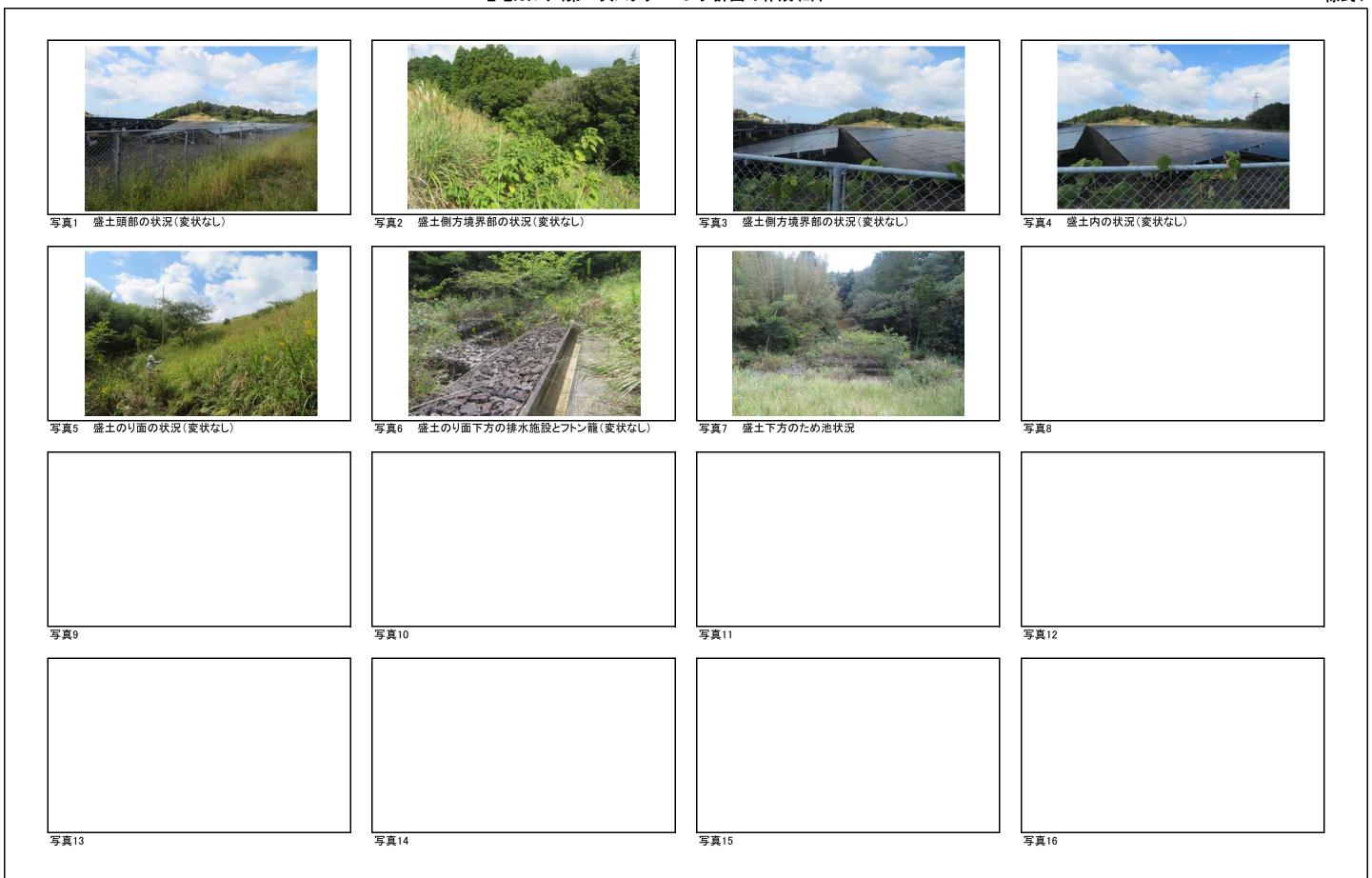
			++ +++ */m -ded ++- +m		· (5)5		HI II III II	•		n-b				14,42
	T		基礎資料整理	· \			-m-t		-m-t	現地踏査		1 v		
チェック項目				(記事)			調査日時	天気記録	調査日	1日前	2日前	3日前	4日前	5日前
·住宅	口 有	■ 無 (	0 )軒(		)		2021年10月8日	降水量(mm)	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
保 ·公共施設等	・公共施設等 □ 有 ■ 無 避難所 ( 緊急輸送路 ( 河川 (						内の平面図との相違 ***	·+·		無(				)
全					)		形状の机上調査との相談	<b></b>	□ 有 ☑		u= _	1+ 0+		)
保 ·公共施設等 全 対 象					)		末端部の状況				り面	擁壁 □		)
			鉄道 (		)		・原地盤材料の確認		□ 有 ☑	_	質土 🗌	砂質土	_	」 岩盤( 岩)
・その他特記事項		<u> </u>			)		・盛土材料の確認		□ 有 ☑	<del></del>	質土 🗌	砂質土 🛚	粘性土	
各 ・各種指定の有無 <sup>種</sup>	□有				人口集中地区DID		・既往調査の資料		□ 有 ☑	無(				)
指			□ 土砂災害特別警戒区域若しく		急傾斜地萠壌危険区域	質	・その他特記事項		_	(		/ == - <del>-</del> - \		)
各・各種指定の有無種 種指定の		L	□ 砂防指定地 □	] 地すべり防止区域	,		優先度評価項	目		\ <del></del>		(記事)		
等 ・その他特記事項		- (			)	1						1:1.8	,	)
そ の						│  盛 │形土	・小段の設置		□不適□□			數( 3 )段	. (	)
- の - 他						状お	· · ·	<u> </u>	□ 不適 ☑	適(植生工		/ - 1 - 1 - 1 - 1		)
	<del>-</del> -			dal <b>←</b> / ← 2 ★ )		とよ							_	)
優先度評価		\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \		判定(記事)		構び			□□↑週□	適 □ 鉄筋=			コンクリート造	
多 基準年代 (	1974	) □ 前	前 ■ 後 造成年代(2014		)	造擁				□ 練積		□ そのイ		)
造成年代・その他特記事	∮垻		— (	) 00 0/) <u>                                     </u>	<del>++</del> 0 > 24	壁 の				高さ( /	- )m、壁	面勾配( -	)	
6		ㅁᅔ			方式2) %)			· 17⁄2 +¬		( <b>1</b> m (				)
<b>変動確</b> 率	₹ <b>₽</b>		数量化Ⅱ類(	%) その他(	)		宅地地盤・亀裂、沈下			無(				)
・その他特記	∮ 垻				)	宅地	+7.77			無(				)
【平面図】	100					地	歴 │ ・			無(				)
	凡 例				N	盤	・推型の補修復位	<u> </u>		無(				)
						1-4-	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	+ nn _n_		無(				)
	め盛土	40	MARKET A STATE OF			状 雉 壁				無(				)
主測	線(断面位置)	- 100	COST / COSTORIO			•	00		│					)
	最影位置	- 60	1999 / TOTAL SECTION		10 To	の	- 《宝店院			無(				)
					1000000	IJ	1 5 1			無(				)
変状	箇所	100			1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	面の	Id.			無(無(				)
	1940	31130			The same of the same of	変	・その他特記事項		□ 有 ☑	無(				)
			100		PER SHARE		・盛土のり面からの湧	7k		、 可能性有 ☑	<b>499</b> - (			)
			P1				<ul><li>・ 擁壁水抜き穴からの</li></ul>			可能性有 ☑				)
					The state of the s		・ひな壇部分の擁壁前			可能性有 ☑				)
			PZ				・排水工や擁壁の恒常							)
Marine Co.			/ P3		大方 10 mg		・盛土のり尻排水工の							)
100 miles					September 1988	3	・排水工の目地・亀裂		□ 有 □ □		XII. (			)
-			22	200	1075	地	・盛土のり尻のため池		□ 有 ☑	_				,
- F 10 10			22		A STATE OF THE STA	下水	•既存井戸水位	, 1, 10 M-11, 11, 11, 11	□ 有 ☑	_				)
					<b>用一位</b>		・盛土のり尻の調整池	!•ため池	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	\ ☑ 無				, )
		P8			The state of the s		・集水地形上の盛土		☑ 可能性有	無				)
					D 12672		・盛土上ガレージの湿	IJ	□ 可能性有	_				)
			P7 P4	// P5	1000		・水を好む植生の有無	ŧ	□ 可能性有					)
11/06/05/2							・その他特記事項		_	(				)
		1			THE WATER	_4	・盛土周辺の崖錐、崩	i積土	□有☑:	無 🗌 不明 (	,			)
	P10				The F		・盛土周辺の沖積粘性	生土		 無 □ 不明 (	,			)
		P9	P6		C. F. C. S. C.	状下	・盛土周辺の沖積飽和	口砂質土		 無 □ 不明 (				)
					3000	層状態の			_	(				)
P11							・盛土末端部及び盛土	上全体に顕著な変料	犬はなく、現状で	は健全と言える	00		被	害形態
SEP-200-300					The second									
2 1300				E0 1	100.00	総								-
			0	50	100 m								<u> </u>	
200000			The state of the s	THE RESERVE		評								憂先度
18 May 18 M	All .	The state of	THE RESERVE OF THE PARTY OF THE	PARCHED BATTE	N. St. V. St. V. Ch.	_								С
			背景には	地理院タイル(全国最新写	真または簡易空中写真)使用	1								J



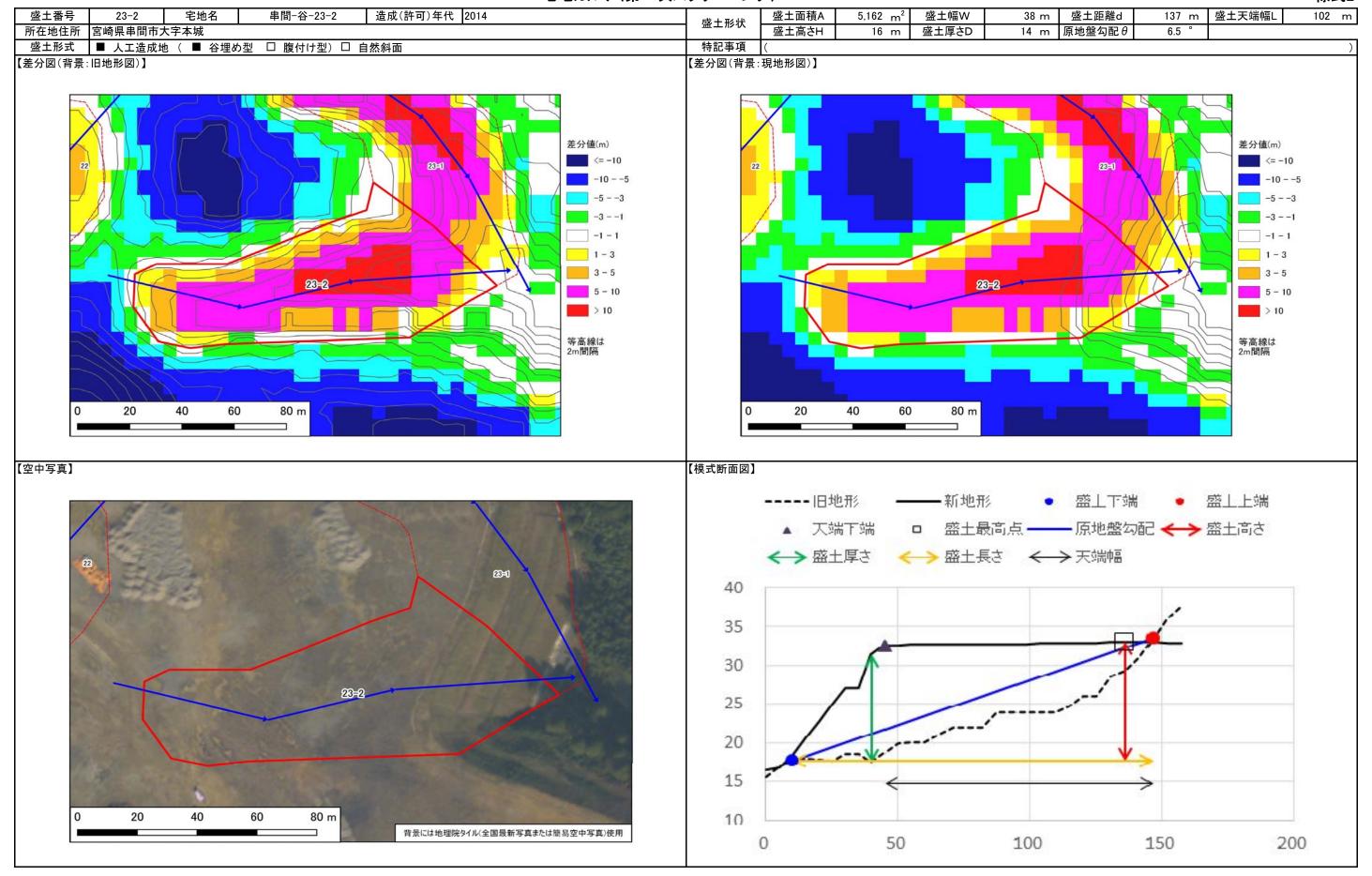
宅 地 概 要(第一次スクリー		,, <u>,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,</u>	「「位置図」
	ーーング 紀末/ 戊(許可) 年代 【2014		
強工番号	2014		
	<del>_</del>		
盛土形式 ■ 人工造成地 ( ■ 谷埋め型 □ 腹付け型) □ 自然斜		<u></u>	The state of the s
及十形状		盛土天端幅L 113	
監土高さH   18 m   監土厚さD   12 m	原地盤勾配 θ 6.2 °		
宅 地 概 要 (第二次スクリーニ			
優先度評価項目	判 定 ( 記 事 )		
① 盛土および擁壁の形状と構造が □ 非該当 ■ 該当 標準的な形状と構造に該当	-		
② 宅地地盤・擁壁・のり面の変状 □ 有 ■ 無	-		
③ 地下水 □ 有 ■ 無 □ 可能性有	-		)
④ 盛土の下の不安定な土層       □ 有 ■ 無 □ 不明	_		
⑤ 造成年代(基準年以前/後) □ 以前 ■ 後	_		)
⑥ 変動確率 □ 大 ■ 小	-		) 0/25-1 26-2
・盛土末端部及び盛土全体に顕著な変状はなく、現状では健全と言える。	<u> </u>	想定被害形態	0 100 200 300 m
総		_	背景には地理院タイル(淡色地図)使用
評		優先度	【断面図】 
		С	旧地形新地形 • 盛土下端 • 盛土上端 ▲ 天端下端 □ 盛土最高点原地盤勾配 ← > 盛土高さ
宅 地 概 要 (第二次スク	Jーニング)		←→ 盛土厚さ ←→ 盛土長さ ←→ 天端幅
【地盤定数】	【安定計算結果】		40
当片大连 上如 II / North		*** 1.1 = 1.1	
		常時地震時	35
			30
	- ひな壇部分(上)		
/=+F4/tx / /=+F4/tx / /=+F4/tx /			25
(試験値)(試験値)	ひな壇部分(中)		20
	0 0 = AP73 ( 1 )		
(計算値) (計算値) (計算値)	かた 徳 郊 八 (下)		15
	□ ひな壇部分(下)		10
	盛土全体		0 50 100 150 200 250
		•	で 変動予測調査後 【工事の記録】
総総			
評			
1 1			



					甘林次州南西		<i>-</i> -		<u> </u>		ᅚᄆᅠᅶᆈᄝᄽᅕ				17.260
チェック項	i				基 礎 資 料 整 理 判 定(記 事)			調査日時	天気記録	調査日	現 地 踏 査 ┃ 1日前	2日前	3日前	4日前	5日前
・住宅		□有	■ 無	<b>F</b> (		\	20	<u>調宜口時</u> 2021年10月8日	降水量(mm)	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
Λ 11 + <del>/-</del> =π. <del>//-</del>		□有	<b>■</b> #		避難所(	/ 字#		の平面図との相違			無 (	0.0	0.0	0.0	0.0
保 ·公共旭設寺   人	Ŧ	□ 19	- *		<sup>姓無別</sup>			の平面図との相違 状の机上調査との相違							)
44   王					河川(			状の机工調査との作り 端部の状況	<b>些</b>		無(	り面	擁壁  □	すりつき (	)
保 ・公共施設等   全   対   象					鉄道(	· L		・原地盤材料の確認		□ 有 ☑		り面 □ 質土 □			岩盤(岩)
・その他特記	車佰	_	_	(	<b>火</b> 色	/  土	-	・盛土材料の確認				<sup>見士</sup> □	砂質土 🗌	粘性土	40 盆( 40 /
各・各種指定の		□ 有	<b>■</b> 毎	<u> </u>	宅地造成工事規制区域 □ 災害危険区域 □ 人口集中地区DID	/ 貝	-	・既往調査の資料			無 (	<b>只工</b> □	的女工 🗌	和工工	)
T	7 H W	ш ,	_ ^		土砂災害特別警戒区域若しくは土砂災害警戒区域 □ 急傾斜地崩壊危険区域	FF	-	・その他特記事項			/// (				)
指					砂防指定地 □ 地すべり防止区域	` ⊢		優先度評価項	 i日			判 定	(記事)		/
定 等・その他特記	事項	_	_	(		) (	1)	・盛土のり面勾配		□ 急 ☑	適 勾配 (	29 )° (			)
	34.70			`			·	・小段の設置					效(2)段、	(	)
その						形:		・のり面保護工の設置			適(植生工	,	- /120	`	)
他						状态	L .	・ひな壇部分の傾斜			適 傾斜角 (	( 0 )°	(		)
	度評価項目				判定(記事)		よし.	擁壁構造の適格性			適 □ 鉄筋:		、 無筋コン	ンクリート造	,
	<del>年代</del> (	1974	) [	〕前	■ 後 造成年代(2014	—— 構 ( ) 造 :	U`				□ 練積:		□ その他		)
	···· 他特記事項		´  <sup>-</sup>		- (	)	壁						面勾配( -		,
				〕大	■ 小 点数方式(方式1) 1.0 %) 点数方式(方式2) %)		_	・その他特記事項		_	(	, ,			)
⑥ 変動確率 3 a a					数量化Ⅱ類( %) その他(			宅地地盤•亀裂、沈下	、隆起	□有☑	無(				)
変動唯平   ・その・	他特記事項				- (		<b>彰</b> [	. ・ 擁壁とその基礎			無(				)
【平面図】							地	擁 │・擁壁背面の変状			無(				)
The Late	100000	6-1	6 33	87.85			地 盤	≝ ┢ 擁壁の補修履歴			無(				)
.30					N /	1 3		盛・ガリ侵食跡			無(				)
13/16						<u>₁+</u> :	雍	土 ⋅表面の不陸又は	:凹凸		無(				)
900						11/2	はして	りし ・		□有☑	無(				)
						l ,		面 ・排水工の変状			無(				)
1	1						ن (نا	そが悪痕跡			無(				)
							前し(	の ▶・根曲がり			無(				)
							の <u> </u> f	他・道路の変状		□ 有 ☑	無(				)
3.70								・その他特記事項		_	(				)
The same of the sa					P1			・盛土のり面からの湧			可能性有 🔽				)
								・擁壁水抜き穴からの			可能性有 🔽				)
5960								・ひな壇部分の擁壁前			可能性有 🔽				)
			1		P2			排水工や擁壁の恒常			可能性有 🔽				)
100						(3		・盛土のり尻排水工の			可能性有 🔽	無(			)
25.35				1	23-1	3 地	,	・排水工の目地・亀裂:							)
E-1	The said			2	P4	<del> </del>	<del>.</del>   •	・盛土のり尻のため池	寺の満水水位	一有 🗸					)
17.50				100		水	`	・既存井戸水位	<b>ታ</b> ኔሌ ነው	□ 有 ☑					)
100								·盛土のり尻の調整池 ·集水地形上の盛土	*/こめ7池	<ul><li>☑ 可能性有</li><li>☑ 可能性有</li></ul>					)
100m	- TO (2)							· 柔小地形工の盗工 · 盛土上ガレージの湿	l.1	□□可能性有					)
1	100 m				P3			・水を好む植生の有無	•	□□可能性有					)
1	Market Co.							・その他特記事項	:		✓ <del>///</del>				)
10						(		・盛土周辺の崖錐、崩			 無 □ 不明 (	,			)
18 11				/	Pb Pb	土質		・盛土周辺の産雄、旅 ・盛土周辺の沖積粘性			無 □ 不明 ( 無 □ 不明 (	•			,
	10 20 (9)	NO THE			P7	/	‡ .	・盛土周辺の沖積飽和			無 □ 不明 (				)
	凡	例			23-2	状:	າ   .	・その他特記事項	>		( (	•			)
	谷埋め盛出	=						盛土末端部及び盛土	:全体に顕著な変物	大はなく、現状で	は健全と言える	) <sub>0</sub>		被害	
	主測線(出	所面位置)				_	,								
						総	3								_
	写真撮影位	<b>江</b> 置			0 50 100 m										
1	変状箇所				The second secon	評	<u>i</u>							優	先度
	The Suid	No.	AT 1 2			-									С
					背景には地理院タイル(全国最新写直または簡易空中写直)	使用	- 1								



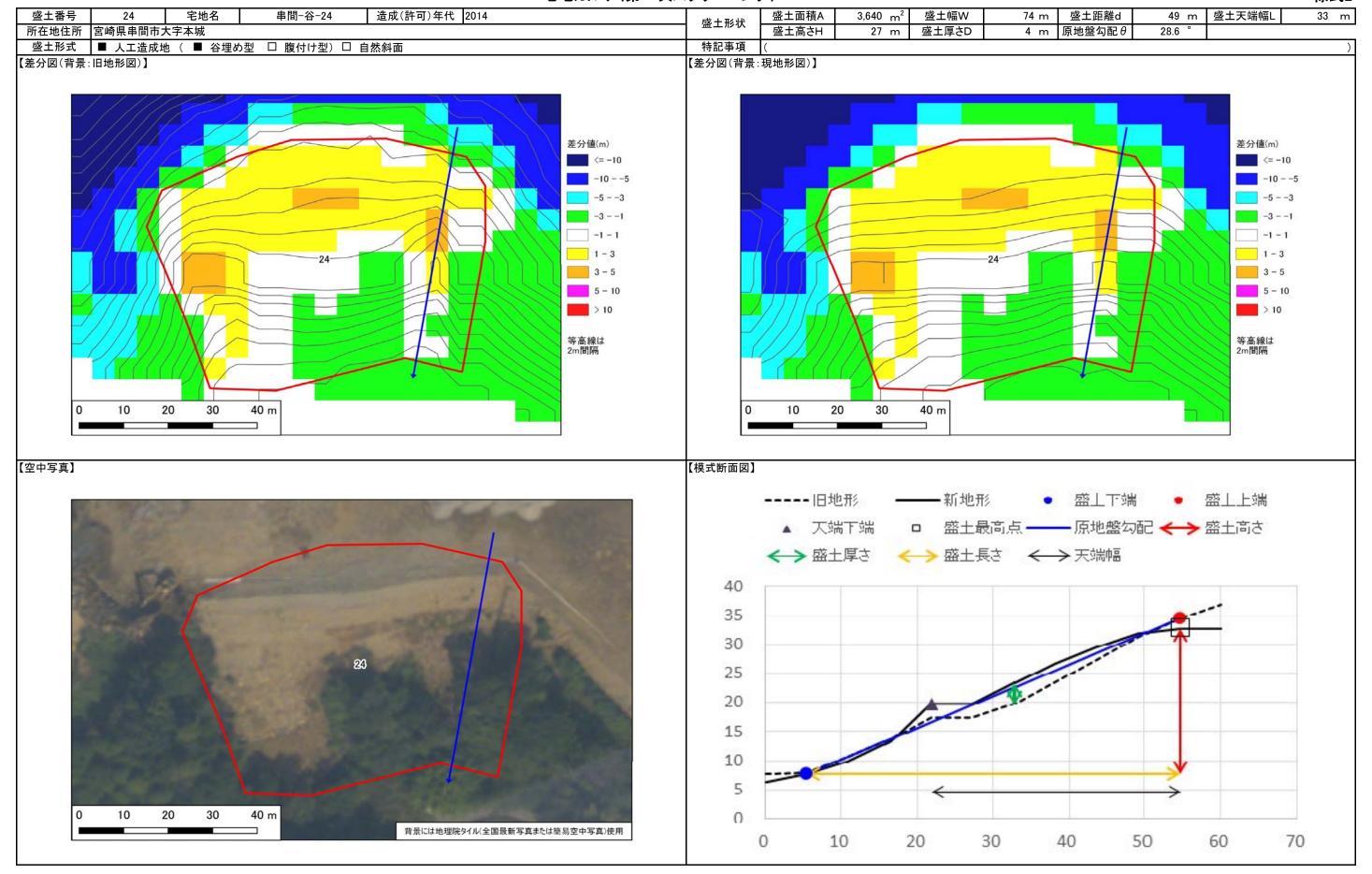
	宅 地 概 要(第一次スクリーニ	ング結果)			【位置図】	1442-61
盛-		许可)年代 2014				
	地住所 宮崎県串間市大字本城	11 37 110  2011				
	上形式 ■ 人工造成地 ( ■ 谷埋め型 □ 腹付け型) □ 自然斜面					
- 世	成十面積 5.162 2 成十幅 20 m 成	注土距離d 137 m	盛土天端幅に	_ 102 m		
- 200	上形状     盛土面積A     3,102 m     盛土幅W     36 m     盛       盛土高さH     16 m     盛土厚さD     14 m     原均	也盤勾配 θ 6.5 °		•		
	宅 地 概 要(第二次スクリーニング	が計画の作成)				
		判定(記事)				
	土および擁壁の形状と構造が □ 非該当 ■ 該当 ( 準的な形状と構造に該当	-				
② 宅	地地盤・擁壁・のり面の変状 □ 有 ■ 無 (	-	-		)	
③ 地	下水 □ 有 ■ 無 (□ 可能性有	-	-		)	
④ 盛	土の下の不安定な土層 □ 有 ■ 無 (	-			) 田 " 6 24 " " " " " " " " " " " " " " " " " "	
⑤ 造	成年代(基準年以前/後) □ 以前 ■ 後 (	-	-		)	
⑥ 変	動確率	-	-			
	・盛土末端部及び盛土全体に顕著な変状はなく、現状では健全と言える。		想定	被害形態	0 100 200 300 m	
総				-	18.4 背景には地理院タイル(淡色地図)使用	
評			優	先度		
				С	旧地形 ——新地形 ● 盛土下端 ● 盛土上端 ▲ 天端下端 □ 盛土最高点 ——原地盤勾配 <del>← →</del> 盛土高さ	
【地盤		ーンファ 安定計算結果】			40	
	当片 <b>注</b>	文是们并们来】				
	//・・・・     //・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		常時	地震時	35	
		すいた (主要のハイリン			30	
		ひな壇部分(上)			25	
	(試験値) (試験値)	カルウカハ(十)				
		ひな壇部分(中)			20	
	(計算値) (計算値)	ひな壇部分(下)			15	
		ひな追部分(下)			10	
		盛土全体			0 50 100 150 200	
					変動予測調査後	
					【工事の記録】	
-					$\dashv$	
総					【点検の記録】	
評						
I						



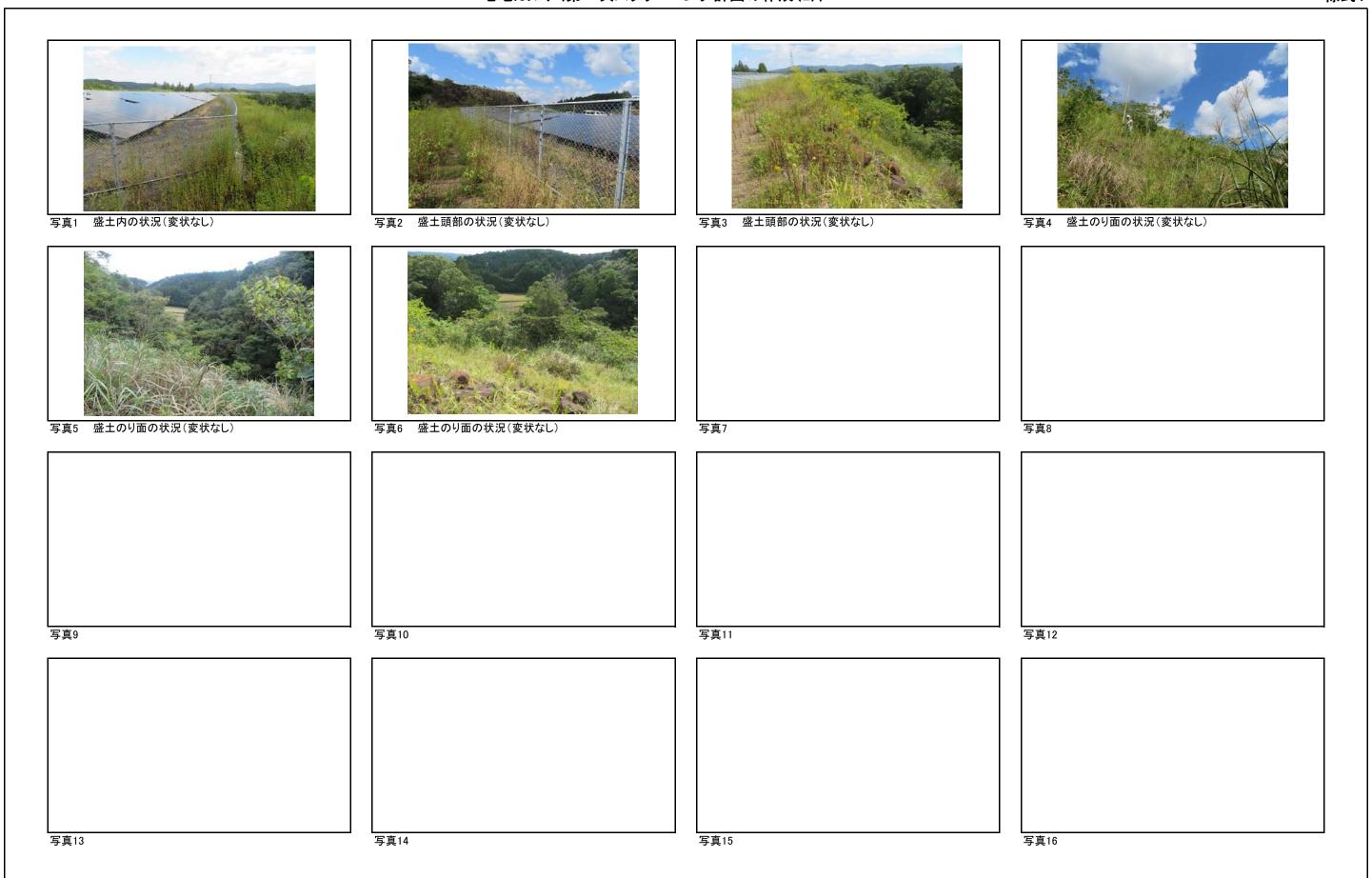
						H1 H - 7     1774 ( - 7 )							17.200
	1		基礎資料整理						現地踏				- ::
チェック項目			判 定(記事)			調査日時	天気記録	調査日	1日前	2日前	3日前	4日前	5日前
·住宅		■ 無 (		)		2021年10月8日	降水量(mm)	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
保 ·公共施設等	□有	■ 無	避難所(			の平面図との相違	_		<b>無</b> (				)
· 全   対			緊急輸送路(			状の机上調査との相違	墓	□ 有 □		<del>.</del>	14.04		)
対   象			河川 (	) 🔯		端部の状況		. –		かり面 🗆	擁壁 □	すりつき (	)
			鉄道   (		_	・原地盤材料の確認		□ 有 □	_	樂質土 🗆	砂質土 🗆		岩盤(岩)
・その他特記事項		(				・盛土材料の確認		□ 有 □		樂質土 🗌	砂質土 🗌	粘性土	
│ 各 ·各種指定の有無 │ 種	□有		□ 宅地造成工事規制区域 □ 災害危険区域 □ 人口集中地区DID		FF	・既往調査の資料		│□ 有 □	2 無 (				)
指			□ 土砂災害特別警戒区域若しくは土砂災害警戒区域 □ 急傾斜地崩壊危険四	☑域	央	・その他特記事項		_	(		/ == - <del>-</del> \		)
定		 	□ 砂防指定地 □ 地すべり防止区域	, 📙		優先度評価項	l l	7	\ <del></del>		(記事)		
等・その他特記事項	_	(		)	•	・盛土のり面勾配				29 )° (		,	)
7				l.,		・小段の設置					枚(2)段、	(	)
l の l 他					It La	・のり面保護工の設置		□ 不適 □			,		)
			uu → /=¬ → \		ا ⊦ ا	・ひな壇部分の傾斜			」 適 傾斜角				)
優先度評価項		, , ,	判定(記事)		構び	・擁壁構造の適格性		□ 不適 □	② 適 □ 鉄筋		□ 無筋コ		
基準年代(	1974 	) □ 前	前 ■ 後 造成年代(2014	)   道	<b>造擁</b>				□ 練積		□ その他		)
造成年代・その他特記事	貝	<b></b>		)	壁 の	7 0 W 4+=-+			高さ(	- )m、壁	面勾配( -	) "	
6				, <b> </b>		・その他特記事項	Π⁄Φ +¬		(				)
<b>変動確</b> 率	=		数量化Ⅱ類(%) その他(	)	•	宅地地盤・亀裂、沈下			<u> 無(</u>				)
・その他特記事	貝		- (	)	宅地	・擁壁とその基礎・			<b>無</b> (				)
【平面図】					地	☆  ・擁壁背面の変状		有					)
			N		盤	・擁壁の補修履歴			<b>無</b> (				)
CONTRACTOR OF SEC.						盛・ガリ侵食跡		□ 有 □					)
				北	犬 薙 壁	エ ⋅表面の不陸又は	田口		<b>無(</b>				)
					至	り ・			<b>到無(</b>				)
The second second					の	☆ 排水工の変状			<b>無</b> (				)
12 Land 19	F 12		23=1			そり災害痕跡			<b>烈無</b> (				)
- P						の・根曲がり			<b>到無(</b>				)
1	<b>9000000000000000000000000000000000000</b>					他・道路の変状			2 無 (				)
The state of the s	CF 99			_		・その他特記事項 ・盛土のり面からの湧	-b	- + -	 可能性有 ☑	Am. /			)
		A. C. C.	P4			・擁壁水抜き穴からの		1 — —	<del></del> -	無(無(			)
	1000 PM	39/19				・ひな壇部分の擁壁前		1 — —		無( 無(			)
The second second						・排水工や擁壁の恒常			可能性有 🗸				)
			P6			・盛土のり尻排水工の			可能性有 🗸				)
200			P3		③	・排水工の目地・亀裂				<del>m</del> (			)
The state of the s			23-2 P5		地	・盛土のり尻のため池			_ ` ` `				,
ED 250			28-12		r	·既存井戸水位	4001個小小	1 .	7] 無( 7] 無(				)
The state of the s			P1 \ P3		/1/	・盛土のり尻の調整池	*ため油	┃					)
			P2 P2			・集水地形上の盛土	7207/6	□ 可能性有	_				)
1		The Party				・盛土上ガレージの湿	L)	□□可能性有	_				)
						・水を好む植生の有無		□ 可能性有	_				)
						・その他特記事項	•		(				,
2		1				・盛土周辺の崖錐、崩		□ 有 ☑	 無 □ 不明	(			)
19 miles				-		・盛土周辺の沖積粘性				(			)
	THE PARTY OF	34.34		/ <sub>1</sub>		・盛土周辺の沖積飽和			無口不明				)
J.	<b>L</b> 例	58	A STATE OF THE STA	〔		・その他特記事項			( 1 91	•			)
谷埋め	盛土	70				・盛土末端部及び盛土	全体に顕著な変	<u>-</u> 伏はなく、現状	· では健全と言え	<u>る。</u>		被爭	
		100	The second secon						· - · -				· <del></del>
主測線	(断面位置)				総								_
写真撮	影位置	1	0 50 100 m										
変状箇	Fif	40	ALL STATES AND ADDRESS OF THE PARTY OF THE P		評							優	 先度
交1人回	71	was die			āT ■								
			背景には地理院タイル(全国最新写直または簡易空中写										С



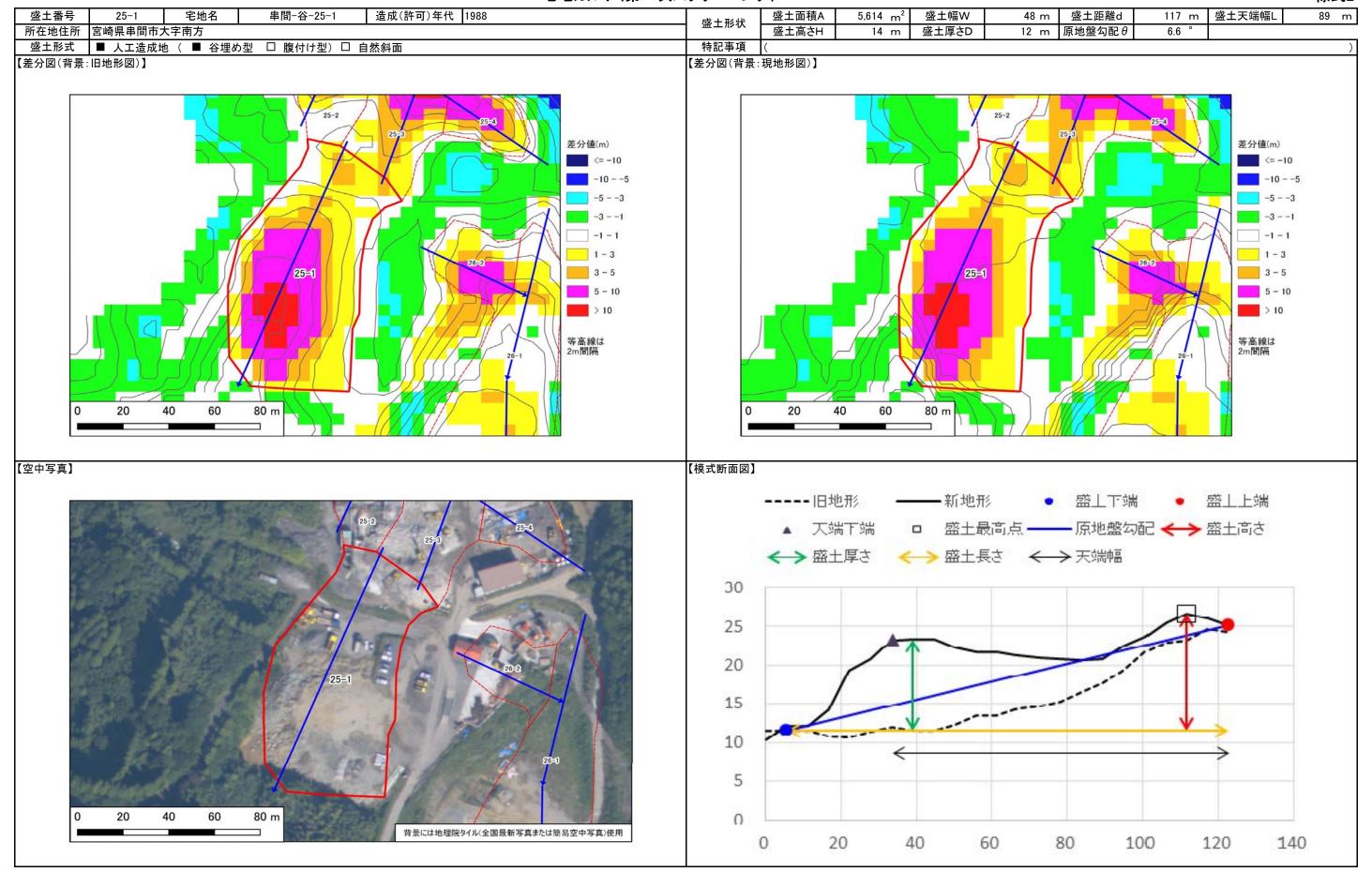
	<i>-</i>		.,,,,		10117	15-01
宅 地 概 要(第一次スクリ				【位置図】		
	成(許可)年代 2014					
所在地住所 宮崎県串間市大字本城						
盛土形式 ■ 人工造成地 ( ■ 谷埋め型 □ 腹付け型) □ 自然彩			1		" " " " " " " " " " " " " " " " " " "	
盛土面積A     3,640 m²     盛土幅W     74 m	盛土距離d 49 m	盛土天端幅L	. 33 m	י		
強土高さH   2/m   強土厚さD   4 m	原地盤勾配 θ 28.6 °					
宅 地 概 要(第二次スクリーニ						
優先度評価項目	判定(記事)			_		
① 盛土および擁壁の形状と構造が ■ 非該当 □ 該当 標準的な形状と構造に該当	のり面の高	哥さが5m以上		<u>)</u>	-50 23-1	
② 宅地地盤・擁壁・のり面の変状 □ 有 ■ 無	(	_		)		
③ 地下水 □ 有 ■ 無 □ 可能性有	(	-		)		
④ 盛土の下の不安定な土層 □ 有 ■ 無 □ 不明	(	-	,	)	0 1 25-2 25-4	
⑤ 造成年代(基準年以前/後) □ 以前 ■ 後	(	-	``	)		
⑥ 変動確率	(	-		)		
・盛土末端部及び盛土全体に顕著な変状はなく、現状では健全と言える。		想定被	坡害形態		0 100 200 300 m	
					背景には地理院タイル (淡色地図) 使用	
総			_		有泉(Clase是此文 177 (灰色地區/ 灰州	
評		<b></b>	先度	【断面図】		
		逻	兀岌			
			A3		旧地形 <b></b> 新地形 ● 盛土下端 ● 盛土上端	
			, to		▲ 天端下端 □ 盛土最高点 ―――原地盤勾配 ← → 盛土高さ	
宅 地 概 要(第二次スク					←→ 盛土厚さ ←→ 盛土長さ ←→ 天端幅	
【地盤定数】	【安定計算結果】				40	
単位体積	ÿ	常時	地震時		35 30	
	- ひな壇部分(上)				25	
	- いな垣即ガ(エ)				20	
(試験値) (試験値)	─ ひな壇部分(中)				15	
					10	
(計算値) (計算値) (計算値)	□ ひな壇部分(下)				5	
	盛土全体				0 10 20 30 40 50 60 70	
		<u>L</u>			変動予測調査後	
				【工事の記録		
総				【点検の記録	禄】	
評						
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □						



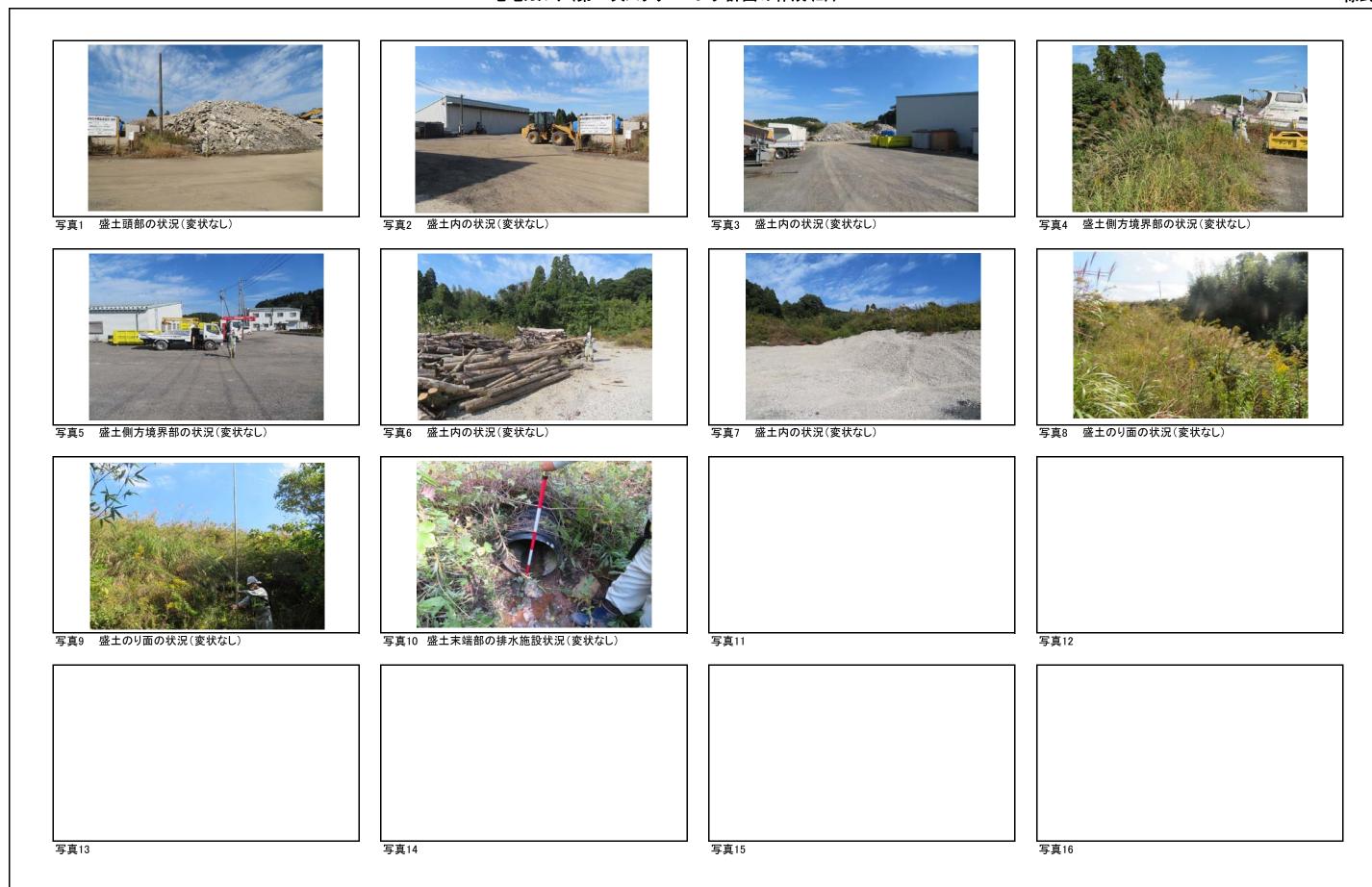
						, HI = 3   1 /30 ( 1 /	<u>′</u>						17760
				基礎資料整理					現地踏				
チェック項目				判 定(記事)		調査日時	天気記録	調査日	1日前	2日前	3日前	4日前	5日前
•住宅	口有		無(	0 )軒(	)	2021年10月8日	降水量(mm)	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
保 ·公共施設等	口有		無	避難所(	)宅地	内の平面図との相違		□有□	7 無 (				)
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				緊急輸送路(	) 盛土	形状の机上調査との相	違	□有□	無(				)
対				河川 (	) 盛土	末端部の状況		_	abla	ひり面 🗆	擁壁 □	すりつき (	)
象				鉄道 (	) +	•原地盤材料の確認		□有□		樂質土 □	砂質土 🗆	粘性土 🗀	岩盤(岩)
・その他特記事項		_	(		) 質					樂質土 □	砂質土 🗆	上 粘性土	•
各・各種指定の有無	□有		無□	] 宅地造成工事規制区域 □ 災害危険区域 □ 人口集中地区DID									)
<b>種</b>	,			□ 土砂災害特別警戒区域若しくは土砂災害警戒区域 □ 急傾斜地崩壊危険区域	質				_ / (				,
指				□ 砂防指定地 □ 地すべり防止区域		優先度評価項				11 元	(記事)		
定 等・その他特記事項		_	(	1 岁的祖之地 1 地 9 4 9 的 正色线		・盛土のり面勾配	<del>к</del> µ	□急□	適 勾配 (	29 )° (			)
- '3			(						<del>-</del>		N. 1.0 數( 0 )段、	(	,
その					形出		<del>2</del>		_		5X \ \ \ \ / \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \		,
他					状ま		<u>L</u>	□ 不適 □	_		/		)
			I	₩☆ /=フ 赤 \	ے کے ا				」 適 傾斜角			. Au 174	)
優先度評価項				判定(記事)	構で	<i>እ</i>		│□ 不適 □	」 適 □ 鉄筋			ンクリート造	
多 基準年代 (	1974	)	口前	■ 後 造成年代(2014	〕│造摺	<b>在</b>			□ 練積		□ その他		)
造成年代・その他特記事項					)	_			高さ(	- )m、壁	面勾配( -	) -	
6			■大			ていたがあるが、		<del>                                     </del>	(				)
<b></b>	_			数量化Ⅱ類(%) その他()	(2				· 無(				)
・その他特記事項	頁			- (	) 5			□ 有 □	· 無(				)
【平面図】						.   壁   ルエロ曲ック/		│□ 有 □					)
				N	月月	51 1.協辟の始悠居は	<b></b>	□有□	<b>無(</b>				)
				V. S.		☆ 屈 ・ガリ侵食跡		□有□	<b>無</b> (				)
					1 上 扬	権	t凹凸	┃□ 有 □	無(				)
TAX DOMEST					状 <sup>搦</sup>	唯   の   弘出の   陸スに 達   山   ・亀裂		□ 有 □	無(				)
						│		│□ 有 □					)
Contract Con					0	そ・災害痕跡							)
The second second	1					∫   で		□ 有 □					)
						○ 他 ・道路の変状			」 、 ] 無 (				)
1000				THE RESERVE OF THE PARTY OF THE	3	で・その他特記事項			(				)
THE PARTY OF		4		THE RESERVE AND ADDRESS OF THE PARTY OF THE		・盛土のり面からの湧	水	□有□	可能性有 🗸	無(			)
		P1				・擁壁水抜き穴からの			<del></del>	無(			)
1000 500						・ひな壇部分の擁壁前			<del></del>	無(			,
192 8			/	P2 P3		・排水工や擁壁の恒常			可能性有 🗸				,
				The second secon		・盛土のり尻排水工の			可能性有 🗸				,
				\ p6	3	・排水工の目地・亀裂		□ 有 □		W. (			,
100 · 100 F 1				24	③ 地	・盛土のり尻のため池			· · · ·				,
The state of the s			$\Lambda$		下	•既存井戸水位	子の一個人の		-				)
			<b>1</b>	4	水	・盛土のり尻の調整池	1 - + - 14 241	□ 有 □	_				)
			$\sim \Lambda$	P5			3-7207心	□ 可能性有	<del></del>				)
						・集水地形上の盛土	111	□ 可能性有	<del></del>				)
CONTRACTOR OF THE PARTY OF THE						・盛土上ガレージの湿		□ 可能性有	_				)
The same of the same of						・水を好む植生の有無	K	□ 可能性有	ī ☑ 無				)
						・その他特記事項	11± 1	<u> </u>	(	,			)
					± ½	・盛土周辺の崖錐、崩			無口不明	(			)
					層質	☆ ・盛土周辺の沖積粘性			無口不明				)
万	. 例				状 1 6	・盛土周辺の沖積飽和	印砂質土	□有☑	無 🗌 不明	(			)
				STATE OF THE PARTY	~ O				(	7			)
谷埋め	<b>盗土</b>			TO SECURE A SECURE AND A SECURE ASSESSMENT OF THE SECURE ASSESSMENT ASSESSMEN		・盛土末端部及び盛出	上全体に顕著な変	状はなく、現状	では健全と言え	<b>ර</b> ං		被	害形態
主測線	(断面位置)		100	THE RESERVE OF THE PARTY OF THE	400								
				0 F0 -100-	総								-
写真撮	杉位直			0 50 100 m									
変状箇	听			THE RESIDENCE OF THE PARTY OF T	評								先度
ALCOHOLD AND		170.00											A3
1				背景には地理院タイル(全国最新写直または簡易空中写直)の	用	1							



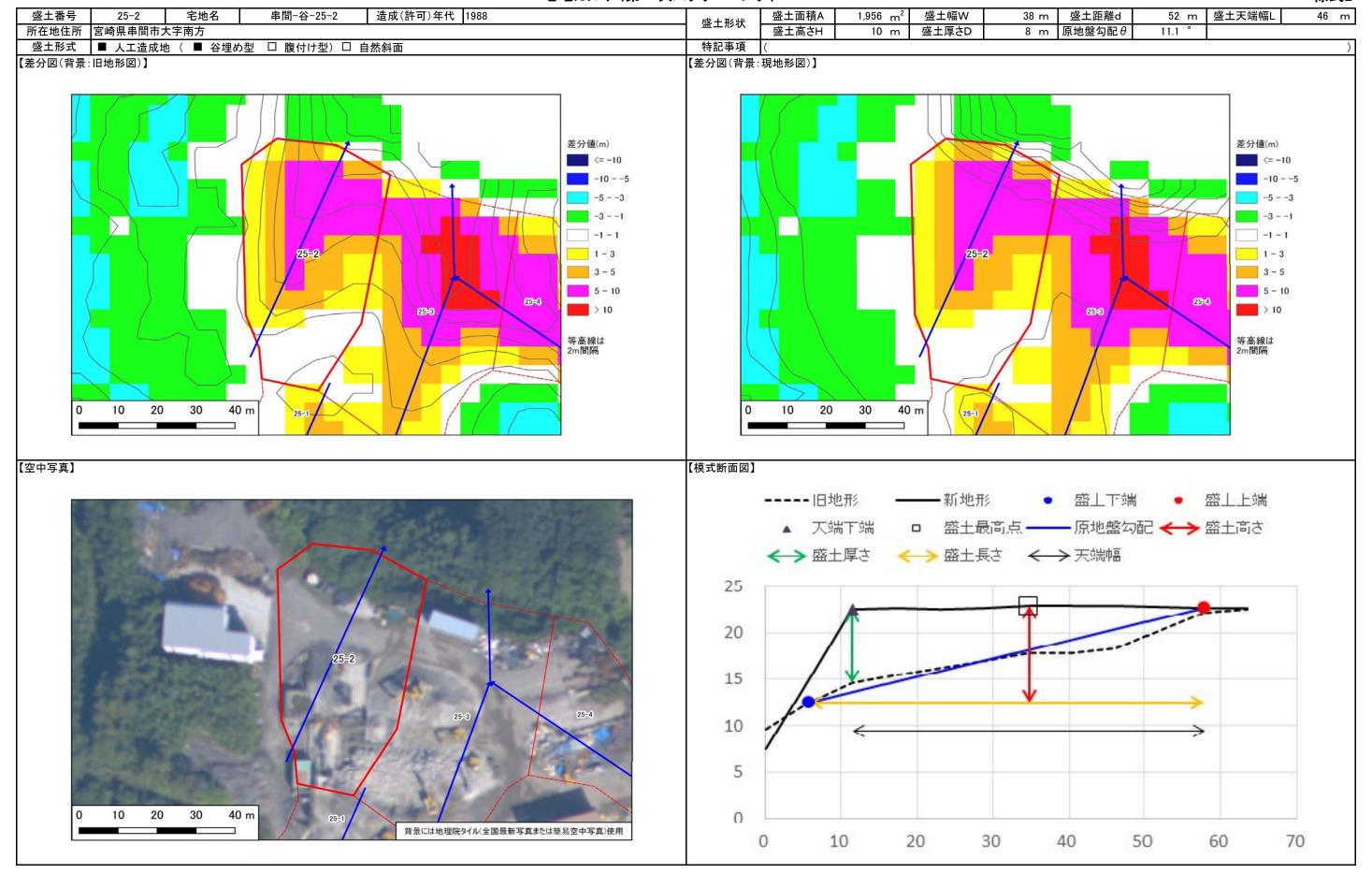
					. 西 <i>/ 性</i>	- カフカロ						
战士平	<u> </u>	5_1	ウサク				ーニング結果) ポ(許可) 年代				【位置図】	
盛土番		5-1	宅地名	<b>手</b> 间	-谷-25-1	垣	或(許可)年代	1988			4	
所在地位		串間市大		, 페	5 /		<del></del>				4	
盛土形		工造成地		カ型 口順				147	# 1 + + + + -	- I 00	4	
盛土形	77.	面積A	5,614 m <sup>2</sup>			48 m	盛土距離d	117 m	盛土天端幅	≣L 89 m		.50
	盛工	用ち高	14 m	盛土厚さ			原地盤勾配 6				4	西 11 11 222
	医业品		ት	1 地 概 3	と (第二次	スクリーニ	ング計画の作				_	13-2
		評価項目			W =	=4 47	判定	(記事)				6,6
① 盛土	らよび擁壁の りな形状と構	形状と構造 造に該当	:が		当口		(	のり面の高	さが5m以上			田 " 24 " " " " " " " " " " " " " " " " "
② 宅地均	也盤∙擁壁∙の	り面の変物	<b>;</b>	口有		無	(		-	,	)	25-2 25-4
③ 地下	k			□ 有能	生有		(		-	,	)	25-126-2
④ 盛土(	の下の不安定	な土層			月		(		_		)	
⑤ 造成4	₹代(基準年)	以前/後)		口以「			(		-			" " 18.4
6 変動				口大			(		-			
	土末端部及	び盛土全体	に顕著な変	状はなく、現	状では健全	と言える。			想定	≧被害形態 		0 100 200 300 m
総										_		背景には地理院タイル(淡色地図)使用
評										優先度	【断面図】	
										A3		旧地形 ——新地形 ● 盛土下端 ● 盛土上端 ▲ 天端下端 □ 盛土最高点 —— 原地盤勾配 <del>《 →</del> 盛土高さ
				宅 地	概要(第	有二次スク	リーニング)		,		1	←→ 盛土厚さ ←→ 盛土長さ ←→ 天端幅
【地盤定数	<b>t</b> ]						【安定計算約	吉果】			1	30
		代表N信	単位体積 重量 (kN/m³)	粘着力 (kN/m²)	内部 摩擦角 (°)	せん断波 速度 (m/s)		亶部分(上)	常時	地震時		25 20 15
			(試験値)	(試験値)	(試験値)		ひなり	ョ部分(中)				15
			(計算値)	(計算値)	(計算値)		ひなり	ョ部分(下)				5
							盛	土全体				0 20 40 60 80 100 120 140
							•	•				変動予測調査後
											【工事の記録	录】
											]	
									· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			
_												
総											【点検の記録	
≘ಪ												
評												



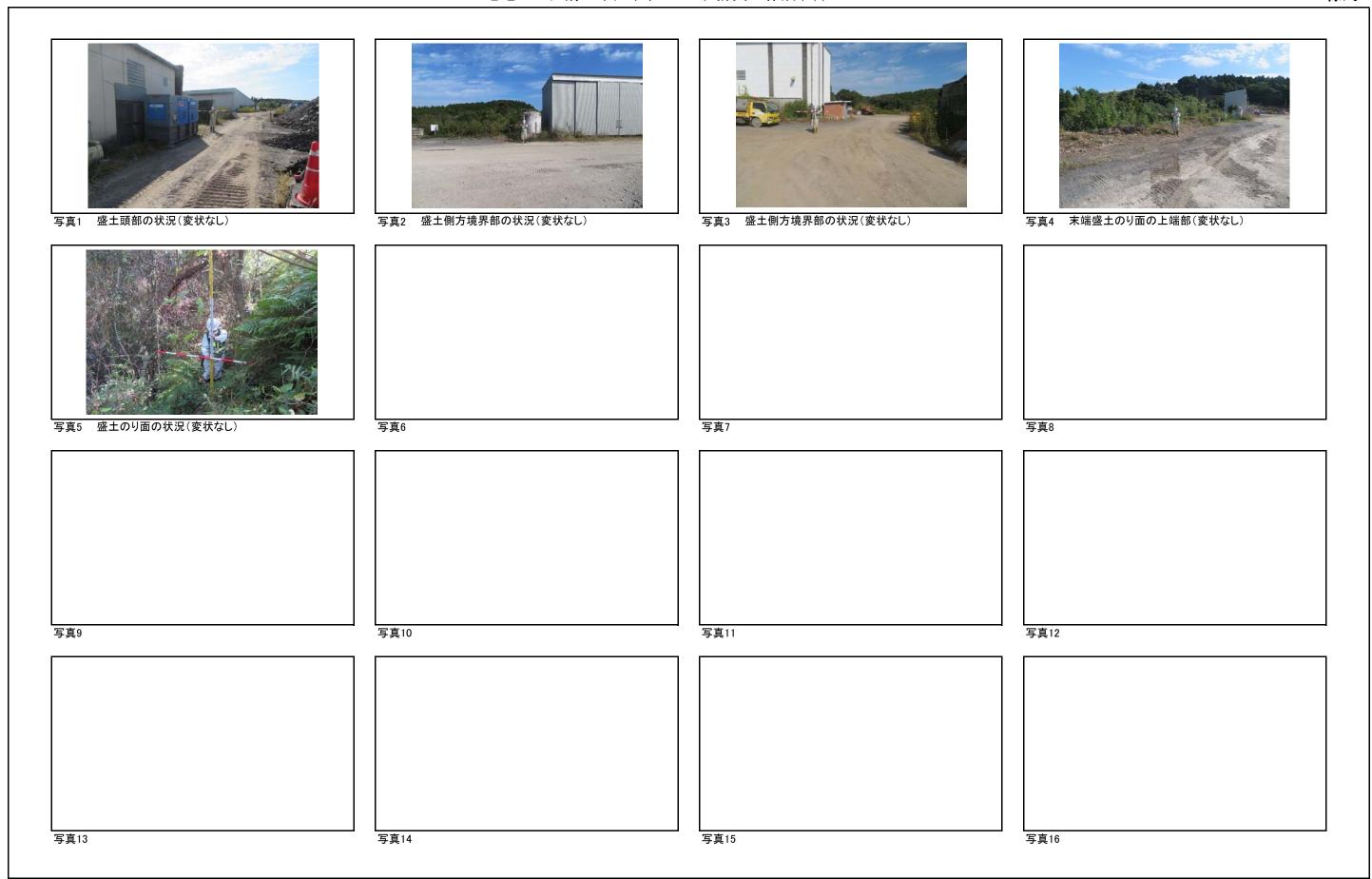
						<del>л П -                                  </del>							17.200
				基礎資料整理					現地踏				
チェック項目				判 定(記事)		調査日時	天気記録	調査日	1日前	2日前	3日前	4日前	5日前
·住宅	口有		無(	0 )軒(	)	2021年10月30日	降水量(mm)	23.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.0
保 ·公共施設等	□有		無	避難所 (	)宅地	内の平面図との相違		☑ 有 [	」 無 ( 新たに	建物が立地し	ている		)
全				緊急輸送路 (	) 盛土	:形状の机上調査との相	違	┃□ 有  □	刀 無 (				)
│ 全 │ 対				河川 (		末端部の状況			_	かり面 🗆	擁壁 □	すりつき (	)
象				<b>鉄道</b> (	) +	•原地盤材料の確認		□有□	_	業質土 □	砂質土		岩盤(岩)
・その他特記事項	_	_	(		´  工 )  質					··ベー □ 樂質土 □	砂質土 □	粘性土	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
各・各種指定の有無	□有		<u>*************************************</u>	〕 宅地造成工事規制区域 □ 災害危険区域 □ 人口集中地区DID				□ 有	<del>-</del>	~ <u> </u>	DAT [	1011-	)
種		-		」 七地道成工事就前位域	質				_	・任孝のお話でけ	、盛土施工当時はは	+'州般'沿自を宇体	ているとのこと)
指				」 工砂灰音符が言成区域名しては工砂灰音言成区域 □ 忠傾料地崩壊危険区域 ] 砂防指定地 □ 地すべり防止区域		<u></u> 優先度評価項	西日	+	( 心故具			地面以及を大心	5(0.920)22)
定				1 砂切拍と地 口 地 9 へ 9 切止 区域	\		볏 디						\
等・その他特記事項	_	_	(			・盛土のり面勾配			<b>」適勾配(</b>			/ ATT - 14	)
<b>7</b>					- 1	盤│・小段の設置	<b>P</b>		<del></del> -		敷(1)段、	( 2段目は	.H=4.Um )
の (h)					形 :   状 a				② 適 (植生エ				)
他					— た。 と。				② 適 傾斜角		(ひな壇なし		)
優先度評価項目				判定(記事)	構で	が ┢ 擁壁構造の適格性		│□ 不適 □	2 適 □ 鉄筋				
⑤ 基準年代(	1974	)	□前	■ 後 造成年代(1988	)造技	雍			□ 練積		□ その他		)
│ 造成年代  ・その他特記事項	Į			- (		達			高さ(	- )m、壁	壁面勾配( -	)°	
			口大	■ 小 点数方式(方式1) 2.8 %) 点数方式(方式2) %)	- (	<sup>の</sup> ・その他特記事項		-	(				)
⑥ 変動確率				数量化Ⅱ類(%) その他(	(	② 宅地地盤・亀裂、沈下	、隆起	□有□	2 無 (				)
変動唯学  ・その他特記事項	Į			- (	) 5	記し ・ 擁壁とその基礎	をの変状	□有□	2 無 (				)
【平面図】						<sup>也┃擁</sup> ┃•擁壁背面の変キ	犬						)
AND DESCRIPTION OF THE PERSON NAMED IN	Aut.		UM/S			也   壁   ・嬢 段 の 雄 攸 房 頃			」				,
凡	例			N N	1	盤 ・ガリ侵食跡	<u></u>	-	<u></u> 無 (				,
谷埋め盛	;+			25-2		1 + 1	+mљ		2 無 (				,
				25-4	状 <sup>‡</sup>	雅   の     秋面の下陸へに 壁   山   ・亀裂	8111		<u>,</u> 無(				)
主測線 (	(断面位置)			25-3	-	-   り   電表 -   面   ・排水工の変状							)
写真撮影	:位置				(	) <del>「                                   </del>			_				)
						というとは、一人では、一人では、一人では、一人では、一人では、一人では、一人では、一人で			<b>烈無</b> (				)
変状箇所	i					面の・根曲がり			2 無 (				)
THE PARTY OF THE P	3000	ST PE			(	の他・道路の変状			2 無 (				)
		538			- 3	変 ・その他特記事項			(				)
G (NE N )						・盛土のり面からの湧				無(			)
				y / Series /		・擁壁水抜き穴からの				無(			)
11 . 11.9	间的设施			P2 P1		・ひな壇部分の擁壁前				無(			)
-3650			1			・排水工や擁壁の恒常			可能性有 🗸				)
8,000			1			・盛土のり尻排水工の	D水没	□有□	可能性有 🔽	無(			)
5000000					3 地	・排水工の目地・亀裂	というの地下浸水 からの地で浸水 しょうしょう しょうしょ しょく かんしょ かんしょ しょく かんしょく かんしょく かんしょく かんしょく かんしょう かんしょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しゅうしゅう しょう しゅうしゅう しゅうしゃく しゅうしゃく しゃく しゅうしゃく しゃく しゅうしゃく しゅう	□有□	<b>無(</b>				)
2000		ger.			下	・盛土のり尻のため池	也等の満水水位	│□ 有 □	無(				)
				25-1	水			┃□ 有 「	7 無(				)
		D/I			"	・盛土のり尻の調整池	也・ため池	□ 可能性有	_ 有 [7] 無				)
737 3		F4				・ 集水地形上の盛土		□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□					)
-500 m	100			P5		・盛土上ガレージの湿	記り	□ 可能性有	<del></del>				)
When the state of the		3				・水を好む植生の有無		□ 可能性有	_				,
2. 19. 19. 19. 19. 19. 19. 19. 19. 19. 19			<b>护尼</b>			・その他特記事項	iii.		(				,
	P8 ·	-	134	P7		④ ・盛土周辺の崖錐、崩	   括 十	□ 有 ☑	無 □ 不明	(			<u>,</u>
		300				。 - 盛土周辺の沖積粘   ・盛土周辺の沖積粘			無口不明				)
		P9 -	<b>►</b> /	P6	/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /								)
a market in			X		状 態	下   一盆工河辺の冲傾即/ カー・スの丛は記事で	加沙貝土	□ 有 ☑	無二不明	(			)
16.20 C. 12.5			1		- (	か・その他特記事項・盛土末端部及び盛:	+ △ はに既英か本	<u> </u>	ズナは人に言う	7		4.4.1=	) E TV 85
							エエ仲に 興者は変	ひはなく、 現状	には、性王と言え	<b>ි</b>			<b>手形態</b>
State of the second		P	10	SECOND STREET	総	<u> </u>							
				0 50 100 m	1/90	`							_
1212 11 11 11 11 11				100 m									
Contract Carlo				STATE OF STREET STATE OF STREET, STREE	評							優	先度
	7 AUG 19	V. A.		CONTRACTOR OF THE PARTY OF THE	_   -								A3
1				背景には地理院タイル(全国最新写直または簡易空中写直)	申用!							1	



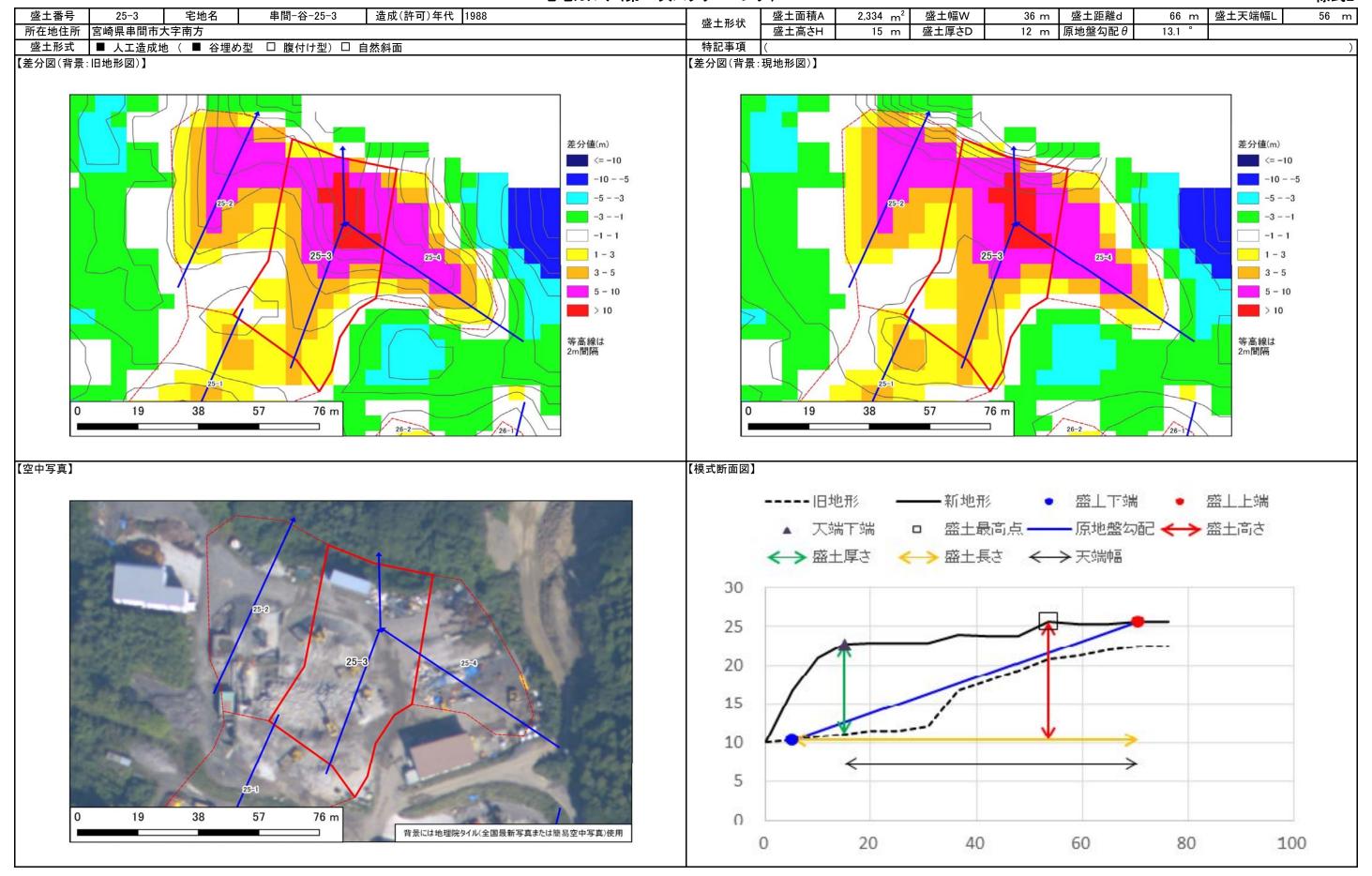
	宅 地 概 要 (第一次スクリーニン			【位置図】
盛:		·可)年代 1988		
	地住所 宮崎県串間市大字南方	37 114 1.000		
	土形式 ■ 人工造成地 ( ■ 谷埋め型 □ 腹付け型) □ 自然斜面			
	成十五结 1,056 2 成十幅 1,07 20 50 成十	土距離d 52 m	盛土天端幅L 46	
盗	土形状	盤勾配 θ 11.1 °	•	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	宅 地 概 要(第二次スクリーニング)	計画の作成)		.50
	優先度評価項目	判定(記事)		
	土および擁壁の形状と構造が 準的な形状と構造に該当 ■ 非該当 □ 該当 (	のり面の高さが5m以上、	のり面勾配が30度以上	)
② 宅	:地地盤・擁壁・のり面の変状 □ 有 ■ 無 (	-		)
③ 地	2下水 □ 有 ■ 無 (□ 可能性有	-		)
④ 盛	土の下の不安定な土層 □ 有 ■ 無 ( □ 不明	-		)
⑤ 進	成年代(基準年以前/後) □ 以前 ■ 後 (	-		
⑥ 変	□ 大 ■ 小 (	-		)
	・盛土末端部及び盛土全体に顕著な変状はなく、現状では健全と言える。	<u> </u>	想定被害形態	0 100 200 300 m
総			-	背景には地理院タイル(淡色地図)使用
評		_	優先度	【断面図】
			A3	旧地形 ——新地形 ● 盛土下端 ● 盛土上端 ▲ 天端下端 □ 盛土最高点 ——原地盤勾配 <del>← &gt;</del> 盛土高さ
	宅 地 概 要 (第二次スクリー=			
【地盤		<u>-</u>		25
地面	出 <i>件</i> 挂 + 如 1 / Nr +	(上計算相末)		7
			常時地震時	20
	$ \begin{array}{c c} & & & & & & & & & & & & & & & & & & &$			
		ひな壇部分(上)		15
				10
1 -		ひな壇部分(中)		
				5
		ひな壇部分(下)		
	<u> </u>	# 1 A /		0 10 20 30 40 50 60 70
		盛土全体		
				変動予測調査後
				【工事の記録】
				$\dashv$
_				
総				【点検の記録】
評				
1				



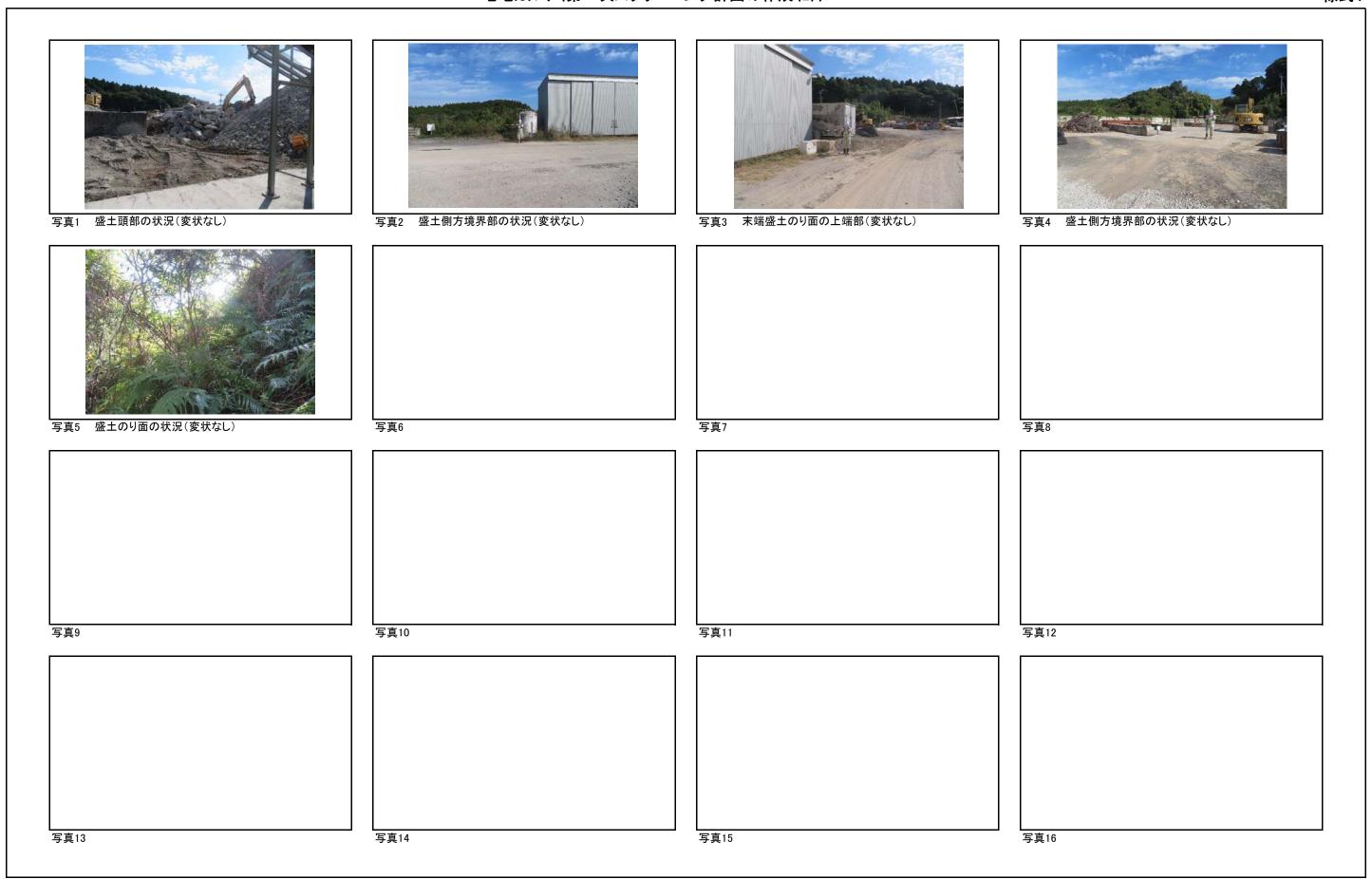
						_			
基礎資料整理		一一一	T = = 1 A 3		現地踏		T 004	1 45 4	T ===
チェック項目     判定(記事)       ・住宅     □有     無(0) )軒(		調査日時	天気記録	調査日	1日前	2日前	3日前	4日前	5日前
	)	2021年10月30日	降水量(mm)	23.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.0
保 ・公共施設等 □ 有 ■ 無 避難所 (		宅地内の平面図との相違 □ 有 □ 無(							)
緊急輸送路(		上形状の机上調査との相 トナ世界の北辺	廷	□ 有 ☑		•U∓ —	+ <del>☆</del> ₽ <b>☆</b> —	+U0+ /	)
保 *公共施設等     □ 有     ■ 無     避難所 (       全     緊急輸送路 (       対     河川 (       象     鉄道 (	- :	上末端部の状況		<u> </u>		かり面 🗆	摊壁 □	すりつき (	<u> </u>
1 ~~~ \	)  ±	-		□ 有 ☑	_	樂質土 🗆	砂質土		岩盤(岩)
· その他特記事項 - (				有 区	<del></del>	樂質土 🗌	砂質土 🗆	粘性土	,
各 ・各種指定の有無 □ 有 ■ 無 □ 宅地造成工事規制区域 □ 災害危険区域 □ 人口集中地区DID □ → 小災害は即激者反は □ 人口集中地区DID	地   質	•		□ 有 ☑	] 無 (				)
種 □ 土砂災害特別警戒区域若しくは土砂災害警戒区域 □ 急傾斜地崩壊危険区域 □ おいておられる □ 大口がはいる □ 大口がはいる □ 急傾斜地崩壊危険区域	<u> </u>	・その他特記事項 優先度評価項	<b>モロ</b>	_	(	如一中	/ 🗊 車 \		)
□ 砂防指定地 □ 地すべり防止区域 □ サイン □ 地すべり □ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	\		<b>月</b> 日		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	刊 正 45 )° (	(記事)		
		① ・盛土のり面勾配 盛 ・小段の設置				10.0 )m、段敷		(	)
そ   の	形式		₽	□ 不適 □			以 0 )段、	(	)
	状态		<u> </u>	□ 不適 □	」 適 (他主)	- ( - )°	/ 1\ t>+in t>		)
優先度評価項目 判定(記事)	, ح \!	よしいな塩のカの吸が				ガコンクリート造		ンクリート造	,
	構	<b>Λ</b> [		□ 不適 ☑	」 <u> </u>		□ 無励コ		,
⑤  基準年代 ( 1974 ) □ 前 ■ 後 造成年代(1988   造成年代  ・その他特記事項	) 造:	雅   <b>壁</b>				<sup>₹但</sup> - )m、壁i			,
□ 大 ■ 小 点数方式(方式1) 15.2 %) 点数方式(方式2) %)		ェ の ・その他特記事項		_	同C(	////、至/	피 거 타.	,	,
(6)		- COIETTE - 英	、		] 無(				
変動確率   数量に正規 ( 物) その他   数量に正規 ( 物) その他 ( )   対 ( ) 対 ( )   対 ( )   対 ( ) 対 (		②   宅地地盤・亀裂、沈下宅    ・擁壁とその基礎		□ 有 □	_				
【平面図】		地 擁 ・擁壁背面の変物		□ 有	•				)
	1	地 壁 掘座の端修屋の		□ 有					)
凡 例	1	盤 盛・ガリ侵食跡	<u> </u>	□ 有 ☑	_				,
谷埋め盛土		I <del>+</del> I	‡ጦ <sub></sub>	□ 有	•				)
	状;	壁 の ・亀裂	5.11	□ 有					)
主測線(断面位置)		·   ゥ   · 排水工の変状		□ 有 □	•				)
写真撮影位置	(	の そ・災害痕跡		_	無 (				)
変状箇所	l,	前┃の┃・根曲がり		□ 有					)
及 <b>八</b>		の 他 ・道路の変状			無 (				)
	]	変・その他特記事項			(				)
		・盛土のり面からの湧	水	□ 有 □	可能性有 🗸	無(			)
P5 P5		<ul><li>・擁壁水抜き穴からの</li></ul>	)恒常的な出水		可能性有 🔽				)
		・ひな壇部分の擁壁前	前面部の出水	□有□	可能性有 🔽	無(			)
		・排水工や擁壁の恒常			可能性有 🔽				)
PA DESCRIPTION OF THE PARTY OF		・盛土のり尻排水工の	D水没	□有□	可能性有 🔽	無(			)
25-2	3 地	〕 ┃・排水工の目地・亀裂	からの地下浸水	□ 有 ☑	無(				)
P3	下	・盛土のり尻のため池	也等の満水水位	□ 有 ☑	] 無 (				)
P2 A	,	、┃・既存井戸水位		□ 有 ☑	無(				)
25-3 25-4		・盛土のり尻の調整池	也∙ため池	□ 可能性有	_				)
P1 V		・集水地形上の盛土		☑ 可能性有					)
		・盛土上ガレージの温		□ 可能性有	_				)
		・水を好む植生の有無	Ħ	□ 可能性有	· 🗸 無				)
		・その他特記事項			(				)
	±;	④ ・盛土周辺の崖錐、崩			無 □ 不明				)
		盤┃・盛土周辺の沖積粘┃			無口不明				)
	状態	下│・盛土周辺の沖積飽和	<b>扣砂</b> 質土	□有☑	無二不明	(			)
	~~ (		ᅩᄼᄔᇋᄙᆇᇲᅩ	ー 比 <i>はも</i> く 7日Jり=	( ( ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )	7		1 11-	)
25-1		・盛土末端部及び盛ま	エ王仲に 興者な変	<b>仄はなく、現状</b> つ	じは健全と言え	<b>ි</b>		被害	<b>手形態</b>
	総								
0 50 100 m	1140							1	_
								re-	<b>生                                    </b>
	評							躛	先度
■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	使用して	'							<b>A</b> 3



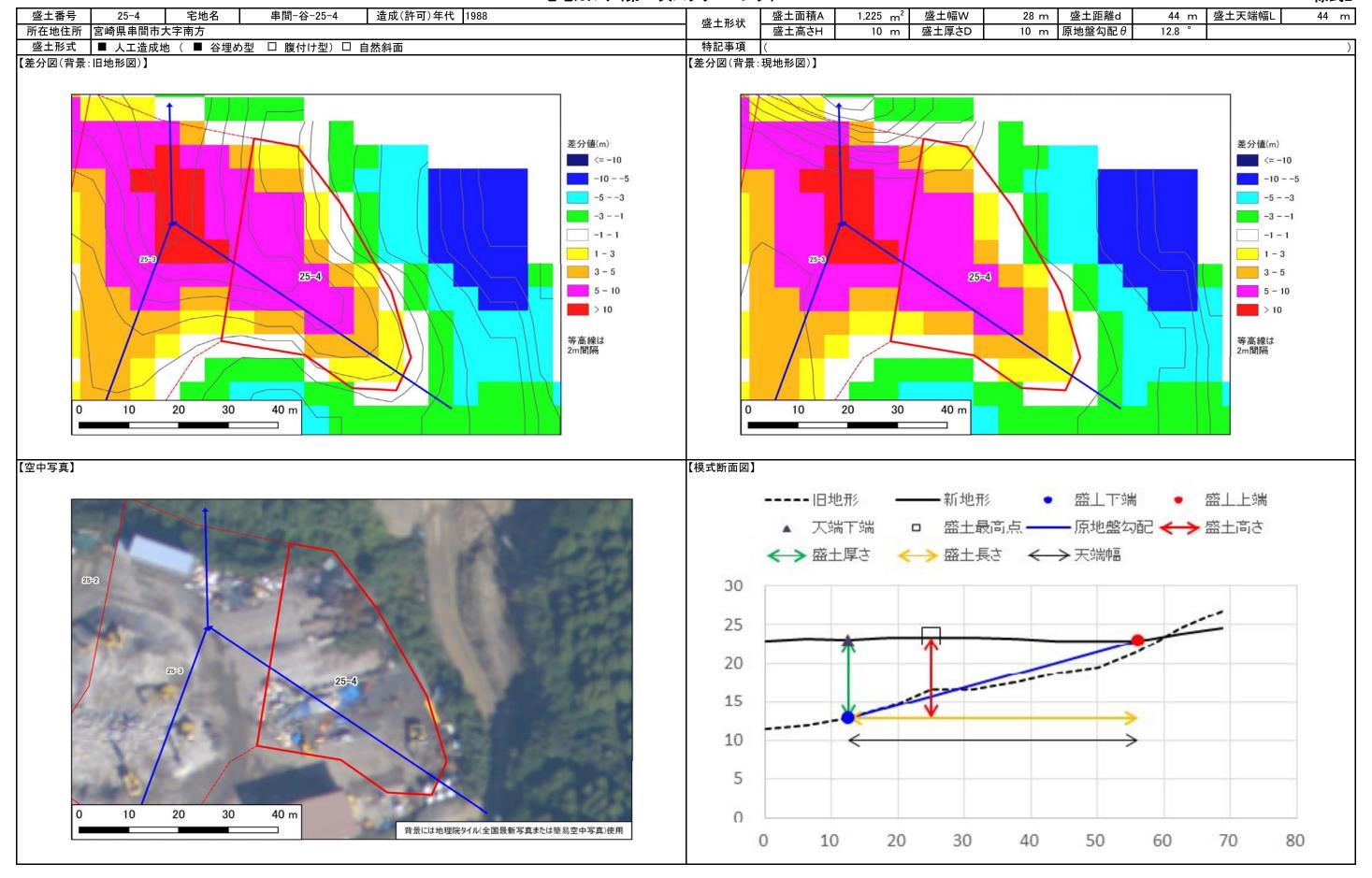
宅 地 概 要(第一次スクリーニング		【位置図】
	) ↑)年代 1988	
所在地住所 宮崎県串間市大字南方	// TIV   1000	
盛土形式 ■ 人工造成地 ( ■ 谷埋め型 □ 腹付け型)□ 自然斜面		
成十面積 2 224 2 成十幅 4 26 m 成十年	距離d 66 m 盛土天端幅L 56 m	
盛土形状     盛土間積A     2,334 m     盛土幅W     30 m     塩土       盛土高さH     15 m     盛土厚さD     12 m     原地盤		
宅 地 概 要(第二次スクリーニング計画		.50
	定(記事)	
① 盛土および擁壁の形状と構造が 標準的な形状と構造に該当 ■ 非該当 □ 該当 (	のり面の高さが5m以上、のり面勾配が30度以上	
② 宅地地盤・擁壁・のり面の変状 □ 有 ■ 無 (	-	田 " 24 " " " " " " " " " " " " " " " " "
③ 地下水 □ 有 ■ 無 (□ 可能性有	-	)
④ 盛土の下の不安定な土層 □ 有 ■ 無 ( □ 不明	-	
⑤ 造成年代(基準年以前/後)	-	
⑥ 変動確率	- -	
	想定被害形態 ————————————————————————————————————	0 100 200 300 m
#\text{\tint{\text{\tint{\text{\tin}\text{\tex{\tex	-	背景には地理院タイル(淡色地図)使用
<ul><li>評</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li></ul>	優先度	
	А3	旧地形 ——新地形 ● 盛土下端 ● 盛土上端 ▲ 天端下端 □ 盛土最高点 ——原地盤勾配 <del>← &gt;</del> 盛土高さ
宅 地 概 要(第二次スクリーニン	 <sub>ソ</sub> グ)	
		30
当片//注		
	常時地震時	25
$\left  \left( \frac{kN/m^3}{m^3} \right) \left( \frac{kN/m^2}{m^3} \right) \right  $ (° ) $\left  \frac{kN/m^3}{m^3} \right  $		20
	ひな壇部分(上)	15
(試験値) (試験値) (試験値)		
(A-12/1E) (A-12/1E)	ひな壇部分(中)	10
	カナン	5
	ひな壇部分(下)	
	盛土全体	0 20 40 60 80 100
		変動予測調査後 【工事の記録】
総		【点検の記録】
評		



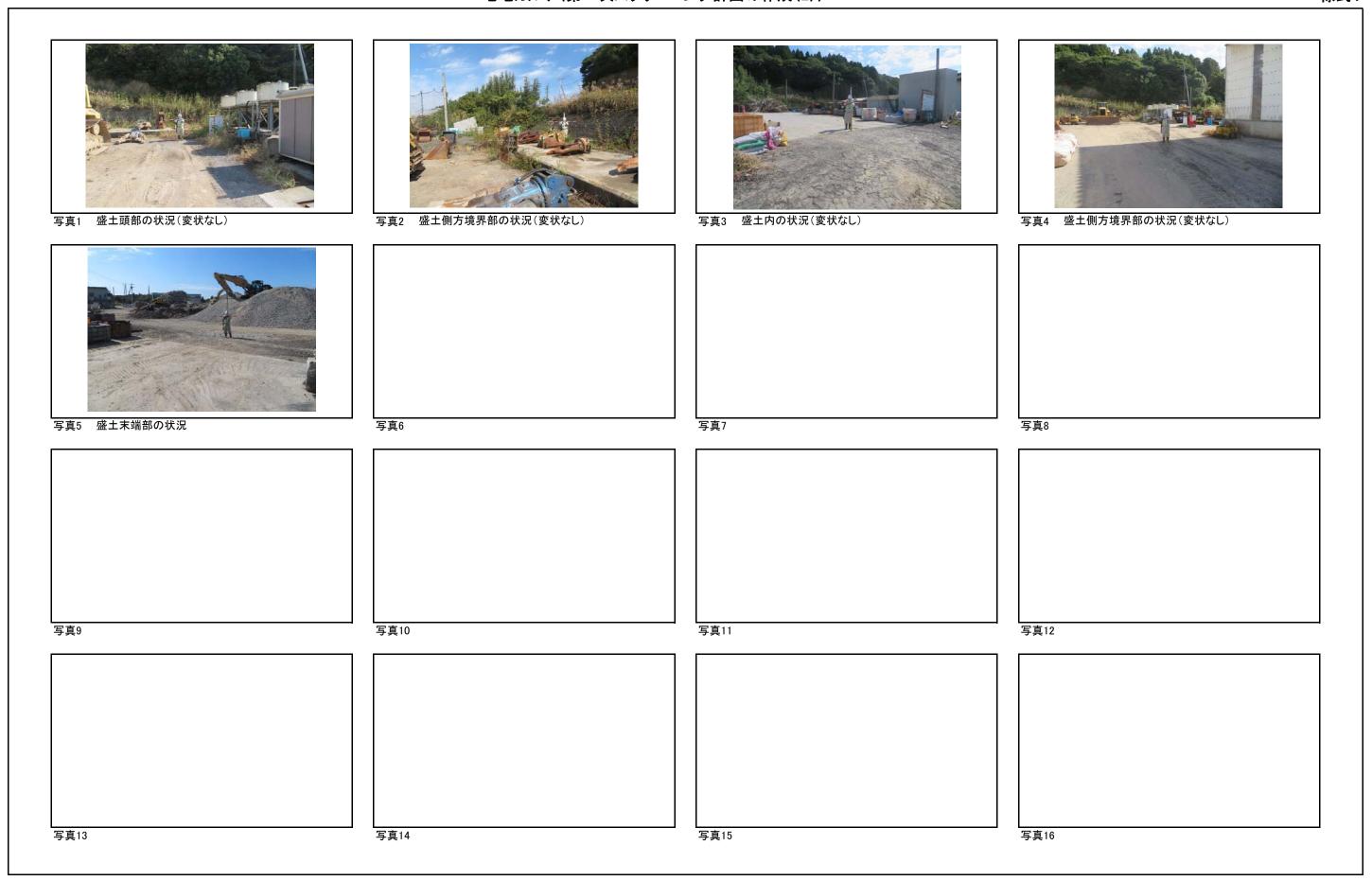
			++ +++ */** 161	±6 ₹0					•			-				1.4
チールを持つ	T		基礎資料					田木口吐	T 午 哥 稳	細木口	現地踏査		1 00	<del>24.</del>	4 D #	<del></del>
チェック項目 ・住宅	■ 有		1 )軒(	判 定(記事)				調査日時 2021年10月30日	天気記録 降水量(mm)	調査日 23.0	1日前 0.0	2日前	3日頁		4日前 0.0	5日前 7.0
	│■ 有 │□ 有	□ 無 (				)		7の平面図との相違	阵小里(mm)			0.0	0.0	,	0.0	7.0
保 ·公共他政守	全     緊急輸送路 (       対     河川 (       象     鉄道 (				·告	□ 有 □ 無(										
全   数					□ 有 ☑ 無( □						)					
· 久 · 象			) 盛土末端部の状況 			- <del>-</del> -										
			) 土 ·原地盤材料の確認 ) 質 ·盛土材料の確認			□ 有 □	_	質土 □	砂質土	<del>-</del>		岩盤(岩)				
・その他特記事項 各・各種指定の有無	_ <del>_</del>	- (			수도난 다 나다			・既往調査の資料		□ 有 □	<del></del>	質土 🗌	砂質土	□ 粘′	性土	`
各・各種指定の有無種 指 定	□ 有		□ 宅地造成工事規制 □ + 小災宝特別繁報			集中地区DID	==	地 ・既往調査の資料								)
指			3 工砂灰岩特别含用 3 砂防指定地	以区域石しくは工砂火き □ 地すべり	書警戒区域 □ 急傾斜	<sup>計</sup> 地朋 <b>场</b> 厄陕区以	優先度評価項目									
│ 定 │ 等 ・その他特記事項		_ (	」 炒奶拍走地	ロ 地りへり	別的正区域	,		B 1	R 🗆	- 4 -			( 1:1.0	)		
"4"		(				)	1	・小段の設置		│ ☑ 急 □ │ ☑ 不適 □				ነ		)
そ の							形土		<u>.</u>	1 — —			敖\ U	/权、(		)
他							状お		L		適 ( 恒主工		/ 71.t>+南t>	<b>-1</b>		)
	=			判定(記	]車/		とよ	・擁壁構造の適格性			適 傾斜角 (			・し ŧ筋コンクリ・		,
	<u>⊐</u> 1974	)  前	前 ■ 後 造成年		5 争 /		構び	が発生性はの過行は			□ □ 転励			・励コンソリ ・の他 (	一戶边	`
⑤ 基準年代(   造成年代 ・その他特記事項		/ 🗀 🖽	」 ■ 12 追放平 _ <i>(</i>	.17 ( 1988		)	造擁 壁				_	但 一	_			,
造成年代 ・その他特記事項	₹	口大	_	<u></u>	/\ <b>占粉士子(士子</b> )	(1) %)	の	・その他特記事項		_	同でし	- /m、空	医田 勾铝(	- )		`
6			、 ■ 小 点剱力 数量化		6) 点数方式(方式2 その他 (	· / */0/		宅地地盤・亀裂、沈下	· 除护	□ 有 □	無 (					)
変動確率 ・その他特記事項	5		数里1L	, 単類( %) て	この他(	,	(2)	・擁壁とその基礎			無 (					)
【平面図】	₹						地	擁 。 按段表表の亦り								)
上午间区】	Control of the last	State of the last			STATE OF THE PARTY OF	AND REAL PROPERTY.	地	壁   ・擁壁   画の変が   ・ 擁壁の補修履歴			無( 無(					)
凡	例	100				Ņ	盤	盛・ガリ侵食跡	<u> </u>		無 (					)
谷埋め盛	:+	100			100 (B) (B)		+242	土 ・表面の不陸又は	+ m - x		無(					)
					1979/2019 IUG		状 躄	りも製			無(					)
主測線(	(断面位置)	888			ALCOHOLD BUILDING		•	り   電表   面  ・排水工の変状			無(					)
写真撮影	位置	688					の			. — — —	無(					
		200				and the second	<u>1</u>	1			無(					)
変状箇所		556				ACCA 15	面の	Itle			無(					)
1000						64	変	・その他特記事項		— —	<del>////</del> /					
Section 18	meters.				SERVICE STATES	450		・盛土のり面からの湧	7k	□有□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	、 可能性有 ☑	<b>##</b> (				<u>,</u>
	-		P5			1000		・擁壁水抜き穴からの			可能性有 ☑					)
\$ 300 EV	20.00					A 400 PM		・ひな壇部分の擁壁前			可能性有 ☑					)
B 500					SECTION .	2000		・排水工や擁壁の恒常			可能性有 ☑					)
A = 7560						Sulca 2		<ul><li>・盛土のり尻排水工の</li></ul>			可能性有 🔽					)
The same of the sa	-	13 3	25-2			COLUMN TO	3	・排水工の目地・亀裂	からの地下浸水	┃□ 有 □☑		\				)
1,450,380			P3			a market and	地	・盛土のり尻のため池		□ 有 □	_ :					)
		To the	P2 (a)			EL EGISCO	下水	•既存井戸水位		│ 有 ☑						)
1000000		100	25	j=3 <u>2</u> 5	5–4	ALC: U.S.	/\	・盛土のり尻の調整池	!ため池	□ 可能性有	•					)
				P4		2010		・集水地形上の盛土		□ 可能性有	_					)
		ST 10.0			<b>1</b>	1000		<ul><li>・盛土上ガレージの湿</li></ul>	ા	□ 可能性有						)
						ALC: NO.		・水を好む植生の有無	ŧ	□ 可能性有	_					)
STATE OF STREET			D1			J. 13 300		・その他特記事項			_ (					)
100 miles						14020	+4	・盛土周辺の崖錐、崩	i積土	□有☑	無 □ 不明 (	(				)
				The Later of the L	ALC: NO.	Self-all self-	一層盛	<ul><li>・盛土周辺の沖積粘性</li></ul>	生土		無 🗌 不明 (	(				)
					4 C	4 3 4 3 3	状態の	・盛土周辺の沖積飽和	口砂質土		無 🗌 不明 (					)
F	3/		V	2 1 Comments	4	THE RESERVE	態の	・その他特記事項		_	(					)
10 m	100	25-1			C TOTAL OF			・盛土末端部及び盛土	上全体に顕著な変料	犬はなく、現状で	は健全と言える	Ò.			被害	<b>F</b> 形態
	The same	F .		-	200		40									
	S. Carlo	IN ELLER		1	A SHOW DOLL	000	総									_
Secretary S	A 3000	ETT ST	0	5	50	100 m										
	DATE OF STREET	50000		17.2636		The state of the s	評								優:	先度
	BY ALL	17000		The second second	Million Street, Street	STATE OF THE PARTY	_									43
				背景には地理院タイ	'ル(全国最新写真また	は簡易空中写真)使用		]							,	10



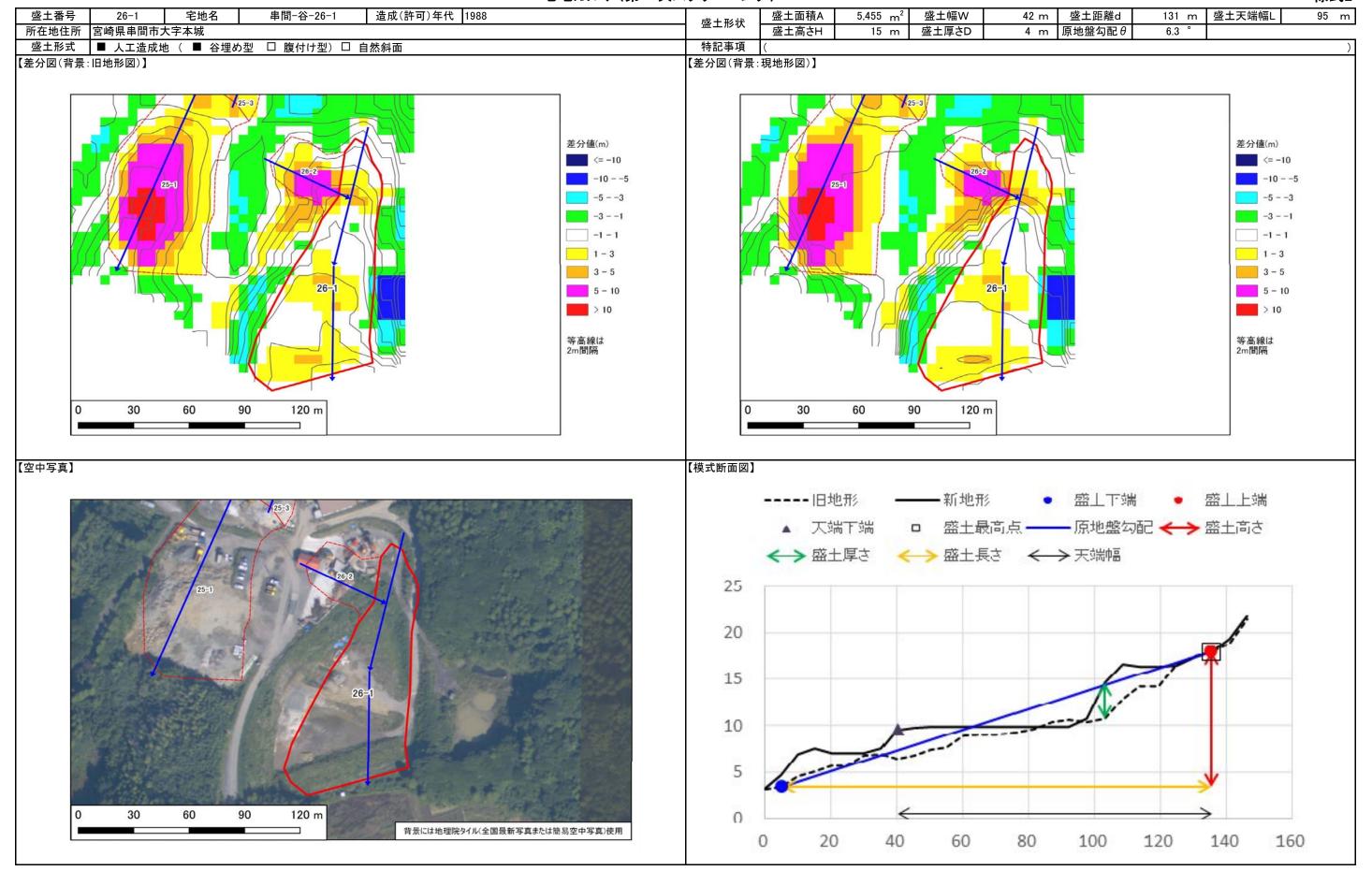
	宅 地 概 要 (第一次スクリーニ	ング結果)		【位置図】		1440-01
盛-		許可)年代 1988				
	生地住所   宮崎県串間市大字南方	11 17 110 1000				
	土形式 ■ 人工造成地 ( ■ 谷埋め型 □ 腹付け型) □ 自然斜面					
	成十五结 1 225 2 成十幅 1/1 20 5 成	送土距離d 44 m	盛土天端幅L 4-	1 m	2: "	
盛二	:土形状 <u>盛工面領A 1,223 m 盛工幅W 26 m </u>	也盤勾配 θ 12.8 °	•		" " " " " " " " " " " " " " " " " " " "	
	宅 地 概 要(第二次スクリーニング	ブ計画の作成)			.50	
	優先度評価項目	判定(記事)				
	盛土および擁壁の形状と構造が □ 非該当 ■ 該当 ( 票準的な形状と構造に該当	_		)	6 · 6 · A "	
② 宅	宅地地盤・擁壁・のり面の変状 □ 有 ■ 無 (	_		)		
③ 地	也下水 □ 有 ■ 無 ( □ 可能性有	-		)	" " " " " " " " " " " " " " " " " " "	
④ 盛	盛土の下の不安定な土層 □ 有 ■ 無 ( □ 不明	_		)	26-1 126-2	
⑤ 造	造成年代(基準年以前/後) □ 以前 ■ 後 (	-		)	18.4"	
⑥ 変	変動確率	-	-	<u>)</u>		
	・盛土末端部及び盛土全体に顕著な変状はなく、現状では健全と言える。		想定被害形態		0 100 200 300 m	
総			-	I Not I Tool V	背景には地理院タイル(淡色地図)使用	
評			優先度	【断面図】		
			С		旧地形 ——新地形 ● 盛土下端 ● 盛土上端 ▲ 天端下端 □ 盛土最高点 —— 原地盤勾配 <del>《 →</del> 盛土高さ	
	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	- <b>ニ</b> ング)			←→盛土厚さ ←→盛土長さ ←→天端幅	
【地盤	B定数】 【5	安定計算結果】			30	
	単位体積 粘着力 内部 せん断波		常時地震時			
					75	
			常時    地震時		25	
1 1	代表N値	からカハノト	· 书时	_		
		ひな壇部分(上)	吊时 地展时	$\dashv$	20	
			书时 地层时		15	
	代表N値	ひな壇部分(上)	书时 · 心辰时		20	
	代表N値	ひな壇部分(中)	书时 · 心辰时		15	
	T表N値	ひな壇部分(中)	<b>吊时</b> 地层时		20 15 10 5	
	T表N値	ひな壇部分(中)	<b>吊时</b> 地层时		20 15 10 5 0 10 20 30 40 50 60 70 80	
	T表N値	ひな壇部分(中)	<b>吊时</b> 地层时		20 15 10 5 0 10 20 30 40 50 60 70 80 変動予測調査後	
	T表N値	ひな壇部分(中)	书时 · 心辰时	【工事の記	20 15 10 5 0 10 20 30 40 50 60 70 80 変動予測調査後	
	T表N値	ひな壇部分(中)	<b>市时</b> 地层时		20 15 10 5 0 10 20 30 40 50 60 70 80 変動予測調査後	
	T表N値	ひな壇部分(中)	吊时 · 心辰时		20 15 10 5 0 10 20 30 40 50 60 70 80 変動予測調査後	
	T表N値	ひな壇部分(中)	书·时 - 心辰·时		20 15 10 5 0 10 20 30 40 50 60 70 80 変動予測調査後	
	T表N値	ひな壇部分(中)	吊时 地层时		20 15 10 5 0 10 20 30 40 50 60 70 80 変動予測調査後	
	T表N値	ひな壇部分(中)	吊吋 心层吋	【工事の記	20 15 10 0 10 20 30 40 50 60 70 80 変動予測調査後 記録】	
	T表N値	ひな壇部分(中)	吊时 地层时		20 15 10 0 10 20 30 40 50 60 70 80 変動予測調査後 記録】	
【総評	T表N値	ひな壇部分(中)	吊吋 心层吋	【工事の記	20 15 10 0 10 20 30 40 50 60 70 80 変動予測調査後 記録】	
総	T表N値	ひな壇部分(中)	吊吋 心辰吋	【工事の記	20 15 10 0 10 20 30 40 50 60 70 80 変動予測調査後 記録】	
総評	T表N値	ひな壇部分(中)	吊时 地层时	【工事の記	20 15 10 0 10 20 30 40 50 60 70 80 変動予測調査後 記録】	
総評	T表N値	ひな壇部分(中)	吊吋 地层吋	【工事の記	20 15 10 0 10 20 30 40 50 60 70 80 変動予測調査後 記録】	



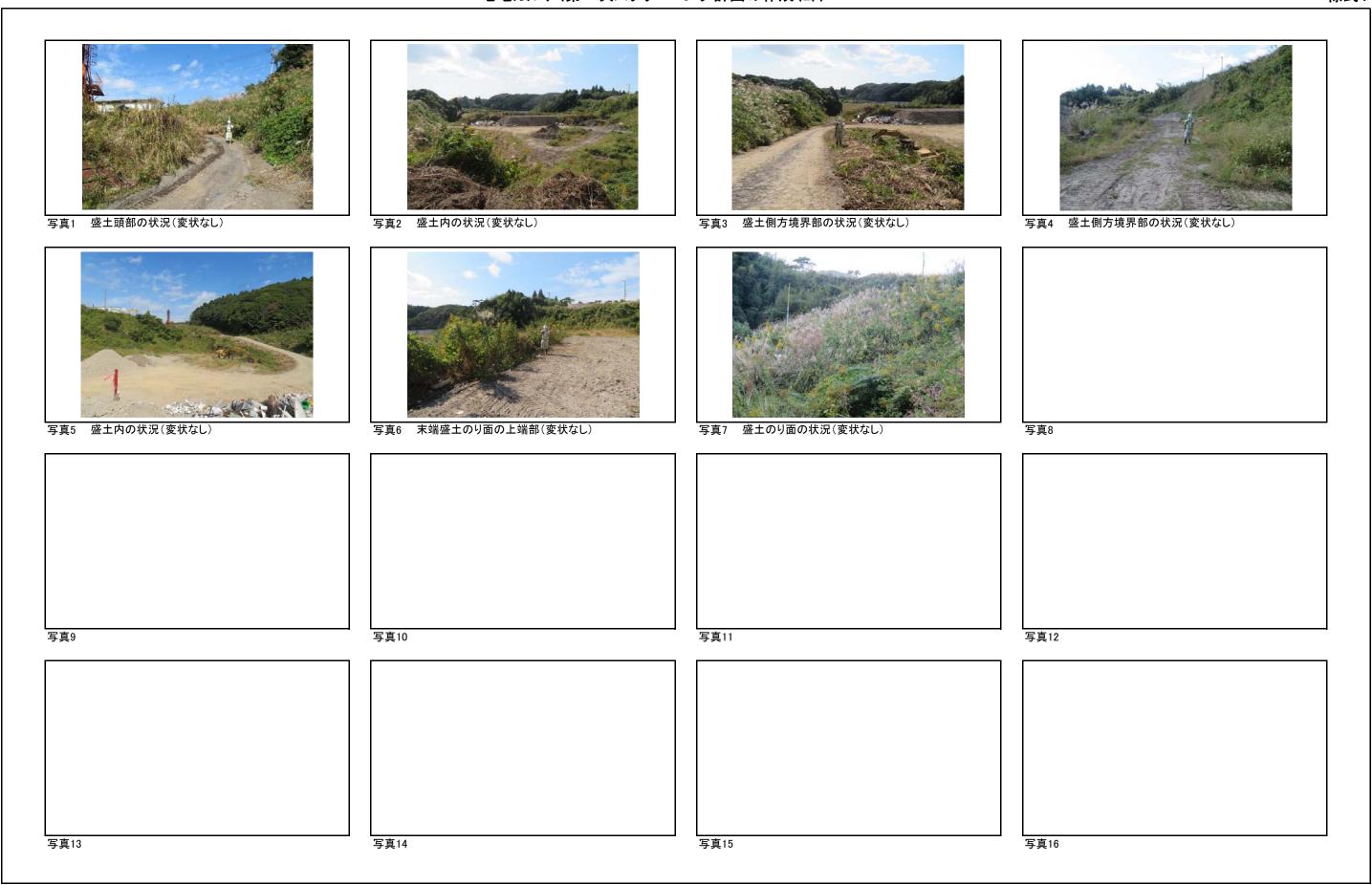
これのアントー			<u>'</u>						CJI KT	
基礎資料整理					現地踏着	ž –				
チェック項目 判 定(記 事)		調査日時	天気記録	調査日	1日前	2日前	3日前	4日前	5日前	
·住宅 □ 有 ■ 無 ( 0 )軒( )	)	2021年10月30日	降水量(mm)	23.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.0	
	宅地	内の平面図との相違		□有☑	無(	•	•	*	)	
緊急輸送路 (		形状の机上調査との相違	<b>‡</b>	□ 有						
		末端部の状況	<u>-</u>							
(     )     (     (     (     )     (     )     (     )     (     )     (     )     (     )     (     )     (     )     )     (     )     )     (     )     )     (     )<										
/		・原地盤材料の確認					砂質土		岩盤(岩)	
・その他特記事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		・盛土材料の確認				質土 🗌	砂質土 🗌	粘性土		
各 ・各種指定の有無 □ 有 ■ 無 □ 宅地造成工事規制区域 □ 災害危険区域 □ 人口集中地区DID 🗓		•既往調査の資料		□ 有 ☑	無(				)	
種 □ 土砂災害特別警戒区域若しくは土砂災害警戒区域 □ 急傾斜地崩壊危険区域 指 □ 八口水 は 1 日本 1		・その他特記事項		- (						
□ 砂防指定地 □ 地すべり防止区域	優先度評価項目					判定	(記事)			
等・その他特記事項 ー ( )	(1)	・盛土のり面勾配		□ 急 □ 適 勾配 ( - )° ( - )						
<del>ح</del>	盛			□ 不適 ☑	適 高さ(	- )m、段類	數( - )段、	( -	- )	
o o	形土			□ 不適 ☑	適(		_		)	
他	状お	・ひた博部分の傾斜				( – )°	( ひな壇なし		)	
優先度評価項目 判定(記事)	とよ				適 □ 鉄筋			ノクリート浩	,	
	構び	·			□ 練積		□		)	
⑤  基準年代 ( 1974 ) □ 前 ■ 後 造成年代(1988 )  造成年代  ・その他特記事項	) 造擁 ) 壁								,	
	単の				一つの	- )m、壁	四少四( -	,		
□ 大 ■ 小 点数方式(方式1) 5.5 %) 点数方式(方式2) %) ⑥ ************************************		COIDINETA	R& +7		(				)	
変動確率		宅地地盤・亀裂、沈下、			無(				)	
・その他特記事項	) 宅	† <del>04</del>			無(				)	
【平面図】	— 地 地	壁  加工11曲32 / /			無(				)	
凡 例	盤	│ │ │		□ 有 ☑	無(				)	
A SECOND PROPERTY OF THE PROPE	-	盛 ┢ガリ侵食跡		□有☑	無(				)	
谷埋め盛土	山、擁	土   ・表面の不陸又は	凹凸	□ 有 ☑	無(				)	
主測線(断面位置)	状 薙	り・亀裂		_	無(				)	
土		ヴ   ・排水工の変状			無(				)	
写真撮影位置	の	そ ・災害痕跡			無(				,	
A strain to the second	9				無(				)	
変状箇所	面の	Id.							)	
	変	こり担めの変化			無(				<u> </u>	
		・その他特記事項	ماد		( T 45 44 + -	Arm /			)	
		・盛土のり面からの湧ス			」能性有 ☑				)	
		・擁壁水抜き穴からの			」能性有 ☑				)	
		・ひな壇部分の擁壁前			」能性有 ☑				)	
		・排水工や擁壁の恒常		□ 有 □ □					)	
25-2		・盛土のり尻排水工の	水没	□ 有 □ □	」能性有 🔽	無(			)	
20-2 DE	(3)	・排水工の目地・亀裂が	からの地下浸水	□ 有 ☑	無(				)	
	地下	・盛土のり尻のため池等	等の満水水位	□有☑	無 (				)	
	水	•既存井戸水位		_ 有 ☑	無(				)	
25-3	''\	・盛土のり尻の調整池	・ため池	□ 可能性有					)	
		・集水地形上の盛土			□ 無				, )	
		・盛土上ガレージの湿し	J	_					,	
		・水を好む植生の有無		_	_				)	
P4		・その他特記事項							)	
			连上			,			<u> </u>	
	土層状態	・盛土周辺の崖錐、崩れ			無 □ 不明				)	
	層土	・盛土周辺の沖積粘性			無 □ 不明				)	
	私下	・盛土周辺の沖積飽和	砂質土	□有☑射	無 🗌 不明	(			)	
	<i>™</i> の			_	(	_			)	
25-1		・盛土末端部及び盛土	全体に顕著な変物	状はなく、現状で	は健全と言える	<b>ప</b> .		被害	<b>手形態</b>	
	<b>//</b>									
0 50 100 m	総								-	
100 m										
	評							優	先度	
ᅶᄝᄓᄔᆅᅖᄡᄼᄼᆘᄼᄉᄝᄝᆇᇎᄝᇽᅷᆉᆛᅉᄝᅲᅭᄝᆿᄾᅜᇽ	_								С	
背景には地理院タイル(全国最新写真または簡易空中写真)使用	7	1						Ī		



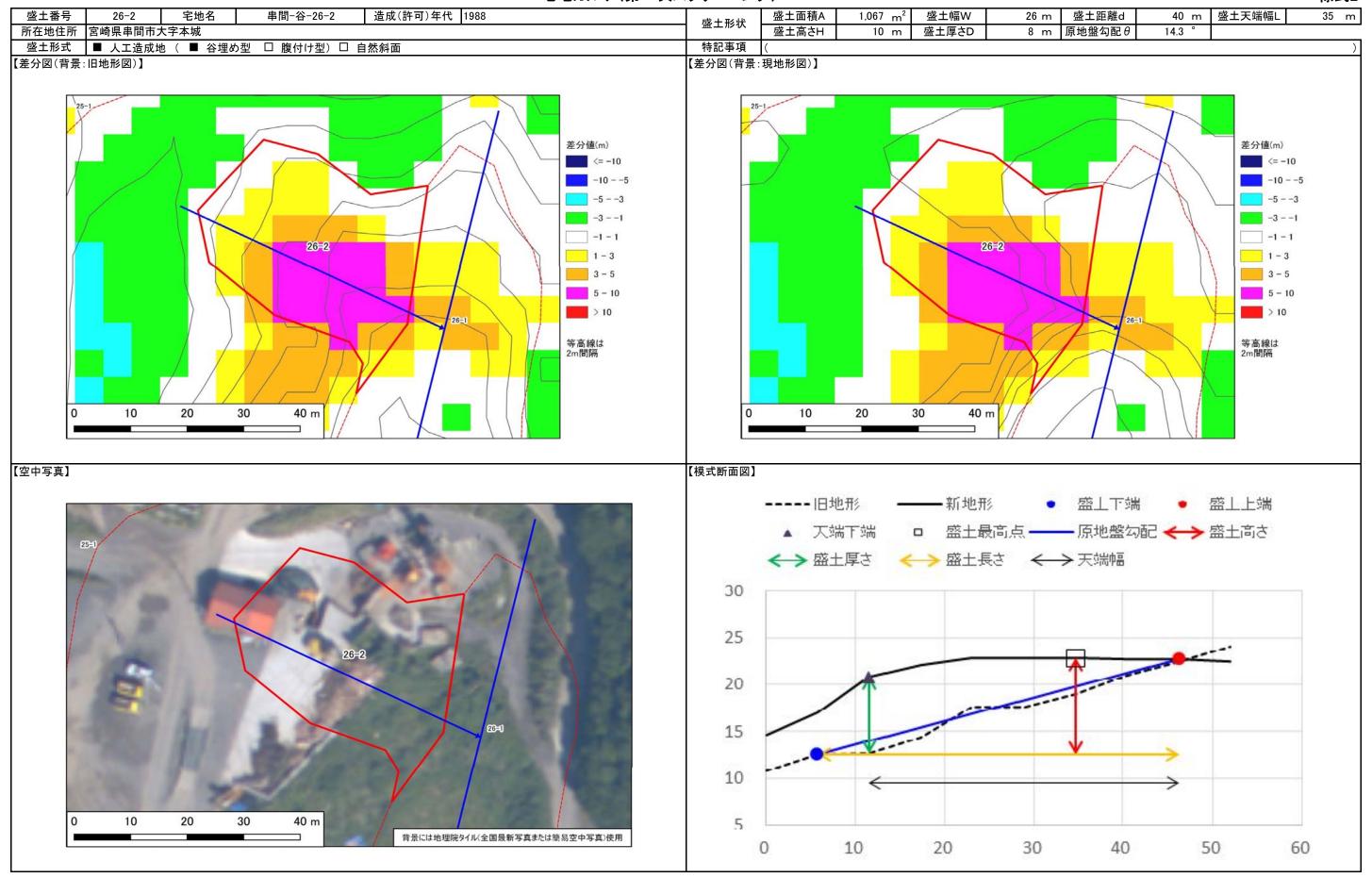
	、 が	
宅地概要(第一次スクリーニ)		【位置図】
	午可)年代 1988	
所在地住所 宮崎県串間市大字本城		
盛土形式 ■ 人工造成地 ( ■ 谷埋め型 □ 腹付け型) □ 自然斜面		.50
及	土距離d 131 m 盛土天端幅L 95 m	
監土高さH   15 m   監土厚さD   4 m  原地		
宅 地 概 要(第二次スクリーニング	「計画の作成)	·6·
	判定(記事)	3/(8) 224
① 盛土および擁壁の形状と構造が 標準的な形状と構造に該当	ひな壇勾配が5度以上	25-2 25-4
② 宅地地盤・擁壁・のり面の変状 □ 有 ■ 無 (	- )	1 25-1 26-2
③ 地下水 □ 有 ■ 無 ( □ 可能性有	- )	" " " " " " " " " " " " " " " " " " "
④ 盛土の下の不安定な土層       □ 有 ■ 無 □ 不明	- )	18.4"
⑤ 造成年代(基準年以前/後) □ 以前 ■ 後 (	- )	
⑥ 変動確率 □ 大 ■ 小 (	- )	CARROLL A TIES
・盛土末端部及び盛土全体に顕著な変状はなく、現状では健全と言える。	想定被害形態	0 100 200 300 m
総	-	背景には地理院タイル(淡色地図)使用
評   <b>一</b>	優先度	【断面図】
	A3	旧地形 新地形 ● 盛土下端 ● 盛土上端 ▲ 天端下端 □ 盛土最高点 原地盤勾配 <del>&lt; &gt;</del> 盛土高さ
	- <b>,</b> + " \	
宅 地 概 要(第二次スクリー		←→ 盛土厚さ ←→ 盛土長さ ←→ 天端幅
	安定計算結果】	25
単位体積   内部   せん断波   お着力   内部   せん断波	常時地震時	20
(KIN/m) ( ) (m/s)	ひな壇部分(上)	15
		10
	ひな壇部分(中)	5
(計算値) (計算値)	ひな壇部分(下)	
	盛土全体	0 20 40 60 80 100 120 140 160
		変動予測調査後
		【工事の記録】
総		【点検の記録】



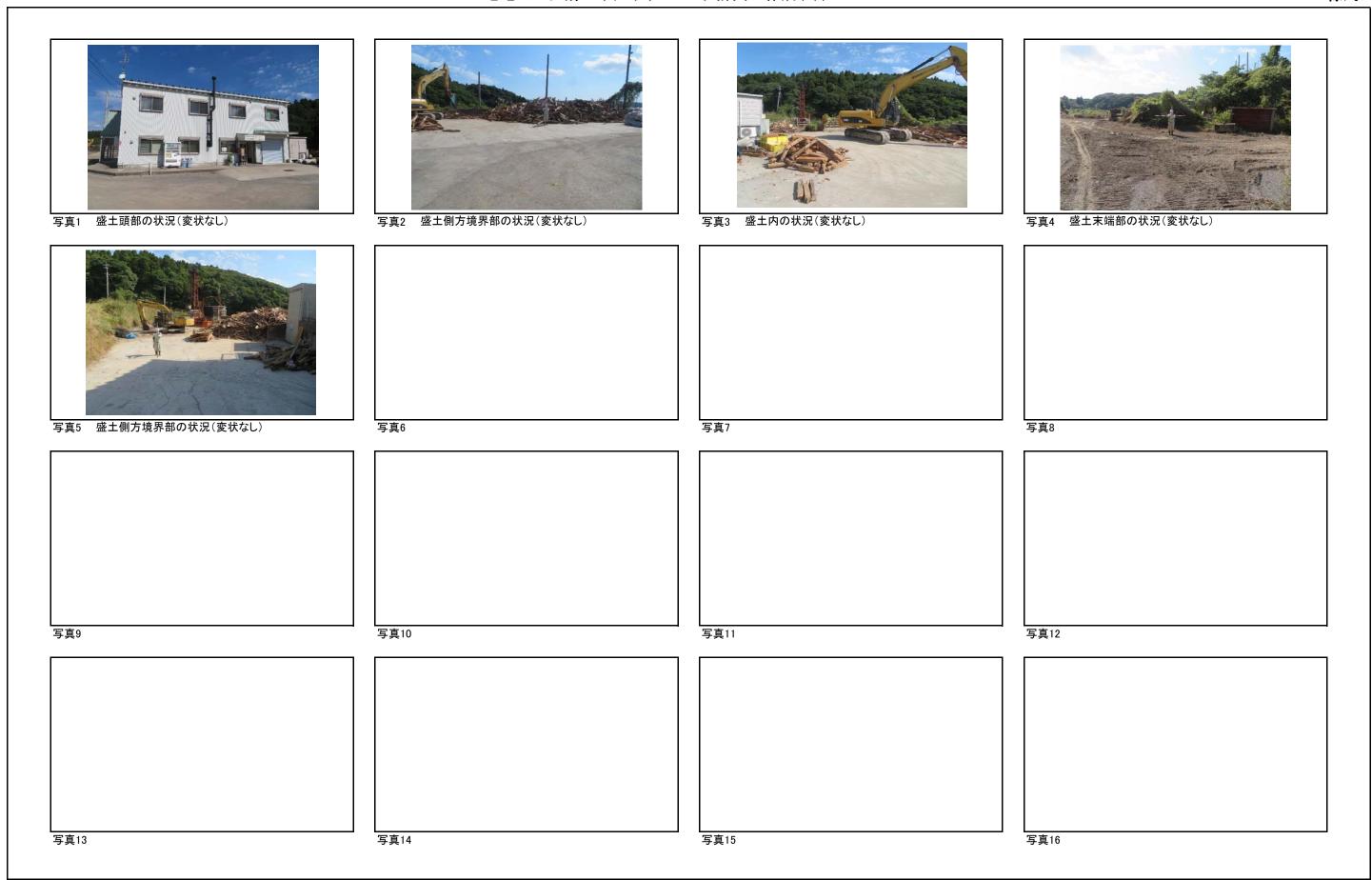
			11 -11 -1-	±1					<u> </u>							1,,,,,
	T		基礎資料								現地踏査					
チェック項目				判 定(記事	· )			調査日時	天気記録	調査日	1日前	2日前	3日前		前	5日前
·住宅	口有	■ 無 (	0 )軒(					2021年10月30日	降水量(mm)	23.0	0.0	0.0	0.0	C	.0	7.0
保 ·公共施設等 全 対	口有	■無	避難所(				-	内の平面図との相違			無(					)
全			緊急輸送路 (					形状の机上調査との相	違	□有□						)
対   象			河川 (					末端部の状況		_		)り面 🗆		□ すりつき		)
			鉄道(					・原地盤材料の確認		□ 有 ☑	_	質土 □		□ 粘性土		岩盤(岩)
・その他特記事項	_	. (						・盛土材料の確認		□有□	·—	質土 □	砂質土	□ 粘性土	:	
各 ·各種指定の有無	口有		□ 宅地造成工事規制			人口集中地区DID	地	・既往調査の資料		□有□□	無(					)
指						急傾斜地崩壊危険区域	貝	・その他特記事項		_	(					)
各・各種指定の有無種 指 定			コ 砂防指定地	□ 地す	べり防止区域			優先度評価項	頁目				?(記事)			
等・その他特記事項	_	. (					1						(1:1.8	/		)
そ の								・小段の設置	<b>.</b>	□ 不適 ☑			數(1)	)段、(		)
o し 他							形土状お	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	<u> </u>	□ 不適 ☑						)
		ı		المار ك	· /=¬ <del>-</del> - \		ーとよ	いる追引力の原外			適 傾斜角 (			<del>//-</del> -> <del>/</del>	\#L	)
優先度評価項目		, , ,	- 4 4 -		(記事)		構び			│□ 个週 ▽	適 🗆 鉄筋			筋コンクリート	這	
多 基準年代 (	1974	) □ 前	前 ■ 後 造成年	代 (1988			造擁				□ 練積:		その *エ <b>ケ</b> エバ			)
造成年代・その他特記事項	Į		- (		• · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	<del></del>	) 壁 の				ら ( ) と ら	- )m、壁	<u>E</u> 面勾配(	- )		,
6		ㅁᅔ			%) 点数方式(	方式2)  %)			- r/s ±⊐		(					)
<b>李動確</b> 率	5		数量化	<b>単類(%)</b>	その他(	)		宅地地盤・亀裂、沈下・擁壁とその基礎			無(					)
・その他特記事項	₹		_ (				<u>)</u> 宅 地	104			無(					)
【平面図】	314	Annual Control	ARREST AND ADDRESS OF THE PARTY	Ballion of Tour	1910N 2 3510 W	5 5 San (San (San (San (San (San (San (San	地				無(					)
凡	例	Zh.	Control of the last	455	1.03500000000000000000000000000000000000	N	盤	盛・ガリ侵食跡	E		無 (					
谷埋め盛	<b>→</b>	100					+	1 + 1	+101.7%		無(					)
	¥I	100	P. P.				状 雉 壁		4 <u>00</u>							)
主測線(	(断面位置)	38.2	S) Charles	STATE OF THE PARTY		CONTRACTOR OF THE PARTY OF THE	-	191			無( 無(					)
写真撮影		529					の	- 《宝店味			無(					
		700				12 10 10	<u>9</u>	1 2 1			無(					)
変状箇所	Ť	(8)		-			面の	Alla			無(					)
and for the	2000	5/10	26-2				変	・その他特記事項			/m (					
	-	-		P1 \		27 42		・盛土のり面からの湧	i 7k		、 可能性有 ☑	<b>##</b> (				
		1000				San		・擁壁水抜き穴からの			可能性有 🗸					)
		- 765 /						・ひな壇部分の擁壁前			可能性有 🗸					,
	1 1	CON /	V Section 1	1 P2		2 6 15 1		・排水工や擁壁の恒常			可能性有 🗸					,
					200			・盛土のり尻排水工の			可能性有 🔽					)
A COLUMN TO THE PARTY OF THE PA				D3			3	・排水工の目地・亀裂		□有□□		•				)
	(1)	2 16			A SECTION AND A	Carl Sale	地下	・盛土のり尻のため池		□有□□	<b>.</b> .					)
Married World	and I	B 2000	/ P4			<b>国国际企业的</b>	水	•既存井戸水位		│□ 有 □						)
A-65	<b>W</b>	4000				die .	,,,	・盛土のり尻の調整池	也・ため池	□ 可能性有	☑無					)
		AND THE REAL PROPERTY.	20	6-1				・集水地形上の盛土		☑ 可能性有						)
			ps 4			100000		・盛土上ガレージの湿	ひ	□ 可能性有	<b></b> 無					)
		000000		200				・水を好む植生の有無	Ħ.	□ 可能性有	☑ 無					)
	DESCRIPTION OF	BEENS.		P6				・その他特記事項		_	(					)
							+ 4	・盛土周辺の崖錐、崩		□有☑	無 🗌 不明 (	(				)
100000000000000000000000000000000000000			Tour Attended	P7			土層状態	・盛土周辺の沖積粘性		□有☑	無 🗌 不明 (	(				)
							指卡	・盛土周辺の沖積飽和	和砂質土	□有□	無 🗌 不明 (	(				)
			2-10-10-10-10-10-10-10-10-10-10-10-10-10-	TO SECOND			態の	・その他特記事項		_	(					)
THE PARK STREET, SALES	Mary State of the			ALC: A CONTROL OF		Section 2		<ul><li>・盛土末端部及び盛二</li></ul>	土全体に顕著な変	状はなく、現状で	ごは健全と言える	٥٥			被害	形態
12 3 5 5 W					图 图 图 图	Control of the last	<b>4</b> /2>									
(二)(三)				0	FO	100	総								-	
G125 SEE				0	50	100 m										
P. 25 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11	5			AND STREET	1	Street, Walter	評								優先	速度
4 7 5	CONS	DESCRIPTION OF THE PARTY OF THE		背暑には地理院	タイル(全国最新写真		#   ┕								Α	3
				・・・ハ・・・・ハ・ロ・エリル	, ,,, <u>, , , , , , , , , , , , , , , , </u>	マッ・コンロッツエコ ファノス/		1								



			宅地概	要(第一》	欠スクリー	ニング結果)				【位置図】		
盛土番号	26-2	宅地名		-谷-26-2		(許可)年代	1988					
所在地住所	」 宮崎県串間市大学	字本城			<u> </u>	•				1		
盛土形式	■ 人工造成地	( ■ 谷埋&	り型 口腹	付け型)口	自然斜面	<u> </u>						
盛土形状	盛土面積A	1,067 m <sup>2</sup>	盛土幅V			盛土距離d	40 m	盛土天端幅	L 35 m		.50	
血エルバ	盛土高さH	10 m	盛土厚さ			原地盤勾配 θ	14.3 °			_		
		钅	地 概 要	(第二次ス	クリーニン	グ計画の作成						
	優先度評価項目					判定(	記事)			4	.6~	
① 盛土およ 標準的な	くび擁壁の形状と構造 な形状と構造に該当	が	□ 非該	当 ■ 該	( (	•		_				
② 宅地地盤	盤・擁壁・のり面の変り	Ž	口 有			•		-			25-2-25-4	
③ 地下水			□ 有 □ 可能性	有				-			25-1 26-1	
④ 盛土の7	下の不安定な土層		□ 有 □ 不明	1				_				
⑤ 造成年代	代(基準年以前/後)		口 以前			,		_			" " A 18. 4	
6 変動確率			口 大		(	•		-				
	:末端部及び盛土全体	に顕者な変れ	大はなく、現れ	大では健全と	言える。			想定	被害形態		0 100 200 300 m	
総									-		背景には地理院タイル(淡色地図)使用	
評								1	憂先度	【断面図】		
									С		旧地形 <del></del> 新地形     •     盛土下端     •     盛土上端	
											▲ 天端下端 □ 盛土最高点 ——原地盤勾配 ←→ 盛土高さ	
			宅地	概要(第二	二次スクリ				<u> </u>		▲ 天端下端 ロ 盛土最高点 ——原地盤勾配 <del>&lt; &gt;</del> 盛土高さ <del>&lt; &gt;</del> 盛土厚さ <del>&lt; →</del> 盛土長さ <del>&lt; →</del> 天端福	
【地盤定数】		I w u u se	宅 地	1		ーニング) 【安定計算結り	果】				▲ 天端下端 □ 盛土最高点 ——原地盤勾配 ←→ 盛土高さ	
【地盤定数】	(代表N/i	単位体積	粘着力	内部 -	せん断波		果】	常時	地震時		▲ 天端下端 ロ 盛土最高点 ——原地盤勾配 <del>&lt; &gt;</del> 盛土高さ <del>&lt; &gt;</del> 盛土厚さ <del>&lt; →</del> 盛土長さ <del>&lt; →</del> 天端福	
【地盤定数】	代表Nfi	重量	料着力	1	せん断波 速度	安定計算結果		常時			<ul> <li>★ 天端下端 □ 盛土最高点 ──原地盤勾配 ← → 盛土高さ</li> <li>★ 盛土厚さ ← → 盛土長さ ← → 天端幅</li> <li>30</li> <li>25</li> </ul>	
【地盤定数】	代表N佢	単位体積 重量 (kN/m³)	料着力	内部 字擦角	せん断波	安定計算結果	果】	常時			▲ 天端下端 □ 盛土最高点――原地盤勾配 <del>&lt; &gt;</del> 盛土高さ <del>&lt; &gt;</del> 盛土厚さ <del>&lt; &gt;</del> 盛土長さ <del>&lt; &gt;</del> 天端幅 30	
【地盤定数】	代表N佢	重量 (kN/m³)	粘着力 (kN/m²)	内部 摩擦角 (°)	せん断波 速度	【安定計算結集 ひな壇	部分(上)	常時			<ul> <li>★ 天端下端 □ 盛土最高点 ─ 原地盤勾配 ← ★ 盛土高さ</li> <li>★ 盛土厚さ ← ★ 医土長さ ← ★ 天端幅</li> <li>25</li> <li>20</li> </ul>	
【地盤定数】	代表N佢	重量	粘着力 (kN/m²)	内部 摩擦角 (°)	せん断波 速度	【安定計算結集 ひな壇		常時			<ul> <li>★ 天端下端 □ 盛土最高点 ─ 原地盤勾配 ←</li></ul>	
【地盤定数】	代表N値	重量 (kN/m³) (試験値)	粘着力 (kN/m²)	内部 字 字 条 条 条 条 条 条 条 条 条 条 条 条 条 条 条 条 条	せん断波 速度	ひな壇台	部分(上)	常時			<ul> <li>★ 天端下端 □ 盛土最高点 ─ 原地盤勾配 ← ★ 盛土高さ</li> <li>★ 盛土厚さ ← ★ 医土長さ ← ★ 天端幅</li> <li>25</li> <li>20</li> </ul>	
【地盤定数】	代表Nfi	重量 (kN/m³) (試験値)	粘着力 (kN/m²) (試験値)	内部 字 字 条 条 条 条 条 条 条 条 条 条 条 条 条 条 条 条 条	せん断波 速度	ひな壇を	部分(上) 部分(中) 部分(下)	常時			大端下端       盛土最高点       原地盤勾配       盛土高さ         会       金土長さ       天端幅         30       25         20       15         10       30	
【地盤定数】	代表Nfi	重量 (kN/m³) (試験値)	粘着力 (kN/m²) (試験値)	内部 字 字 条 条 条 条 条 条 条 条 条 条 条 条 条 条 条 条 条	せん断波 速度	ひな壇を	部分(上)	常時			→ 天端下端 □ 盛土最高点 □ 原地盤勾配 → 盛土高さ → 廃土厚さ → 産土長さ → 天端幅  25 20 15 10 20 10 20 30 40 50 60	
【地盤定数】	代表Nfi	重量 (kN/m³) (試験値)	粘着力 (kN/m²) (試験値)	内部 字 字 条 条 条 条 条 条 条 条 条 条 条 条 条 条 条 条 条	せん断波 速度	ひな壇を	部分(上) 部分(中) 部分(下)	常時		「丁車の罰	→ 医土厚さ → 医土長さ → 天端幅  30 25 20 15 10 5 0 10 20 30 40 50 60	
【地盤定数】	代表Nfi	重量 (kN/m³) (試験値)	粘着力 (kN/m²) (試験値)	内部 字 字 条 条 条 条 条 条 条 条 条 条 条 条 条 条 条 条 条	せん断波 速度	ひな壇を	部分(上) 部分(中) 部分(下)	常時		【工事の記録	→ 医土厚さ → 医土長さ → 天端幅  30 25 20 15 10 5 0 10 20 30 40 50 60	
【地盤定数】	代表Nfi	重量 (kN/m³) (試験値)	粘着力 (kN/m²) (試験値)	内部 字 字 条 条 条 条 条 条 条 条 条 条 条 条 条 条 条 条 条	せん断波 速度	ひな壇を	部分(上) 部分(中) 部分(下)	常時		【工事の記録	→ 医土厚さ → 医土長さ → 天端幅  30 25 20 15 10 5 0 10 20 30 40 50 60	
【地盤定数】	代表Nfi	重量 (kN/m³) (試験値)	粘着力 (kN/m²) (試験値)	内部 字 字 条 条 条 条 条 条 条 条 条 条 条 条 条 条 条 条 条	せん断波 速度	ひな壇を	部分(上) 部分(中) 部分(下)	常時		【工事の記録	→ 医土厚さ → 医土長さ → 天端幅  30 25 20 15 10 5 0 10 20 30 40 50 60	
【地盤定数】	代表Nfi	重量 (kN/m³) (試験値)	粘着力 (kN/m²) (試験値)	内部 字 字 条 条 条 条 条 条 条 条 条 条 条 条 条 条 条 条 条	せん断波 速度	ひな壇を	部分(上) 部分(中) 部分(下)	常時		【工事の記録	→ 医土厚さ → 医土長さ → 天端幅  30 25 20 15 10 5 0 10 20 30 40 50 60	
【地盤定数】	代表Nfi	重量 (kN/m³) (試験値)	粘着力 (kN/m²) (試験値)	内部 字 字 条 条 条 条 条 条 条 条 条 条 条 条 条 条 条 条 条	せん断波 速度	ひな壇を	部分(上) 部分(中) 部分(下)	常時		【工事の記録	→ 医土厚さ → 医土長さ → 天端幅  30 25 20 15 10 5 0 10 20 30 40 50 60	
	代表Nfi	重量 (kN/m³) (試験値)	粘着力 (kN/m²) (試験値)	内部 字 字 条 条 条 条 条 条 条 条 条 条 条 条 条 条 条 条 条	せん断波 速度	ひな壇を	部分(上) 部分(中) 部分(下)	常時		_	A 天朔下端 ロ 盛土最高点 原地盤写配 → 医土高さ → 医土高さ → 医土耳さ → 医土長さ → 天満福 30 25 10 20 30 40 50 60 変動予測調査後 33 30 40 50 60	
	代表Nfi	重量 (kN/m³) (試験値)	粘着力 (kN/m²) (試験値)	内部 字字符 (**)	せん断波 速度	ひな壇を	部分(上) 部分(中) 部分(下)	常時		【工事の記録	A 天朔下端 ロ 盛土最高点 原地盤写配 → 医土高さ → 医土高さ → 医土耳さ → 医土長さ → 天満福 30 25 10 20 30 40 50 60 変動予測調査後 33 30 40 50 60	
	代表Nfi	重量 (kN/m³) (試験値)	粘着力 (kN/m²) (試験値)	内部 字字符 (**)	せん断波 速度	ひな壇を	部分(上) 部分(中) 部分(下)	常時		_	A 天朔下端 ロ 盛土最高点 原地盤写配 → 医土高さ → 医土高さ → 医土耳さ → 医土長さ → 天満福 30 25 10 20 30 40 50 60 変動予測調査後 33 30 40 50 60	
	代表Nfi	重量 (kN/m³) (試験値)	粘着力 (kN/m²) (試験値)	内部 字字符 (**)	せん断波 速度	ひな壇を	部分(上) 部分(中) 部分(下)	常時		_	A 天朔下端 ロ 盛土最高点 原地盤写配 → 医土高さ → 医土高さ → 医土耳さ → 医土長さ → 天満福 30 25 10 20 30 40 50 60 変動予測調査後 33 30 40 50 60	
【総評	代表Nfi	重量 (kN/m³) (試験値)	粘着力 (kN/m²) (試験値)	内部 字字符 (**)	せん断波 速度	ひな壇を	部分(上) 部分(中) 部分(下)	常時		_	A 天朔下端 ロ 盛土最高点 原地盤写配 → 医土高さ → 医土高さ → 医土耳さ → 医土長さ → 天満福 30 25 10 20 30 40 50 60 変動予測調査後 33 30 40 50 60	
【総評	代表Nfi	重量 (kN/m³) (試験値)	粘着力 (kN/m²) (試験値)	内部 字字符 (**)	せん断波 速度	ひな壇を	部分(上) 部分(中) 部分(下)	常時		_	A 天朔下端 ロ 盛土最高点 原地盤写配 → 医土高さ → 医土高さ → 医土耳さ → 医土長さ → 天満福 30 25 10 20 30 40 50 60 変動予測調査後 33 30 40 50 60	

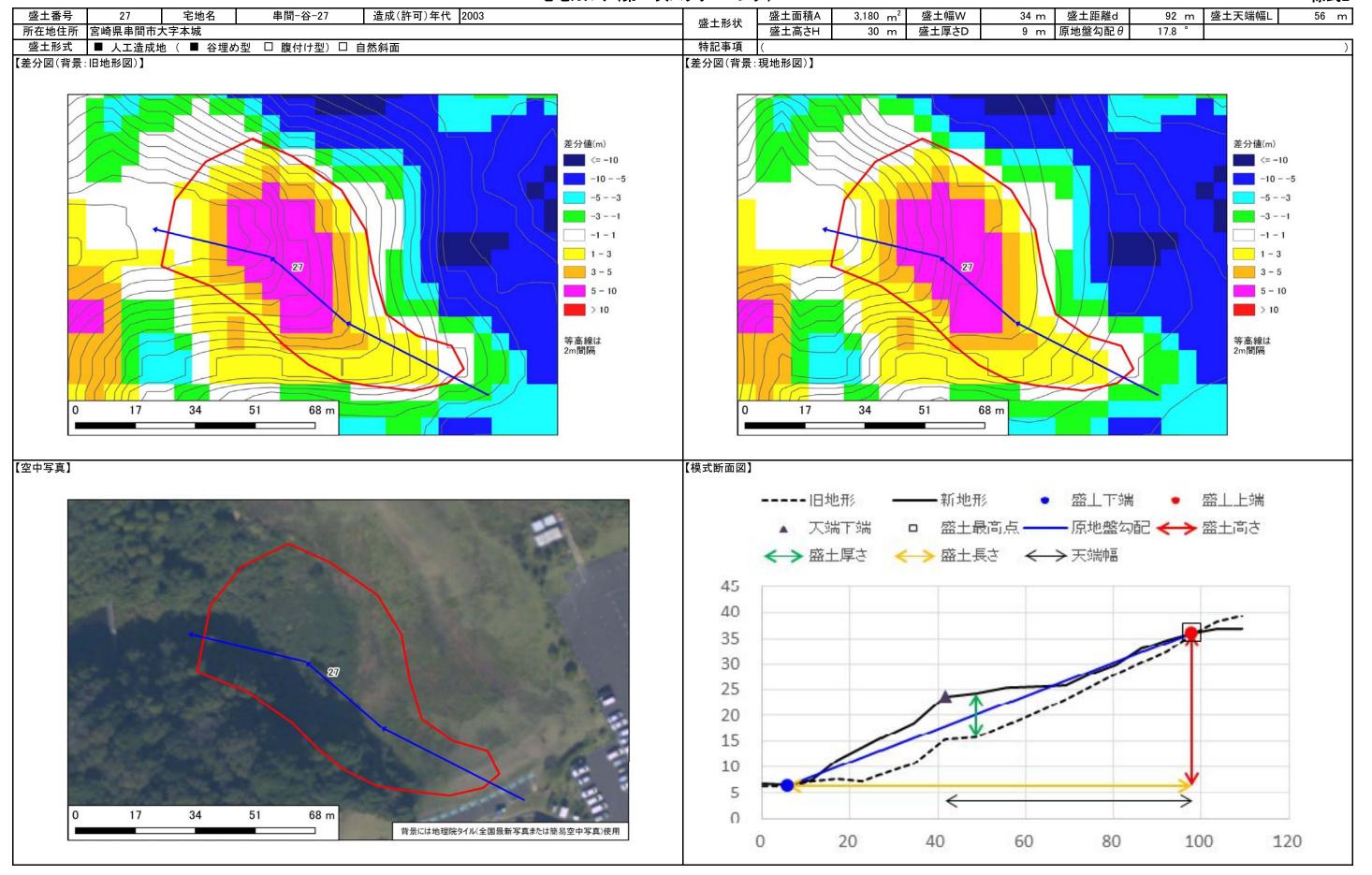


			++ +++ >4+ +4+ +111							n.k	-			14,000
7 477			基礎資料整理	± \			一一	T = 3 A3		現地踏査		1 004	T 40*	T
チェック項目	n ±	- 4m /	判定(記)	<b>卦</b>	`	00	調査日時	天気記録	調査日	1日前	2日前	3日前	4日前	5日前
・住宅		■ 無 (	0 )軒(				21年10月30日	降水量(mm)	23.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.0
保 ·公共施設等	□ 相	■ 無	避難所 ( 緊急輸送路 (				の平面図との相違 犬の机上調査との相違	<b>.</b>		無(				)
全   <del>数</del>			系 <sup>、</sup>		· I—		人の机工調査との相談 湍部の状況	<b>基</b>	□ 有 ☑		.U. = -	<del>                                    </del>	ナリヘキ (	)
保·公共施設等 全 対 象			ガガ ( 鉄道 (				<sup>而部の仏沈</sup> 原地盤材料の確認				り面 🗆	摊壁 ☑	すりつき(  粘性土	
・その他特記事項		,	<b></b>			_	<sup>原地盛材料の確認</sup> 盛土材料の確認		□ 有 ☑	_	質土 🗌	砂質土	和注土 粘性土	」 岩盤( 岩)
	□有	<u> </u>	宅地造成工事規制区域 □ 災	『危険区域 □ 人口集中地区DID	/ / 単	-	盛工が料の確認 既往調査の資料		│	<del></del>	質土 🗌	砂質土 🛚	和注土	,
各・各種指定の有無種 指 定				。	FF	_	成任嗣重の資料 その他特記事項		┃□ 有  ☑	<del>////</del> (				)
指				ッ次舌言放区域 □ 忠慎料地朋场危険区 -ベリ防止区域	<u> </u>		<u>での他特記事項</u> 優先度評価項	i B		(	判中	(記事)		,
│ 定 │ 等 ・その他特記事項	_	(	沙伽伯足地 口地	1.4则正区域	)	1	盛土のり面勾配	· ·			- )° (			)
*4						·	血工のが固切能 小段の設置					· 敷( - )段、	(	- )
その					形:		のり面保護工の設置				/111、42	- / FX \		)
他					状态	お。	ひか固体設立の設置 ひな壇部分の傾斜				( – )°	( 1)た痘た		)
優先度評価項目			判	包(記事)	ے ا	よしゃ	がなる。 藤壁構造の適格性			適 □ 鉄筋:			ンクリート造	,
⑤ 基準年代(	1974	) □ 前			構 ; ) 造 :	O				□ 練積		□		)
造成年代  ・その他特記事項		/	- (			壁						直勾配( -		,
	•			2 %) 点数方式(方式2) %)		_	その他特記事項		_	(	, <b>.</b> ±	-у но (	,	)
6				その他(			已地地盤·亀裂、沈下	 、降起	□有▽	無(				)
変動確率 ・その他特記事項	Ī		- (			宝厂	・ 擁壁とその基礎(			無(				)
【平面図】	•					地 擦	雍 - 嫉辟悲声の亦は			無(				)
The second second second		0000	THE PARTY OF THE P	CHARLES OF THE PARTY OF THE PAR		地雪	・擁壁の補修履歴			無 (				)
凡	例	98%	The second second	N	] 1	盤屋	・ガリ侵食跡			無 (				)
谷埋め盛	±	- 1	The second second				±   . <sub>表面の不陸▽は</sub>	:凹凸		無 (				)
主測線(	(断面位置)				状	壁   0	り・亀裂			無 (				)
		236		· 人名巴克克 女女女子生生的意		_ I =	ヮ <sub>面</sub>  ・排水工の変状			無(				)
写真撮影	位置	195				ω <del>⊢</del>	そ ・災害痕跡		□ 有 ☑	無(				)
変状箇所		1696	2 111			亩lσ	の・根曲がり		□有☑	無(				)
	25.76	ALL DESCRIPTION OF THE PARTY OF				。 の   ft	也 ・道路の変状		□有☑	無(				)
- EN (P. C.)	G Miles	SERVICE TO	STA CONTRACTOR	<b>第二种原则是中国中国</b>		変・	その他特記事項		_	(				)
			And the second	28 2 24 A SHEET SEC.		• <u>F</u>	盛土のり面からの湧	水		可能性有 🔽				)
		Todas					擁壁水抜き穴からの'			可能性有 🔽				)
1							ひな壇部分の擁壁前			可能性有 🔽				)
1 P	-	Married World					排水工や擁壁の恒常			可能性有 🔽				)
		20.00					盛土のり尻排水工の			可能性有 🗸	無(			)
and Property			26-2		3		排水工の目地・亀裂を		□有☑	無(				)
The state of the s	CO.	Ang			7	-   · ːːː	盛土のり尻のため池		□ 有 ☑					)
	POR CO		P1 P4		水	•	既存井戸水位		□ 有 ☑					)
		ADDIT A					盛土のり尻の調整池	・ため池	□ 可能性有	☑ 無				)
1000							集水地形上の盛土	П	□ 可能性有	□ 無 □ 無				)
Control of the second		139 7.1					盛土上ガレージの湿		□ 可能性有					)
-				<b>《</b> 100 100 100 100 100 100 100 100 100 10			水を好む植生の有無 るの仏特記恵項		□ 可能性有	<b>☑</b> 無				)
	1		( )				その他特記事項 盛土周辺の崖錐、崩	挂 丰		<del></del>	/			)
A LE	學 。	E B			土層状態	盛	盛工周辺の崖蜒、開 盛土周辺の沖積粘性			無の不明の	(			)
Mary Color Blan	1/1	9 4860	26=1	THE RESERVE OF THE PERSON NAMED IN COLUMN TWO IS NOT THE PERSON NAMED IN COLUMN TWO IS NAMED IN COLUMN TW	/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /	土门	盛工周辺の冲積和日 盛土周辺の沖積飽和			無 □ 不明 ( 無 □ 不明 (				)
		6000			態	下   · ·	ニエ周辺の冲積脱れ その他特記事項	11万兵工		# ∐ 1195 \ <i>(</i>	(			)
	L. S. W.	FEB. F.		BEST TO SERVICE STATE OF THE S	<del>- '</del>	. F	<u> 盛土末端部及び盛土</u>	全体に顕著な変数	L 犬はなく 現状で	は健全と言える	, ,		被!	
12 8 4 22					_			: <u>-</u> ,,			- 0		1100	- 17 /B
				THE RESERVE AND ADDRESS OF THE PARTY OF THE	総									_
ALCOHOLD ST		12 1 1 N	0	50 100 m										
Sec. 45 - 12 - 12 - 12 - 12 - 12 - 12 - 12 - 1		STATE OF		12 more comment	評	<sub>4</sub>							優	
	20 100			10 (2) (2) (2) (4) (4) (4) (4)	i i i									
			背景には地理院	。 ピタイル(全国最新写真または簡易空中写真	()使用									С



				字 地 /	概要(第-	- 次スクリー	·ニング結果)				【位置図】		1972-61
盛出		27	宅地名		間-谷-27		(許可)年代	2003					
				- 1	163 14	~=//	, (a) 3/ 1/ C	1			1		
		人工造成地		<b>め型 ロ</b> J	腹付け型)	□ 自然斜。	 5				1	" " A SA 75.0	
	E.	土面積A	3,180 m <sup>2</sup>				盛土距離d	92 m	盛土天端幅	L 56 m	1		
盛日	上形状 □ □ □	出き高土主	30 m		5D	9 m /	原地盤勾配 $\theta$	17.8 °		<u>.</u>	1	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
		•	5	包 地 概	要 (第二次	スクリーニン	<b>ノグ計画の作</b> 月	<b>戊</b> )	•		1		
	優先	:度評価項目					判定(	記事)			1		
	土および擁塁 準的な形状と	の形状と構造 :構造に該当	きが	■非	亥当 □	該当 (	,	のり面の高	iさが5m以上	)			
② 宅	地地盤•擁壁	・のり面の変々	犬		<b>f</b> ■	無 (	<b>,</b>		-	)			
③ 地	下水			□ 可能		無 (	•		-	)			
④ 盛	土の下の不多	安定な土層			明	無 (	<b>,</b>		-	)			
⑤ 造	成年代(基準	年以前/後)			.前 ■	後 (			-	)	)	11 11 29-1 30 33-4 1 1 1 29-1 30 33-4 33-2 33-2 33-2 33-2 33-4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
⑥ 変		7.15成士 今/	★/−師荽チンホー	■ 大 ************************************		(			- I	)	<u>)</u>	中千野点18	
	"盆工不斒前	<b>及び盛土全</b> 位	平1〜蛽者な炎	1人はなく、ジ	元1人 ごは1姓至	<b>- C 百 ん 句</b> 。			想定	被害形態		0 100 200 300 m 31-4 33-1	
総										_	I her = 521	背景には地理院タイル(淡色地図)使用	
評									但	憂先度	【断面図】		
										A3	1	旧地形	
										7.0		▲ 天端下端 □ 盛土最高点 ——原地盤勾配 ← → 盛土高さ	
	I du S			宅地	, 概 要()	第二次スクリ					4	←→ 盛土厚さ ←→ 盛土長さ ←→ 天端幅	
【地盤】	定数】			1		1	【安定計算結	果】				45	
11 >		代表N <sup>·</sup>	単位体積 直 重量	<sup>[</sup> │ 粘着力	内部	せん断波	``	_	常時	地震時		40 35	
		1 CAXIN	世	$(kN/m^2)$	摩擦角 (°)	速度 (m/s)						30	
		$\rightarrow$	(1014) 111 /	1	·	(, 0,	ひな壇	部分(上)				25	
			(試験値)	(試験値)	(試験値)		l					20	
		+	(四八河大   巨 /			1	ひな壇	部分(中)				15	
			(計算値)	┃ ┃(計算値)	(計算値)							10	
-			(III <del>JT</del> III.)	(III <del>JT</del> IE /			」 ひな壇	部分(下)				5	
							盛:	上全体				0 20 40 60 80 <b>1</b> 00 <b>1</b> 20	
												変動予測調査後	
											【工事の記録	录】	
ļ											4		
総総											【点検の記録	줞】	
												The state of the s	
評													
1													
1											Ī		

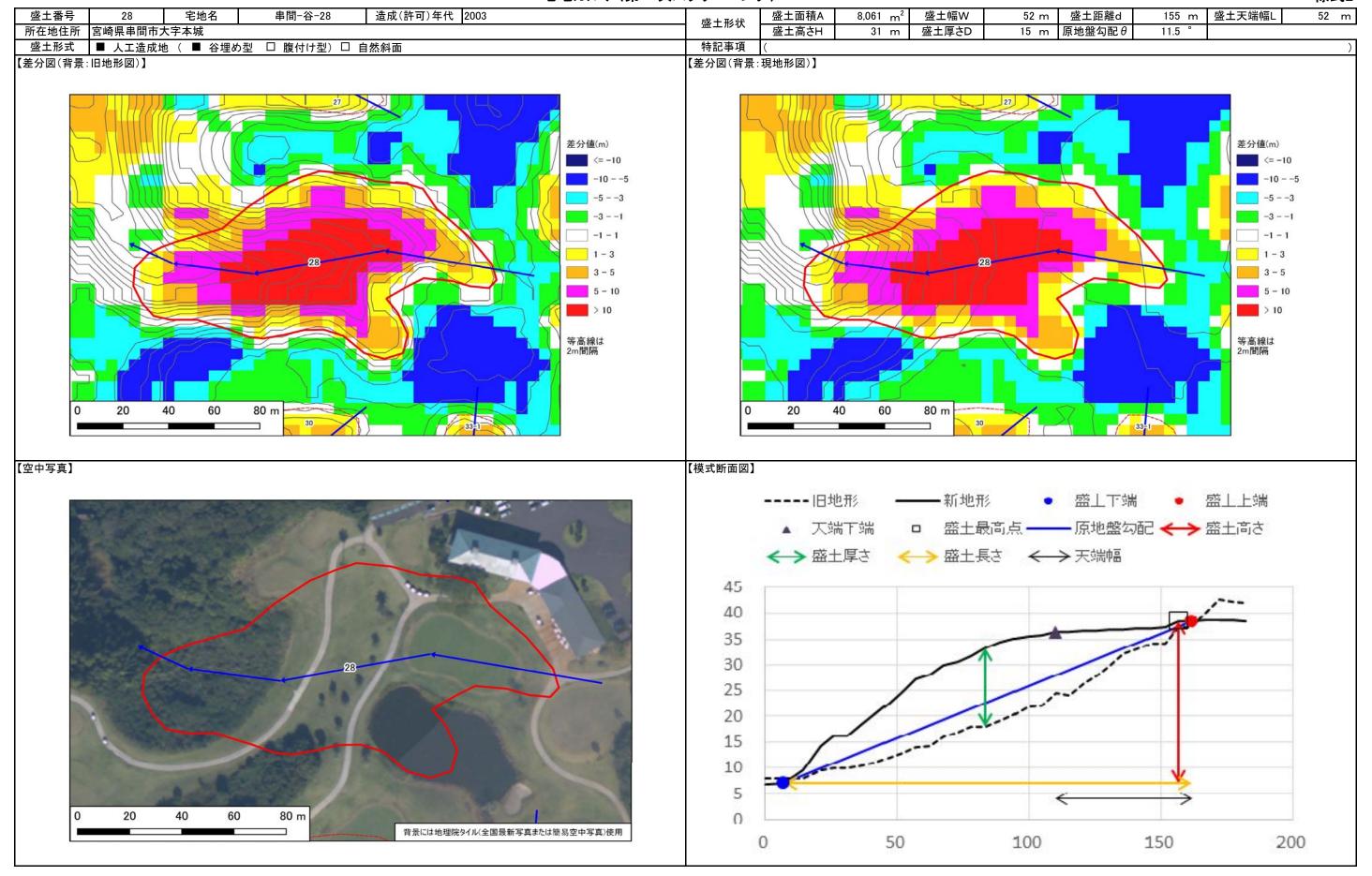
様式2



						- HI	<u> </u>						17720
	•			基礎資料整理					現地踏			_	
チェック項目				判 定(記事)		調査日時	天気記録	調査日	1日前	2日前	3日前	4日前	5日前
·住宅	□有		無(	0 )軒(	)	2021年10月11日	降水量(mm)	4.5	8.0	3.5	3.0	0.0	0.0
保 ・公共施設等	□有		無	避難所(	)宅地	!内の平面図との相違		□ 有 [	<b>無(</b>				)
				緊急輸送路 (	)盛土	:形状の机上調査との相	違	□有□	☑ 無 (				)
│ 全 │ 対				河川 (	)盛土	:末端部の状況		_	<b>▽</b> (	ひり面 🗆	擁壁 □	すりつき (	)
象				鉄道 (	) +	•原地盤材料の確認		□ 有 [		樂質土 □	砂質土 🗆	粘性土 🖂	岩盤(岩)
・その他特記事項		_	(		)質					樂質土 □	砂質土 🗆	上 粘性土	
各種指定の有無	□有		<u>無</u> 「	] 宅地造成工事規制区域 □ 災害危険区域 □ 人口集中地区DID					」無(				)
┃ 種	- ''	_		□ 土砂災害特別警戒区域若しくは土砂災害警戒区域 □ 急傾斜地崩壊危険区域	質			l''' - '	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				,
指				〕砂防指定地 □ 地すべり防止区域		優先度評価項	百日		\	11 元	(記事)		
│ 定 │		_	(	1 岁的祖廷地 1 地外 1 9 的正色级	)	・盛土のり面勾配	я ц	□ 急 [	7 適 勾配 (	29 )° (			)
- 13			(			以 ・小段の設置					) 數( 2 )段、	(1段日 2段日の	/ / ~/ C 라니―5 O~ /
その					形出		<u>.</u>					(14) 0 , 24) 0 0	ノ9回はロー3.011)
の   他					状ま		<u>1</u>		☑ 適(植生エ====================================		/ マリナン1 <u>六</u> ナン1		)
		1			ے کے ل	と   松皮世界の英格性			☑ 適 傾斜角		( ひな壇なし	. <i>L</i> .,	)
優先度評価項目			,	判定(記事)	構で			□ 不適 □	☑ 適 □ 鉄筋			ンクリート造	
基準年代 (	1974	)	□前	■ 後 造成年代(2003	)造類	雍			□ 練積		□ その他		)
造成年代 ・その他特記事項	Į			- (	)	_			高さ(	- )m、壁	面勾配( -	) °	
6		I	■大		0	しの心特配事項		_	(				)
<b>変動確</b> 率				数量化Ⅱ類(%) その他()	(2				<b>無(</b>				)
プラルー  ・その他特記事項	Į			<b>-</b> (	) 5		の変状	□ 有 [	<b>無</b> (				)
【平面図】						世 │ <sup>擁</sup> │ • 擁壁背面の変∜	犬	□ 有 [	☑ 無 (				)
APPLICATION OF THE PROPERTY.	2.00	1000	16.03	THE RESIDENCE OF THE PARTY OF T		也│壁│・擁壁の補修履歴	陸		<b>三無</b> (				)
March 2017				N Committee of the Comm	盘	盛 ・ガリ侵食跡							)
					‡	_	<b>‡</b> 凹凸						)
					状 <sup>搦</sup>	[ o   · a 裂							,
					-	-   り   でい			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				,
					0	) <del>-   </del>			<u> </u>				
	فالثلياة				Ļ	」   そ  ・災害痕跡 ≦   の  ・根曲がり		II	_				)
						別│他│・道路の変状							)
					ਹ ਹ			1	<u></u> 無 (				)
						で・その他特記事項				····			)
						・盛土のり面からの湧				無(			)
100000		P8		P4		・擁壁水抜き穴からの				無 (			)
	V	1	_	P7 / P6 / \		・ひな壇部分の擁壁前				無(			)
						・排水工や擁壁の恒常			可能性有 🗸				)
100	Ρ:	<sup>9</sup>		27 /		・盛土のり尻排水工の			可能性有 🗸	無(			)
				▶ P5	③ 地	・排水工の目地・亀裂		□有□	<b>三 無</b> (				)
					下	・盛土のり尻のため池	2等の満水水位	□ 有 □	<b>三無</b> (				)
					水			□有□	<b>三無</b> (				)
				Р3		・盛土のり尻の調整池	也∙ため池	□ 可能性有	有 🗆 無				)
						・ 集水地形上の盛土		☑ 可能性有	∮ □ 無				)
90.4500.000						<ul><li>・盛土上ガレージの湿</li></ul>	ひ	□ 可能性有					)
						・水を好む植生の有無	Ħ.	□ 可能性有	_				)
A. The state of th				P2		・その他特記事項			(				,
760,885,975				P1	. (2	・盛土周辺の崖錐、崩	<b>着</b> 十	□有☑	無 □ 不明	(			)
						☆ ・盛土周辺の沖積粘性			無口不明	(			,
A STATE OF THE PARTY OF THE PAR	7,450	6530			/			有 🗸					,
凡	例		920		状 n	トーニエ周辺の不領配が DI・その他特記事項	Hシメエ		/ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	`			)
谷埋め昼			400	Commence of the Commence of th	⊢	・盛土末端部及び盛っ	十全体に顕著かず	<u> </u> 	では健全と言う	<u> </u>		2世ョ	
				THE RESERVE TO SERVE THE PARTY OF THE PARTY	_		- エげい嬰白なり	ハロダハガル	、このは王C日ん	<b>v</b> o		TIX E	コルルス
主測線	(断面位置)			STATE OF THE PARTY	総								
写真撮影	<b>杉位置</b>			0 50 100 m	4402							1	_
													# <del>#</del>
変状箇所	<b></b>				評							慢	先度
	10000			************************************	┕								A3
1				ᆸᇢᇋᇲᄣᆇᄦᅚᇬ써ᆂᅜᄧᆌᆓᇦᇎᄯᅜᆒᆑᅂᆍᄔᅾᅹᆘ	· /TT	1						•	



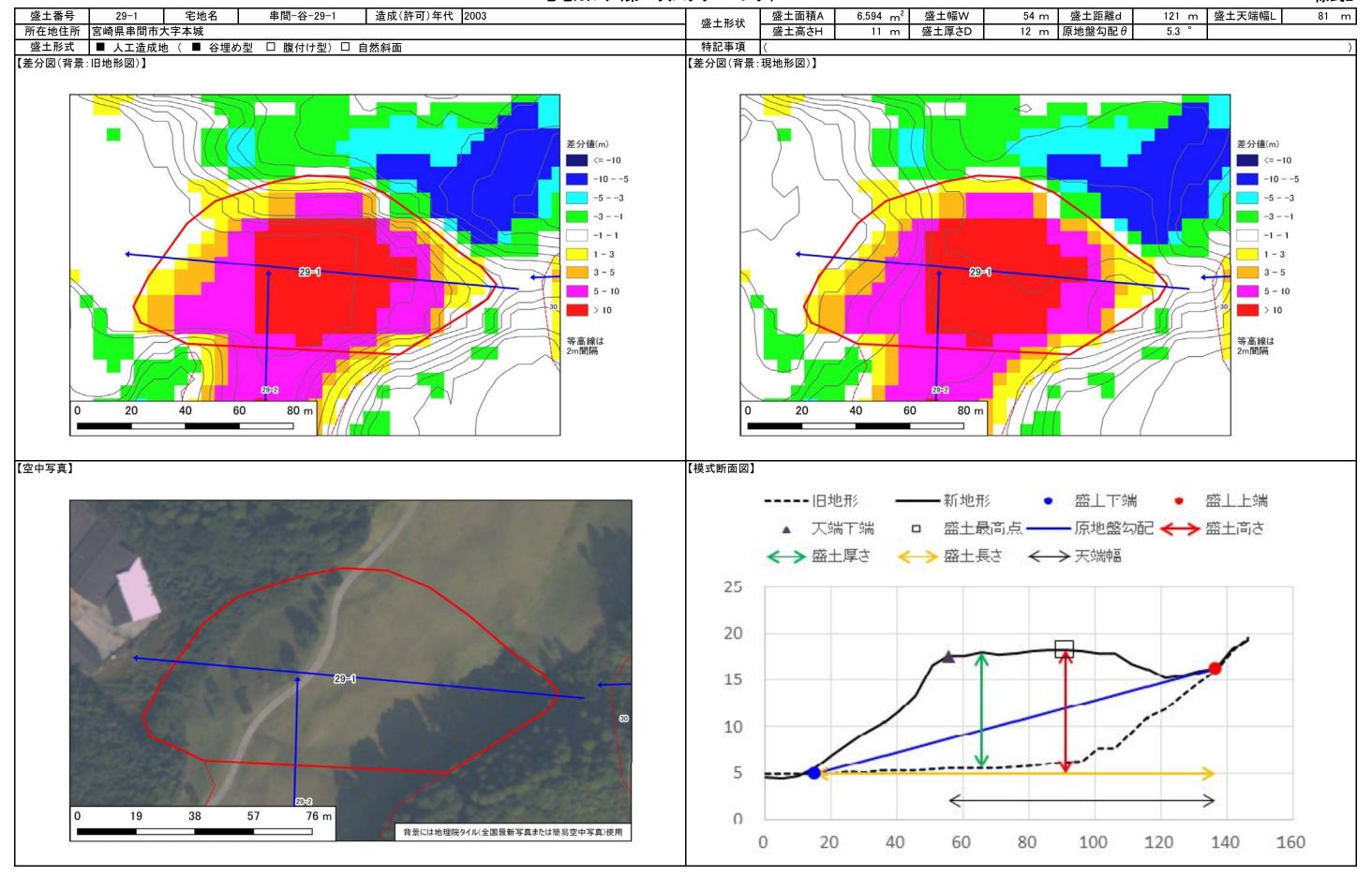
												202 deal.)	17-01
_							ーニング結果)				【位置図】		
盛土番号	28	宅地		串間	引−谷−28	造成	戊(許可)年代 2	003					
	宮崎県串間市							<u>-</u>				"\ " "\ 448	
盛土形式	■ 人工造成:	地 ( ■		型 □ 腹	[付け型)[								
成十二十	盛土面積A	8,06	31 m <sup>2</sup>	盛土幅V	V	52 m	盛土距離d	155 m	盛土天端幅	L 52 m			
盛土形状	盛土高さH		81 m	盛土厚さ			原地盤勾配 🛭	11.5 °					
		•	宅				ング計画の作成	)	•		1	" " " " " " " " " " " " " " " " " " " "	
優	<b>憂先度評価項</b> 目	<u> </u>	Ī				判定(				1		
① 盛土および挧				■ 非該	当口	該当	,			•	1		
標準的な形	#星のかけて   伏と構造に該き	当 当				(	( のり面の高さが5m	以上			기		
② 宅地地盤・擁				■ 有		無	のり面2段目小段作	け近から末端のり	面1段目まで崩壊	•	$\overline{)}$		
③ 地下水				口 有		無	· (			`	7	28	
<ul><li>④ 盛土の下の?</li></ul>	不安定かま屋			<ul><li>□ 可能性</li><li>□ 有</li></ul>		無	<u>`</u>			•	$\frac{1}{2}$	"\"\"\"\"\"\"\"\"\"\"\"\"\"\"\"\"\"\"\	
				<ul><li>□ 不明</li><li>□ 以前</li></ul>		後	<u> </u>				<u> </u>	32 33-2 33-3 37 1	
⑤ 造成年代(基	§準年以前 <i>/</i> 後	<b></b> 					(				<u>/</u>	中干野台18	
⑥ 変動確率		PR 11.00		口 大		(	(		-		)	31-4 33-1	
高さはのり	り面2段分の10	0mと大規	模で、現る	在3段目の	り面のみか	「健全なもの	壊規模は、幅約1 のとなっている。 5の関連拡大が	地震などの強	想定	被害形態		0 100 200 300 m	
総に外力が	光生した除、ま	おには降雨	よる朋境	後囲の浸食	か進行すれ	いる、のり	面の崩壊拡大が	<b>恋</b> 忍される。	のり	面の崩壊		背景には地理院タイル(淡色地図)使用	
評											【断面図】		
										A1	-		
					Jun — ( )	·- ·					4	▲ 天端下端 □ 盛土最高点―――原地盤勾配 ←→ 盛土高さ	
				宅 地	概要(第	ニ次スク		_				←→ 盛土厚さ ←→ 盛土長さ ← → 天端幅	
【地盤定数】			,				【安定計算結果	<u> </u>				45	
\		単位	立体積	粘着力	内部	せん断波		_	常時	地震時		40	
$\square$	_ │代表		主 里	和間の (kN/m²)	摩擦角	速度			114.53	1		35	
		(kl	$N/m^3$ )		(°)	(m/s)	ひな壇部	3分(上)				30 25	
					.=		0 0=1	\- /				20	
		信)	(験値)	(試験値)	(試験値)			3分(中)					
					.=		0 0 <u>9 9 9 1</u>					15 10 5	
		(計	算値)	(計算値)	(計算値)		亅┃ ひな壇剖	3分(下)				5	
							盛土	全体				0 50 100 150 200	
											/ <del>- =</del>	変動予測調査後	
											【工事の記	<b>「」」</b>	
1											-		
											「上やのご		
総											【点検の記	·····································	
評													
1 1											1		



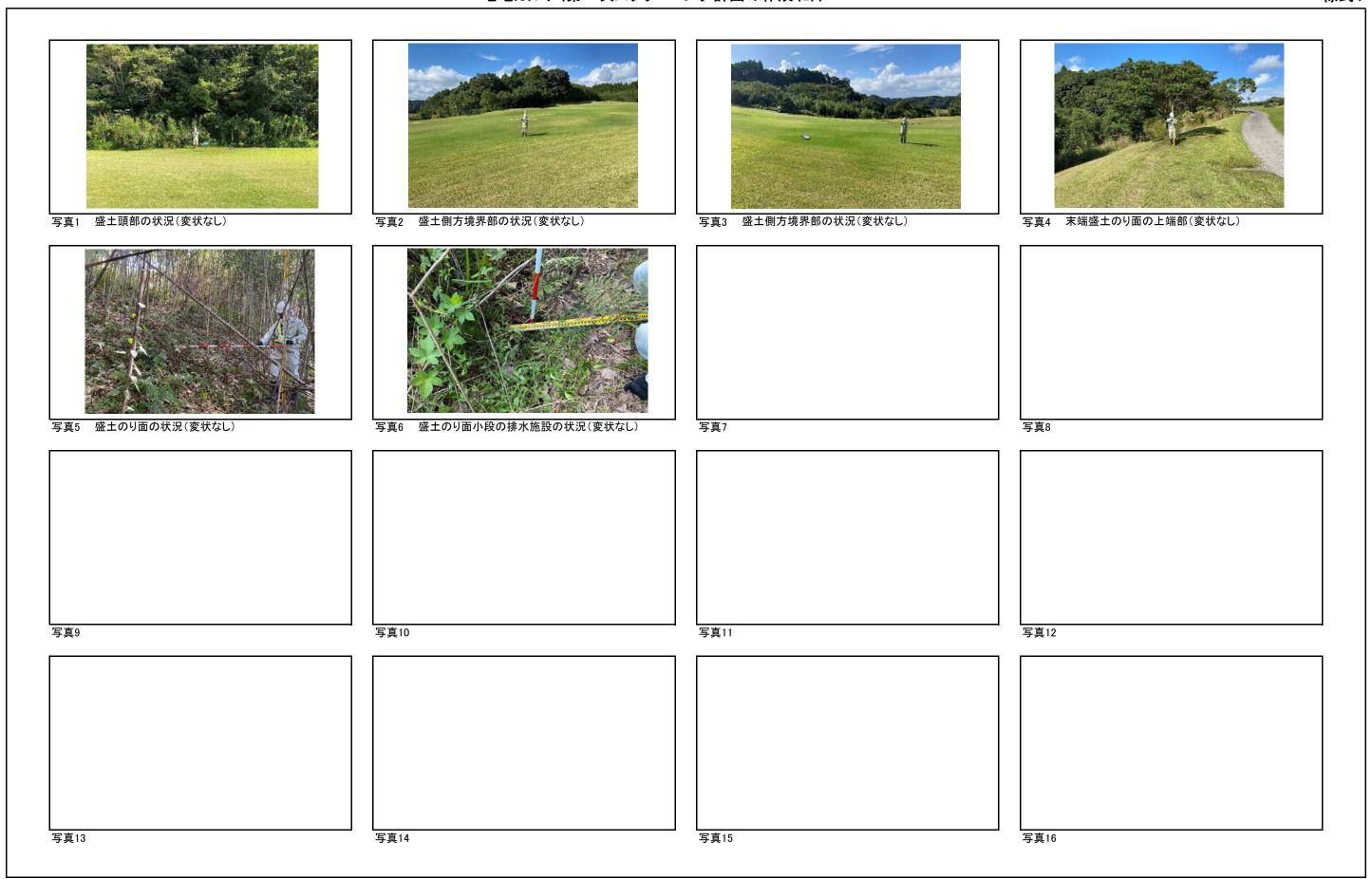
			# 7# ½ w		<b>7 III II I</b>			ᄑᄆᄓᇈᇚᆉᅼ	<b>-</b>			17.20
チェック項目			基 礎 資 料 整 理 判 定(記 事)		 調査日時	天気記録	調査日		2日前	3日前	<b>4日前</b>	5日前
・住宅	□有	■ 無 (	0 )軒(	\	2021年10月11日	降水量(mm)	<u>調宜口</u> 4.5	8.0	3.5	3.0	4日前 0.0	0.0
Λ ++ ++ =n.4±		■ 無( ■ 無	避難所(	ノースが	 也内の平面図との相違	四小里(IIIII)	□ 有 ☑		3.3	3.0	0.0	0.0
保 ·公共施設等 全 対 象		<del> </del>	緊急輸送路(	-	BPの中面因との指達 L形状の机上調査との相	造	□ 有					)
<u>土</u>   対			河川(		こが状めれて調査との旧 L末端部の状況	圧			Oり面 🗆	擁壁  □	すりつき (	)
象			鉄道	) +			□ 有 ☑		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	砂質土 □		
・その他特記事項	_	(	3/AE (	/  土	•		□ 有 ☑	_		砂質土 🗆	粘性土	41 血 (
各・各種指定の有無	□有	■ 無 □	」 宅地造成工事規制区域 □ 災害危険区域 □ 人口集中地区DID				□ 有		\ <b>X</b>		1011	)
種   指	- ''		] 土砂災害特別警戒区域若しくは土砂災害警戒区域 □ 急傾斜地崩壊危険区域	質			''	(				)
指   🕁			〕砂防指定地 □ 地すべり防止区域		優先度評価項				判定	(記事)		,
定 等・その他特記事項	_	(		)	↑・盛土のり面勾配		□急▽	適 勾配 (	29 )° (			)
₹ -					盛・小段の設置		□ 不適 □		7.0 )m、段敷	女(2)段、	(1段目、2段目の	)り面はH=5.0r)
の				形式		<u> </u>	□ 不適 ▽	適 ( 植生工				)
他				-   状る   とる			□急▽	適 傾斜角	( - )°	( ひな壇なし		)
優先度評価項	<b>=</b>		判定(記事)		が ┢ 排壁構造の適格性		□ 不適 ▽	適 🗌 鉄筋	コンクリート造	□ 無筋コ	ノクリート造	
⑤ 基準年代(	1974	) 🗆 前	■ 後 造成年代(2003	) 造技	雍			□ 練積	造	□ その他	(	)
造成年代・その他特記事項	頁		- (		壁			高さ(	- )m、壁ī	面勾配( -	)°	
6		口大		(	の ・その他特記事項		_	(				)
<b>李</b> 動確率			数量化Ⅱ類( %) その他( )		② 宅地地盤・亀裂、沈下		□有▽					)
・その他特記事具	頁		- (		宅が排壁とその基礎		□ 有 ☑					)
【平面図】					地 │ 雅 │ • 擁壁背面の変物 地 │ 壁 │ ・ 按壁のは悠露		□有☑					)
CARE OF					般と一種型の補修復歴	<b>E</b>	□ 有 ☑			1. PR. / LAP /. >	# <b>.</b> U.T. (11.0.1	) 
					- │盛  ・ガリ侵食跡   土  ・表面の不陸又に	+nn. <b>r</b> .			2 のり面2段日	小段付近から末端	流のり面1段日よ	で朋瑗・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
50 X				状 <sup>技</sup>	∰   の   ・衣面の不隆文  。 壁   □   ・亀裂	4 <u>미디</u>	│□ 有 ☑ │□ 有 ☑					)
				-	エ   り   電表 ・   面  ・排水工の変状		│□ 有		(分の排水施設に	+广生		)
					の日本・災害痕跡		☑ 有 □		77] 07 1977](1)巴克(1)	<u>« L Д</u>		, )
234 48				'	り   で   C   R   R   R   R   R   R   R   R   R							)
			WE TO THE RESERVE OF THE PERSON OF THE PERSO		の│他 │・道路の変状			無(				)
					変・その他特記事項			(				)
					・盛土のり面からの湧	[水	□ 有 □	可能性有 🗸	無(			)
					・擁壁水抜き穴からの	)恒常的な出水	□ 有 □	可能性有 🔽	無(			)
			P7		・ひな壇部分の擁壁前	前面部の出水		可能性有 🗸				)
			P4 P4		・排水工や擁壁の恒常			可能性有 🗸				)
		i <del>j</del> j			・盛土のり尻排水工の			可能性有 🗸	無(			)
1 6 1 1 1 1			/ P5 P1	③   地	) │・排水工の目地・亀裂		□有☑					)
		DO.	P8 28	下	-  ・盆工のり広のために	也等の満水水位	□有☑					)
	1 to		P3	水	、┃・既存井戸水位	h 4 14 116	□ 有 ☑					)
					<ul><li>・盛土のり尻の調整池</li><li>・集水地形上の盛土</li></ul>	世•7:80池	□ 可能性有	_				)
	P12 P11		P10 P2		・盛土上ガレージの温	3 (.)	│     □ 可能性有     □ 可能性有     □ 可能性有	_				)
					・水を好む植生の有無	<del>-</del> -	□ 可能性有	_				)
	- Same				・その他特記事項	n <del>x</del>		<u>√</u>				)
2000	The same			. (	④ ・盛土周辺の崖錐、崩		□ 有 ☑	無 🗌 不明	(			,
11/4 18				土産	③			無口不明				)
100000000000000000000000000000000000000	1000	PAT AND		状	土┃・盛土周辺の沖積飽和			無口不明				)
凡	例		A STATE OF THE STA	状態	の・その他特記事項			_ (				)
谷埋め盛	<u> </u>				・盛土のり面の2段目	小段付近から末端	のり面まで崩壊	が確認された。	崩壊規模は、幅	節約10m程度で、	被害	<b></b> 手形態
	 (断面位置)	-			1 . L. L 1836 LL L 1892	)10mと大規模で、3	現在3段目のり	面のみが健全な 進行されば、の	ものとなっている	る。地震などの強 - が緊会される		
				総	; しいクトリル・第生しに除、 	、まには解附よる朋	坂山の皮艮か	進1丁9 れは、の	ッ画の朋场払入	いが忍るされる。	のり面	iの崩壊
写真撮影	<b>泛位置</b>	A COLUMN	0 50 100 m									
変状箇所	fi	1000	The second second	評							優:	先度
	3.5	MA	背景には地理院タイル(全国最新写直または簡易空中写直)(	≠⊞ I	1						,	<b>A</b> 1
			ᆸᄝᇉᆥᄱᄺᄦᇰᆟᄼᄼᆂᄖᄧᆀ골ᄝᇎᄕᅜᆒᇭᆍᆔᆂᆝ	v - ДП I	•							



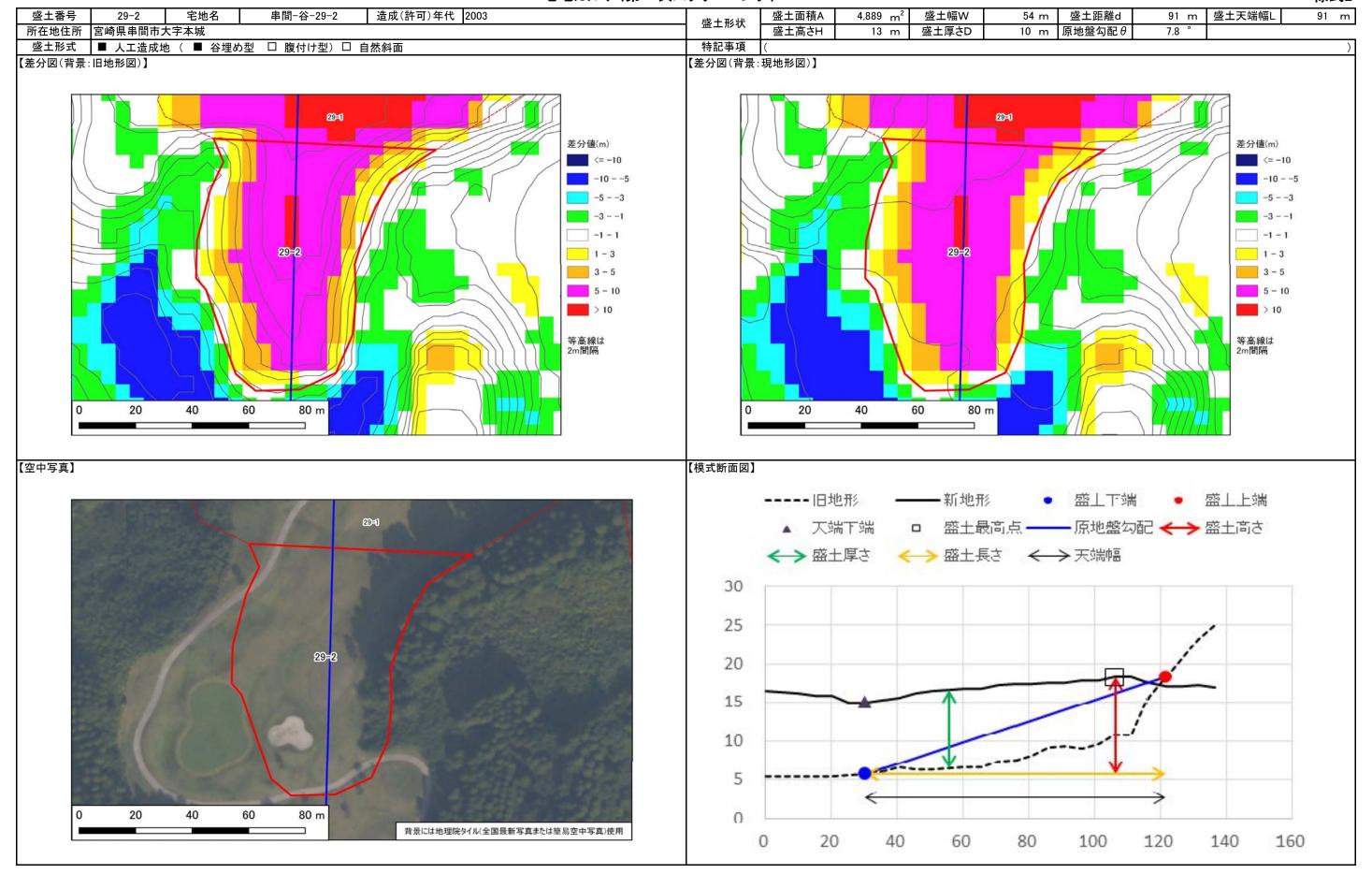
			宅 地 概 3	要 (第一次スクリー	 ·ニング結果)			【位置図】	
盛土番号	29-1	宅地名	串間-名		(許可)年代 2003				
所在地住所					l .				
盛土形式			型 □ 腹付	け型) □ 自然斜面	<u> </u>				
盛土形状	盛土面積A	6,594 m <sup>2</sup>	盛土幅W	54 m	盛土距離d 121 m	盛土天端幅	L 81 m		
盗工形状	盛土高さH	11 m	盛土厚さD		原地盤勾配 θ 5.3 °				
		宅	地概要	(第二次スクリーニン					
	優先度評価項目				判 定 ( 記 事 )				
① 盛土およ標準的な	び擁壁の形状と構造だ 形状と構造に該当	יְּל	口 非該当	■ 該当 (		-	)		
② 宅地地盤	፟፟፟ዿ・擁壁・のり面の変状		□ 有	■ 無 (		-	)		
③ 地下水			□ 有 □ 可能性 <b>有</b>	■ 無 (		-	)	)	
④ 盛土の下	の不安定な土層		□ 有 □ 不明	■ 無 (	, ,	-	)	) 中干野合18 31-6 35-2	
⑤ 造成年代	大(基準年以前/後)		口 以前	■ 後 (	, ,	-	)	) 31-4 33-1 35-1 4	
⑥ 変動確率			口大	■ /\ (	, <del></del>	-	)	) " " 31-2 1 31-3	
	末端部及び盛土全体に	こ顕著な変物	ぱはなく、現状	では健全と言える。		想定	被害形態	0 100 200 300 m 日南串間4 G C	
総							_	背景には地理院タイル(淡色地図)使用	
評						優	憂先度		
							С	旧地形 ——新地形 ● 盛土下端 • 盛土上端 ▲ 天端下端 □ 盛土最高点 —— 原地盤勾配 <del>← →</del> 盛土高さ	
			宅 地 概	・要 (第二次スクリ					
【地盤定数】					【安定計算結果】	,		25	
	/\ ± \ / \	単位体積	粘着力	内部せん断波		常時	地震時	20	
`	代表N值	重量 (kN/m³)	$(kN/m^2)$	摩擦角 速度 (°) (m/s)					
				( ) (111/3)	ひな壇部分(上)			15	
			/=+F4/±\ /÷	=+ F4 /+ \					
		(試験値)	(試験値)(		ひな壇部分(中)			10	
			(試験値) (清算値) (清算値)		ひな壇部分(中)			5	
								0 20 40 60 80 100 120 140 160	
					ひな壇部分(下)			5 0 20 40 60 80 100 120 140 160 変動予測調査後	
					ひな壇部分(下)			0 20 40 60 80 100 120 140 160	
					ひな壇部分(下)			5 0 20 40 60 80 100 120 140 160 変動予測調査後	
					ひな壇部分(下)			5 0 20 40 60 80 100 120 140 160 変動予測調査後	
					ひな壇部分(下)			5 0 20 40 60 80 100 120 140 160 変動予測調査後	
					ひな壇部分(下)			5 0 20 40 60 80 100 120 140 160 変動予測調査後	
					ひな壇部分(下)			5 0 20 40 60 80 100 120 140 160 変動予測調査後 【工事の記録】	
【総					ひな壇部分(下)			5 0 20 40 60 80 100 120 140 160 変動予測調査後	
総					ひな壇部分(下)			5 0 20 40 60 80 100 120 140 160 変動予測調査後 【工事の記録】	
					ひな壇部分(下)			5 0 20 40 60 80 100 120 140 160 変動予測調査後 【工事の記録】	
総評					ひな壇部分(下)			5 0 20 40 60 80 100 120 140 160 変動予測調査後 【工事の記録】	
総評					ひな壇部分(下)			5 0 20 40 60 80 100 120 140 160 変動予測調査後 【工事の記録】	



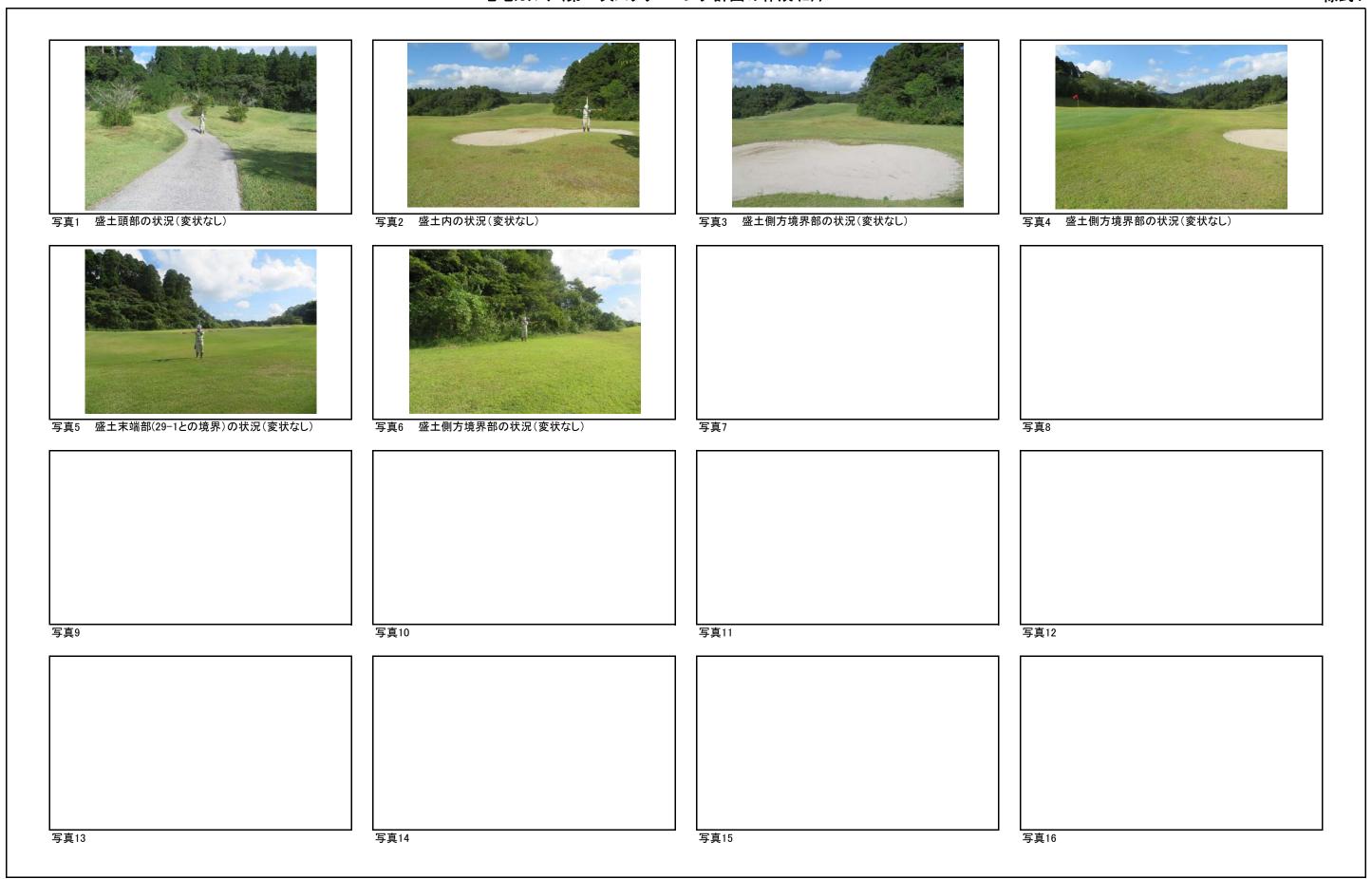
				女 体 次 w あ TE	B-0,5,0 , (3, = 5(, 1, 2, 3)		#1 H 3 11 17 ( 17	<u>′</u>						17.260
<u> </u>	<del>5</del>	ı		基礎資料整理			一一一	T 左 = 1 43		現地踏査		0.04	I 40±	C [24:
	ェック項目	_ <i>+</i>	- 4m	判定(記事)		`	調査日時	天気記録	調査日	1日前	2日前	3日前	4日前	5日前
·住宅		口有	■無				2021年10月9日	降水量(mm)	3.5	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0
保 ·公共	施設等	口有	■無	避難所(		-	内の平面図との相違	.+		無(				)
全				緊急輸送路 (			が状の机上調査との相	遅	□ 有 ☑	無(		1-t- m-t-		)
保 <sup>・公共</sup>   全   対   象				河川 (			に端部の状況 				り面 🗆	擁壁 □	すりつき (	)
				鉄道 (			・原地盤材料の確認		□有□□		質土 🗌	砂質土 🗆		岩盤(岩)
	他特記事項	_	•	(			・盛土材料の確認				質土 🗆	砂質土 🗌	粘性土	
│ 各 ·各種	指定の有無	□有	■無	□ 宅地造成工事規制区域 □ 災害危険区域	【 口 人口集中地区DID	FF	・既往調査の資料		□ 有 ☑	無(				)
				□ 土砂災害特別警戒区域若しくは土砂災害警戒	戊区域 □ 急傾斜地崩壊危険区域	質	・その他特記事項		_	(				)
定				□ 砂防指定地 □ 地すべり防止	区域		優先度評価項	頁目				(記事)		
等・その	他特記事項	_	-	(		) ①			□急□		29 )° (			)
そ						盛			□ 不適 ☑	適 高さ( 5	5.0 )m、段射	收(1)段、	(	)
の						形土		Ī	□ 不適 ☑	適 ( 植生工				)
他						状お	・ひな壇部分の傾斜		□急☑	適 傾斜角 (	- )°	( ひな壇なし		)
	優先度評価項目			判定(記事)		■偉び	・擁壁構造の適格性			適 □ 鉄筋=		□ 無筋コン	ノクリート造	
(5)	基準年代 (	1974	) 🗆	前 ■ 後 造成年代(2003		)造擁				□ 練積道		_ □ その他	(	)
造成年代	・その他特記事項	İ	·	- (		) 壁						面勾配( -		,
				大 ■ 小 点数方式(方式1) 1.0 %)	点数方式(方式2)%)	の	・その他特記事項		_	(	,		•	)
6				数量化Ⅱ類( %) その他		2	宅地地盤・亀裂、沈下		□ 有 □	無(				)
変動確率	・その他特記事項	i		— (	,	)   宅				無(				)
【平面図】	C 47 18 14 18 14 15	•		<u> </u>		<del>/</del> 地	擁  焼 段北 五のホー			無(				)
	0.00		For 279		10000	地				無(				)
	CONTRACTOR OF THE PARTY OF THE				N	盤	盛・ガリ侵食跡	<u> </u>		無(				,
						+24	土   . まあのる味 2 /-	+m~		無(				)
						状 雑 壁	の  <sub>毎和</sub>	***						)
						-	┃ り ┃ ・ <sup>亀袋</sup> ┃ 面 ┃ ・排水工の変状			無(				)
	No. of Concession, Name of Street, or other party of the Concession, Name of Street, or other pa					の				無(				)
	1				The second second		そ・災害痕跡			無(				)
	1000				3930	面	の ・根曲がり			無(				)
						の 変	/C/H 11 / C   / 1			無(				)
							・その他特記事項	- امام		(	<del></del> /			)
					CANAL ASSESSMENT		・盛土のり面からの湧			可能性有 🔽 🦸				)
	A CONTRACTOR OF THE PARTY OF TH		1000				・擁壁水抜き穴からの			可能性有 🔽 🦸				)
		VALUE OF	1000	P5			・ひな壇部分の擁壁前			可能性有 🔽 🦸				)
	The second	250	1600				・排水工や擁壁の恒常			可能性有 🔽 🦸				)
	Street And	COOK.		P2	3 445	<u> </u>	・盛土のり尻排水工の			可能性有 🕡 🦸	₩ (			)
		M 20		P6	AL ASSESSION OF THE PARTY OF TH	③ 地	・排水工の目地・亀裂		□ 有 ☑					)
	A CONTRACTOR OF THE PARTY OF TH		-/-	29=1		下	・盛土のり尻のため池	!等の満水水位	□ 有 ☑					)
					A STATE OF THE STA	· 水	・既存井戸水位		□有…☑					)
	10 to			P1 → P1 →	A STATE OF THE STA		・盛土のり尻の調整池	1・ため池		<del></del>				)
	STATE STATE OF						・集水地形上の盛土		☑ 可能性有					)
				← P3			・盛土上ガレージの湿		□ 可能性有					)
					<b>学生性的</b> 第二		・水を好む植生の有無	Ħ	□ 可能性有	✓ 無				)
							・その他特記事項		_	(				)
	TO THE REAL PROPERTY.		16-7		THE STATE OF THE S	土屋土	・盛土周辺の崖錐、崩			無 🗌 不明(				)
			1000			層十	・盛土周辺の沖積粘性	生土		無 🗌 不明(				)
	To the state of th	70 705			CONTRACT NO.	状形の	・盛土周辺の沖積飽和	口砂質土	□有☑;	無 🗌 不明(				)
	凡	例		29=2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	態の			_	(				)
	谷埋め盛	±					・盛土末端部及び盛っ	上全体に顕著な変物	犬はなく、現状で	は健全と言える	0		被害	<b>手形態</b>
					STATE OF THE PARTY									
	主測線(	断面位置)				総							1	_
	写真撮影	 位置		0	50 100 m									
						評							優先	先度
	変状箇所				ACCESSED AND ADDRESS OF THE PARTY OF THE PAR									0
				背暑には地理院タイル(全	*国最新写直または簡易空中写直) 使 F	#I							1	С



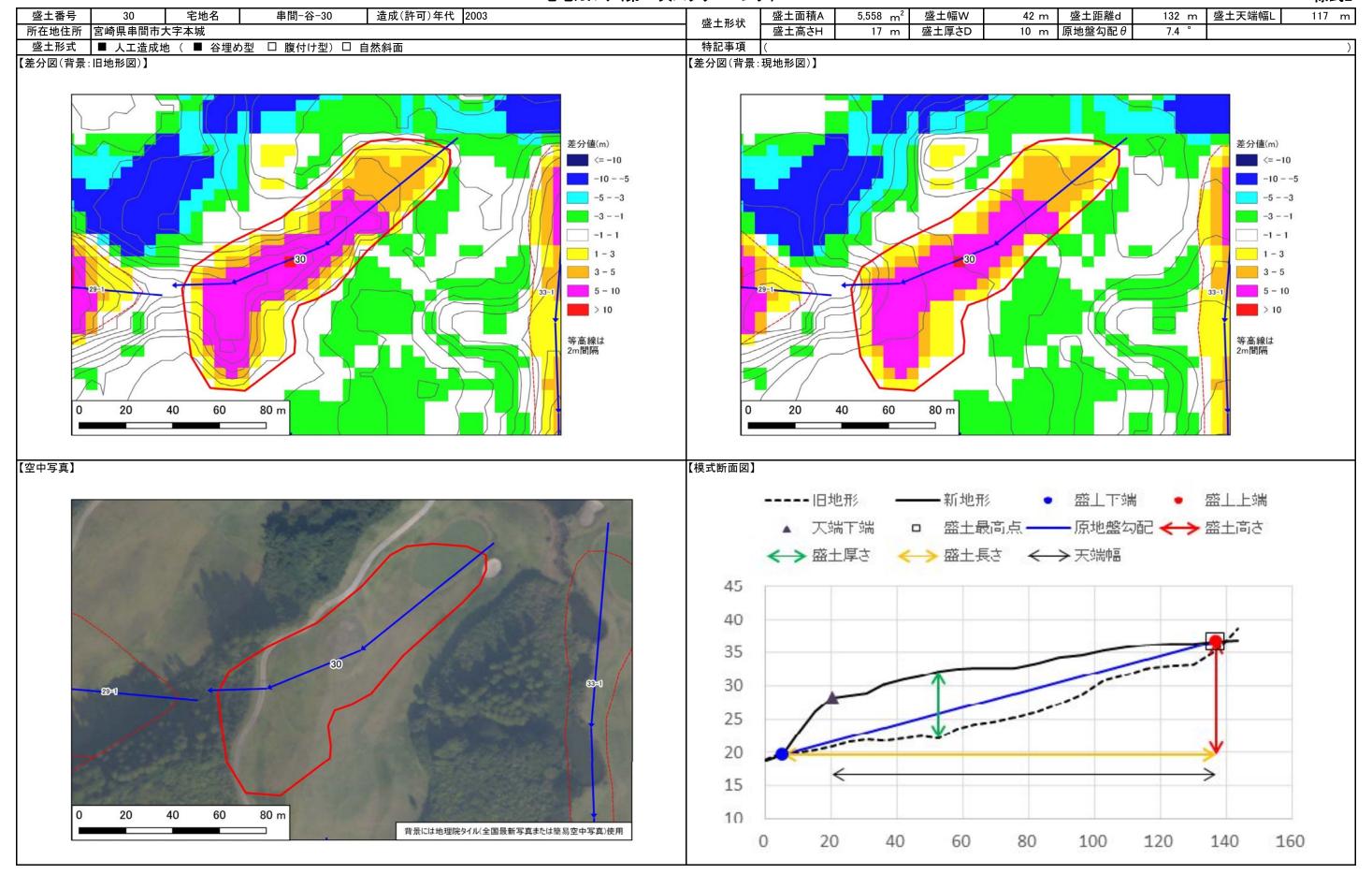
				字 李 賈	西 (生)	カフタロ	<b>一、</b> // 绘 即 \			2/%-0 0-0	【位置図】		<b>7-0</b> 1
成十平日	1 00 0	<b></b>					-ニング結果) *(**!! (ませ)						
盛土番号			地名	年间-1	谷-29-2	垣り	(許可)年代	2003			4	THE STATE OF SOME	
所在地住				TI	L. L. TILL .						4		
盛土形式				型口腹位				T 04	# 1 + + + =		4		
盛土形状	盛土面積		889 m²	盛土幅W			盛土距離d	91 m	盛土天端幅	L 91 m			
	と高土整	1	13 m	盛土厚さり			原地盤勾配 θ				4		
			宅	地概要	(第二次)	スクリーニン	ノグ計画の作				4		
	優先度評価						判定	(記事)			_		
① 盛土お。 標準的	よび擁壁の形状 な形状と構造に	と構造が 該当		□ 非該当	á <b>I</b>	該当 (	<u> </u>		_	Ž			
② 宅地地:	盤・擁壁・のり面	の変状		□ 有	•	無 (	<b>,</b>		-			11 11 11 29-1 30 33-2 33-3 · 31 A	
③ 地下水				□ 有 □ 可能性 <sup>:</sup>	<b>■</b> 有	無 (	<b>,</b>		-	`		中干野 4 8 31-6 31-6 31-6 31-6 31-6 31-6 31-6 31-6	
④ 盛土の	下の不安定な土	層		□ 有 □ 不明		無 (	<b>,</b>		-			31-4	
⑤ 造成年·	代(基準年以前/			□ 以前		後 (			-				
⑥ 変動確				口 大		(	<u> </u>		-		)		
	上末端部及び盛:	土全体に顕	著な変状	はなく、現状	では健全	と言える。			想定	被害形態		0 100 200 300 m	
総										_		A 背景には地理院タイル(淡色地図)使用	
評									ſ	<b>憂先度</b>	【断面図】		
										С		旧地形 ——新地形 ● 盛土下端 ● 盛土上端 ▲ 天端下端 □ 盛土最高点 —— 原地盤勾配 <del>&lt; →</del> 盛土高さ	
				宅地根	ま 要 (第	ニ次スクリ	リーニング)					←→ 盛土厚さ ←→ 盛土長さ ← → 天端幅	
【地盤定数】							【安定計算約	吉果】				30	
		単	位体積	粘着力	内部	せん断波			常時	地震時		25	
11 `	<u> </u>		里里	他用刀 (kN/m²)	摩擦角	速度			त्त्र स्त	地展时			
		()	$(N/m^3)$	(KIN/III )	(°)	(m/s)	フトナン+i	5.立7ノン(L)				20	
							-   し ひな <u>項</u>	部分(上)				15	
		()	試験値)	(試験値) (	(試験値)								
		``	- V-32-(1)/	(4- 0-32 (12-2	(H- V-32 (1)		-   ひな塩	曾部分(中)				10	
		(	計質値)	(計算値) (	(計質値)							5	
		(1	11 开心/	(日开吧/	. ロ 开 に /		ひな垣	部分(下)					
								土全体				0 20 40 60 80 100 120 140 160	
												変動予測調査後	
											【工事の記		
総											【点検の記	録】	
評													



		<u> </u>		,						した。
	基礎資料整理					現地踏着	Ē			
チェック項目	判 定(記事)		調査日時	天気記録	調査日	1日前	2日前	3日前	4日前	5日前
·住宅 □ 有 ■ 無 (	0 )軒(	)	2021年10月9日	降水量(mm)	3.5	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0
<sub>保</sub> ·公共施設等 □ 有 ■ 無 ;	避難所 (	) 宅地[	内の平面図との相違	•	□有☑	無(	•	•	•	)
	緊急輸送路(		形状の机上調査との相違			無 (				,
<del>첫</del>   포	可川 (		たいのれ上間直この旧》 末端部の状況	<del>-</del>			り面 □	擁壁 ☑	すりつき (	,
<del>4</del>						_				山 魚ひ / 山 〉
	跌道		・原地盤材料の確認		有 図	· <del></del>	質土 🗆	砂質土		岩盤(岩)
・その他特記事項 ー (		_ ::	・盛土材料の確認				質土 🗌	砂質土 🗌	粘性土	
各 ・各種指定の有無 □ 有 ■ 無 □ s	宅地造成工事規制区域 □ 災害危険区域 □ 人口集中地区DID	地	・既往調査の資料		□ 有 ☑	無(				)
種 日: 112.112.20 17.11	土砂災害特別警戒区域若しくは土砂災害警戒区域 □ 急傾斜地崩壊危険区域	質	・その他特記事項		_	(				)
遺	砂防指定地 ロ 地すべり防止区域		優先度評価項	目			判 定	(記事)		
~ 等 ・その他特記事項 ー (		) ①	•盛土のり面勾配		□ 急 ☑	適 勾配 (	- )° (			)
₹		盛			□ 不適 ☑	適 高さ(	- )m、段類	數( - )段、	( -	- )
o o		形土	・のり面保護工の設置		□ 不適 ☑	適 (		_		)
他		状お	・ひな壇部分の傾斜				( – )°	( ひな壇なし		,
優先度評価項目	判定(記事)	ーとよ	・擁壁構造の適格性			適 □ 鉄筋			ノクロート告	,
	■ 後 造成年代(2003	構び								`
	■ 後 這似年代 (2003	造擁						□ その他		)
造成年代・その他特記事項 -		<u>)</u> 壁				, 15号	- )m、壁	面勾配( -	)	
⑥   □ 大	■ 小 点数方式(方式1) 15.2 %) 点数方式(方式2) %)		( ) 临时	85.4-	_	(				)
<b>変動確</b> 率	数量化Ⅱ類( %) その他( )		宅地地盤・亀裂、沈下		□有☑	無(				)
・その他特記事項 -	- (	)	+777		□有☑	無(				)
【平面図】		地	□ 操□・擁壁背面の変状	<u>.</u>	□有☑	無(				)
	N. C.	地	┃ ┃		□有☑	無(				)
	N N	盤	盛 ・ガリ侵食跡			無(				)
		擁	土 ・表面の不陸マは	: <b>Ш</b> Ф		無 (				)
		状 雑 壁	の・亀裂			無(				, )
		-	り  <sup>電</sup> 歌  面  ・排水工の変状			無(				<b>'</b>
		の								
	29-1	Ŋ	そり災害痕跡			無(				)
	23-1	面	の・根曲がり			無(				)
		の	10 H 1 P 2 W 1		□ 有 ☑	無(				)
	P5 P5	変	・その他特記事項		_	(				)
	P6		・盛土のり面からの湧			「能性有 ▽				)
			・擁壁水抜き穴からの		□有□□	「能性有 ☑	無(			)
			・ひな壇部分の擁壁前	面部の出水	│	「能性有 ☑	無(			)
			・排水工や擁壁の恒常	的な湿り	┃  有    □	「能性有 🔽	無 (			)
			・盛土のり尻排水工の	水没	□有□□	「能性有 ☑	無(			)
		3	・排水工の目地・亀裂が		□ 有 ☑	無(				)
		地	・盛土のり尻のため池		□ 有 ☑	無 (				)
	29-2	下	•既存井戸水位		_					, )
		水	・盛土のり尻の調整池	<b>・</b> ため油	□□可能性有					,
SECRETARIES A			・集水地形上の盛土	720715	□ 可能性有					)
				П	_					)
	P4 \		・盛土上ガレージの湿り		□ 可能性有					)
CONTROL STATE OF THE STATE OF T			・水を好む植生の有無		□ 可能性有	<u>√</u> #				)
	P2 P2		・その他特記事項			(				)
THE RESERVE THE PARTY OF THE PA	D1	土層状態	・盛土周辺の崖錐、崩			悪 □ 不明	(			)
THE RESERVE OF THE PARTY OF THE		層盤	・盛土周辺の沖積粘性			無 🗌 不明				)
			・盛土周辺の沖積飽和	]砂質土	□有☑≸	悪 □ 不明	(			)
凡例	THE RESERVE THE PERSON NAMED IN	態の	・その他特記事項		_	(				)
谷埋め盛土			・盛土末端部及び盛土	全体に顕著な変料	犬はなく、現状で	は健全と言える	5.		被害	<b>手形態</b>
主測線(断面位置)	ACCOUNT OF THE PERSON NAMED IN COLUMN	総総								_
写真撮影位置	0 50 100 m									
変状箇所	THE RESERVE THE PARTY OF THE PA	評							優:	先度
	 背景には地理院タイル(全国最新写真または簡易空中写真)使月									С



				<b>中 144 14</b>	正	_ 'かっ らい	ーヽ. げ 4士 田			2/%-0 0-0			17201
成十平口	1 20	ı	宁州夕				ーニング結果 成(許可)年代				【位置図】		
盛土番号			宅地名	一	間−谷−30	直	双(計可)午代	2003			4		
	所在地住所 宮崎県串間市大字本城 盛土形式 ■ 人工造成地 ( ■ 谷埋め型 □ 腹付け型) □ 自然斜面												
盛工形式								100	C+ ㅗ ㅜ + u + c		4		
盛土形状	盛土面		5,558 m <sup>2</sup>			42 m	盛土距離d		盛土天端幅	L 117 m			
	盛土高	15H	17 m	盛土厚			原地盤勾配						
宅 地 概 要 (第二次スクリーニング計画の作成)													
優先度評価項目 判定(記事)													
① 盛土および擁壁の形状と構造が 標準的な形状と構造に該当 ■ 非該当 □ 該当 (				(	のり面勾配が30度以上								
② 宅地地盤・擁壁・のり面の変状 □ 有 ■ 無 (				(	- )				" " " 33-4				
③ 地下水 □ 有 ■ 無 (□ 可能性有				(	- )				11 11 129-1 30 33-2 33-3 · 31 \( \)				
④ 盛土の	<ul><li>④ 盛土の下の不安定な土層</li><li>□ 有 ■ 無</li><li>□ 不明</li></ul>					(		_		)	中干野岛18		
⑤ 造成年代(基準年以前/後) □ 以前 ■ 後 (				(	- )				31-4 33-1 33-1 11 11 11				
	⑥ 変動確率				(	- )				11 31-2 A 31-3			
但し、	・盛土末端部及び盛土全体に顕著な変状はなく、現状では健全と言える。 但し、のり面小段の排水施設に土砂堆積が確認される。排水機能低下により 上が懸念されるため、堆積土砂は撤去することが望ましい。					。 こよりのり面を:	下安定化させるこ	想定	被害形態		0 100 200 300 m # B34 G C	7	
総総	J. 窓心でもものにもり、唯領工的は版ムすることが、主よしい。					-				背景には地理院タイル (淡色地図) 使用			
評							優先度			【断面図】			
										A3		旧地形 ——新地形 ● 盛土下端 ● 盛土上端 ▲ 天端下端 ロ 盛土最高点——原地盤勾配 <del>&lt; )</del> 盛土高さ	
				宅 地	概要(第	有二次スク	リーニング)					←→ 盛土厚さ ←→ 盛土長さ ←→ 天端幅	
【地盤定数】							【安定計算	結果】				45	
			単位体積	粘着力	内部	せん断派	皮	_	常時	地震時		40	
11 `	<u> </u>	代表N値		(kN/m <sup>2</sup> )	摩擦角	速度			LD H-d	地展啊		35	
			$(kN/m^3)$	(KIN/III /	(°)	(m/s)	71.70	亶部分(上)				30	
			(試験値)	(試験値)	(試験値)		71.4	⇒ ☆ ハ / ㅗ \				25	
							_   Ow	亶部分(中)				20	
			(計算値)	(計算値)	(計算値)			±= \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \				15	
	(計算値) (計算値)				一   ひな	ひな壇部分(下)							
						5	盛土全体				0 20 40 60 80 100 120 140 160		
							í	1111				<b>本料又加冊本</b> 从	
											【工事の記録	要動予測調査後 录】	
											4		
総											【点検の記録	录】	
評													



				/						の工作
	基 礎 資 料 整 理					現地踏了	ì			
チェック項目	判 定(記事)		調査日時	天気記録	調査日	1日前	2日前	3日前	4日前	5日前
・住宅 口 有	■ 無 ( 0 )軒( )		2021年10月11日	降水量(mm)	4.5	8.0	3.5	3.0	0.0	0.0
	■ 無 避難所 (	宅地	内の平面図との相違		□有☑	無(				)
<b>全</b>	緊急輸送路(	盛土	形状の机上調査との相談	違	_ 有 ☑					)
保 · 公共施設寺	河川 (		末端部の状況				り面 🗆	擁壁  □	すりつき (	)
象		_	・原地盤材料の確認		□有☑		質土 🗌	砂質土 🗆		岩盤(岩)
・その他特記事項	- (	上質			□ 有 ☑		類土 □	砂質土	指性土 粘性土	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
各・各種指定の有無 □ 有					□ 有 ☑		Ç L	DAT [	1011111	)
種	□ 土砂災害特別警戒区域若しくは土砂災害警戒区域 □ 急傾斜地崩壊危険区域	質	・その他特記事項			/MK (				,
指	□ 砂防指定地 □ 地すべり防止区域 □ 忠順料地崩壊地膜区域			5 FI		(	和 宁	(司事)		,
定等・その他特記事項	一	<u></u>	・盛土のり面勾配	<del>1</del> □	判 定 (記事) □ 急 □ 適 勾配 ( 40 )° (1:1.2					
- 12		•	) ┆ ┆ ┆ ┆ り り り り り り り り り り り り り り り						,	)
7		形土			□不適□□			女(1)段、	(	)
の 他		状ま		•	□ 不適 ☑ 適(植生工 )					
	The state of the s	- E &	_   '아'& 텔 매기 어떻게		□ 急 ☑ 適 傾斜角 ( - )°( ひな壇なし □ 不適 ☑ 適 □ 鉄筋コンクリート造 □ 無筋コンクリート造					
優先度評価項目	判定(記事)	構ひ	┊		□ 不適 ☑					
<b>基準年代 ( 1974</b>	) □ 前 ■ 後 造成年代(2003)	造擁	<b>推</b>			□ 練積		□ その他		)
造成年代・その他特記事項	<b>–</b> (	壁	.			高さ(	- )m、壁	面勾配( -	)°	
6	□ 大 ■ 小 点数方式(方式1) 15.2 %) 点数方式(方式2) %)	σ			_	(				)
変動確率	数量化Ⅱ類( %) その他( )	2	宅地地盤・亀裂、沈下	、隆起	□ 有 ☑	無(				)
グガ曜千  ・その他特記事項	<b>–</b> (	) 宅		の変状	□有☑	無(				)
【平面図】		地	上 │ <sup>擁</sup>	<del>`</del>	□有☑	無(				)
	N	坩		<u> </u>	□有☑	無(				)
		盤	盛 ・ガリ侵食跡		□ 有 ☑					)
		滋	ቘ	凹凸	□有□					)
		状 類	輩   の   弘温		□ 有					,
	STATE AND A STATE OF THE PARTY		│			 無 ( P7 土瓦	<b>少堆</b> 積あり			,
		$\sigma$	) - // // // // // // // // // // // // /		□ 有 ☑		J-E (R0) /			,
	P1	1 9	/   =							,
		面の	4 14							,
A COUNTY OF THE PARTY OF THE PA		変	で ・その他特記事項		<u> </u>	<del>////</del> (				)
The second second				-lv			<b>4m.</b> /			)
	P2 —		・盛土のり面からの湧			可能性有 🔽				)
Property of the Park			・擁壁水抜き穴からの			可能性有 🔽				)
			・ひな壇部分の擁壁前			可能性有 🔽				)
The second second second			・排水工や擁壁の恒常			可能性有 🔽				)
	P3 /	<u></u>	・盛土のり尻排水工の			可能性有 🗸	無(			)
		③ 地	M.11-11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 1		□有☑					)
1 1 24 26 3	30	一下	・盛土のり尻のため池	等の満水水位	□ 有 ☑					)
10 C 10 C	P7 P4	水			□有☑					)
P9			・盛土のり尻の調整池	・ため池	□ 可能性有					)
			<ul><li>集水地形上の盛土</li></ul>		☑ 可能性有	□ 無				)
P8			<ul><li>・盛土上ガレージの湿</li></ul>	IJ	□ 可能性有					)
	P6 凡 例		・水を好む植生の有無	ŧ	□ 可能性有	☑ 無				)
	谷埋め盛土		・その他特記事項		_	(				)
		+4	・盛土周辺の崖錐、崩	積土	□有☑	無 🗌 不明	(			)
	主測線(断面位置)	± 4   ± 盛   +	፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟・盛土周辺の沖積粘性	生		無 🗌 不明				)
	写真撮影位置	状 井	- ・盛土周辺の沖積飽和	]砂質土		無口不明				)
		状態の	・その他特記事項			_ (				)
	変状箇所		・盛土末端部及び盛土	全体に顕著な変物		では健全と言える	<b>3</b> .		被害	
			但し、のり面小段の排	水施設に土砂堆積	長が確認される。	。排水機能低下	によりのり面を	不安定化させるこ	-	·=
		総	とが懸念されるため、	堆積土砂は撤去す	ることが望まし	い。			1	_
A STATE OF THE STA	0 50 100 m								1	
1. 16.00 10.00		==							鳫	 先度
The Fifth The All		評							逐	儿汉
									-	A3

